

# 官報號外

明治三十四年三月二十三日 土曜日

印刷局

三一五

明治三十四年三月二十三日 土曜日 印刷局

(第十五回) 帝國議會衆議院議事速記錄第十八號

明治三十四年三月二十一日(金曜日)午後一時六分開議

議事日程 第十八號 明治三十四年三月二十二日

午後一時開議

(追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

スル件

二 永代借地權ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

三 濟職法案(後藤文一郎  
外九名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

四 山形縣下郡界變更法律案(重野謙次郎  
外三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

五 不動產登記法中改正法律案(松島廉作外  
一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

六 町村制中改正法律案(松島廉作外  
一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

七 法律案(早川龍介外  
三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

八 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(早川龍介外  
一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

九 酒類造石稅納期改正ニ關スル建議案(長坂重孝外  
四名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

十 名和昆蟲研究所ニ交付スヘキ國庫補助金追加豫

算ノ提出ニ關スル建議案(稻垣示外  
四名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

十一 札幌農學校ヲ大學ト爲スノ建議案(西原清東外  
十二名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

十二 下總國舊牧開墾地ニ關スル建議案(高津雅雄外  
五名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

十三 海藻磯燒ケノ原因調査ニ關スル建議案(白井哲夫外  
一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

十四 (特別報告第九號)北見鐵道線路變更急設ノ請

願(特別報告第十號)鐵道敷設法中追加ノ請願外  
十七件)

十五 (特別報告第十一號)染織業獎勵保護ノ請願  
十六 (特別報告第十二號)開港場指定ノ請願  
十七 (特別報告第十三號)葉煙草專賣法改正ノ請願  
十八 (特別報告第十四號)富山直江津間鐵道急設ノ  
十九 (特別報告第十五號)鐵道敷設法中追加ノ請願外  
十六件)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

竹内正志君外一名提出北清派遣軍隊軍需品ニ關スル質問書ニ對シ兒玉陸軍

大臣ヨリ、千田軍之助君外四名提出大學及高等學校增設計畫ニ關スル質問ニ對  
シ對シ松田文部大臣ヨリ左ノ答辯アリ  
衆議院議員竹内正志君外一名提出北清派遣軍隊軍需品ニ關スル質問ニ對  
シ別紙陸軍大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年三月二十二日 内閣總理大臣侯爵伊藤博文

衆議院議長片岡健吉殿

(別紙)

衆議院議員竹内正志君外一名提出北清派遣軍隊軍需品ニ關スル質問ニ對  
シ別紙答辯書差進候也

明治三十四年三月十九日

陸軍大臣男爵兒玉源太郎

衆議院議員竹内正志君外一名提出北清派遣軍隊軍需品ニ關スル質問  
主意書ニ就テノ答辯

一 戰時若クハ事變ニ際シ軍隊ニ給與スヘキ糧米ニ付テハ戰時給與規則細

則ニ於テ單ニ精米ト規定シアルノミ從テ北清事變ニ際シ派遣セラレタ  
ル軍隊ニ供給スヘキ糧米モ當初ヨリ磨擦米タルヘキ規定アルニ非ス最

初ハ精米約五千七百石ヲ送付シタリ然ルニ北清地方水質ノ關係上以後

磨擦米ヲ使用スルコトニ決シ昨年八月以降ハ磨擦米ノミヲ送付シタリ

然レトモ大沽北京間ノ運輸甚々困難ナリシヲ以テ磨擦米ノ前送モ亦意

ノ如クナラス其際多量ノ支那米ヲ得タルヲ以テ幸ヒ之ヲ我兵食ニ用ヒ

タリ給養現地ニ磨擦米ノ少量ナリシハ右ノ結果ニ外ナラス近來紛亂漸

ク鎮マリ物情次第ニ常態ニ復スルニ至リ輸送上ノ困難大ニ減少シタル

ヲ以テ磨擦米モ給養現地ニ普及スルニ至レリ

陸軍省ヨリ派遣シタル將校ノ報告ニ依ルモ北倉楊村等ニ於テ少量ノ劣

等米ヲ發見シタリトアリ由テ當時其出所ヲ追及スルニ最初臨時派遣隊

ニ於テ給養計畫上臨時調辨ノ必要ヲ生シ急遽買收シタル百五十俵中ニ

外ナラサルコトヲ知リ得タリ是レ戰地ニ於テハ不得已事ニシテ此際品

質ヲ精選シテ良米ノミヲ集ムルトキハ所要ノ額ヲ得ル能ハサリシカ故

ナリ而シテ右ノ劣等米ハ内地ヨリ送付シタル良米ト共ニ偶然混交シテ

同一兵站線ノ各地ニ輸送セラレタルヲ以テ一見多量ノ劣等米存在セル

カ如キ觀フ呈セシナラン内地ニ於テ購買シタルモノハ凡テ其梱包ニ符

印アルヲ以テ若シ不正品ヲ發見セハ直ニ之ヲ調査シテ處分スルヲ得ル

ノ用意アレトモ實際此中ニハ劣等米ヲ發見セサルナリ

糧米ノ減量ハ平約均八分ナリ元來米穀ノ買收ハ習慣ニ基キ納人ニ於テ

稻量シ受領スルモノナレハ受領後即時ニ驗スルモ猶多少ノ減量ハ免レ

官報號外

明治三十四年三月二十三日(明治二十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記錄第十八號 議長ノ報告

三一五

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案

ス且ツ其運搬ニ付テモ幾分ノ減量アルハ今日ノ細包法並ニ運送法ニ於テ免カレサル所ナリ特ニ戰後ノ如キ紛擾ノ際運輸機關不整備ナル地方ヲ經過スルニ於テハ平均約一割以内ノ減量ハ已ムヲ得サルナリ馬糧大麥ノ減量ニ付テモ前記糧米減少ノ理由ニ同シ且ツ當時恰モ大麥收穫期ニ際シ急需ノ爲メ收穫後時日ヲ經過セサルモノヲ購入シタルヲ以テ收穫期ヲ遠カルニ隨テ自然ニ容量ヲ減シ又最初俵入ノ際ハ糲穎等ノ存在セシモノ運搬等ノ結果碎粉セラレ且ツ洩出シタルモアリ然レトモ其平均減量ハ一割五分ニ過キサルナリ

本邦ニ於テ馬糧トスル林ハ之ヲ野草ノミニ仰キ來リ歐米ノ如キ牧草事業ノ發達ヲ以テ林ノ品質粗惡ニシテ塵芥ノ混入セルハ平時ニ

於テモ免レ難キ所ニシテ其供給モ亦甚タ不十分ナリ今回調辨ノ當時ハ恰モ新舊林ノ接續時期ニシテ舊林缺乏ノ際ナリシヲ以テ平素ヨリモ塵芥稍多量ナルモノヲ不得已購入シタルコトアリ然レトモ時ノ許ス

限リハ名古屋地方等ニ就テ比較的善良ナルモノヲ購入シタルヲ以テ第二回輸送ノ林中ニモ塵芥ノ混入稍多キモノハ其幾分ニ過キサリシナ

三 前述ノ事情ニ由リ不正行爲ヲ認メサルヲ以テ質問主意書第三項ニ對シテハ答辯ノ要ヲ見ス

別紙衆議院議員千田軍之助君外四名提出大學及高等學校增設計畫ニ關スル質問ニ對スル文部大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年三月二十二日 内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
衆議院議長片岡健吉殿

(別紙)

衆議院議員千田軍之助君外四名提出大學及高等學校增設計畫ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十四年三月二十日 文部大臣松田正久

衆議院議長片岡健吉殿

(別紙)

政府ハ大學及高等學校ノ増設ヲ以テ目下ノ急務ナリト認ム然レトモ財政ノ都合ニ因リ明治三十四年度ニ於テハ未タ之ニ著手スルニ至ラス故ニ次年度ニ於テ緩急ヲ計リテ之ニ著手スル心算ナリ

右及答辯候也

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

漁業法案

同院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

衆議院ハ前期議會ニ於テ二十七八年戰役ニ從軍シタル新聞記者ヲ行賞シ陣

山田喜之助君ヨリ從軍新聞記者ニ關シ、星松三郎君ヨリ東京市政ニ關シ、金岡又左衛門君ヨリ火薬材料ニ關シ、大村和吉郎君ヨリ利根川水源伐木ノ件、院議ヲ空フセシ處置ニ對スル件、田中正造君ヨリ無實、惡名ヲ負ハスル件、大村島田兩代議士ヘノ答辯要領ヲ得サル件ニ付質問主意書ヲ提出セラレタリ

兩院協議會議長副議長左ノ通り當選セラレタリ

明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫算案兩院協議會

議長 尾崎行雄君 副議長 杉田定一君

委員長及理事左ノ通常選セラレタリ

永代借地權ニ關スル法律案

委員長 石黒涵一郎君

鐵道敷設法中改正法律案

委員長 重野謙次郎君

蠶絲業組合法案

委員長 脇坂行三君

元寇殉難者國祭ニ關スル建議案

委員長 鈴木重遠君

請願法制定ノ建議案

委員長 大瀧傳十郎君

外國語學校擴張ニ關スル建議案

委員長 根本正君

農會補助金追加豫算ノ提出ニ關スル建議案外一件

委員長 稲垣示君

千島開發ニ關スル建議案

委員長 松岡長康君

輸入原料砂糖尻稅法案

委員長 栗原亮一君

理事

秋山源兵衛君  
鹽谷五十足君  
平岡萬次郎君  
河北勘七君

河口歸一君

三輪傳七君

内藤正義君

栗原亮一君

理事

(左ノ質問書へ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)  
從軍新聞記者ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十一日

提出者 山田喜之助

贊成者 西原清東

外二十九名

亡記者ヲ靖國神社ニ合祀セん事ヲ建議セルモ政府ハ未タ何等ノ處分ヲ爲シタルヲ見ス政府ハ之ヲ如何ニ處分セントスルカ遠カニ管轄アラン事ヲ望ム

東京市政ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十一日

提出者 星 松三郎

贊成者 奈須川 光寶

外二十九名

質問主意書

第一 監督官廳ハ東京市ヲ如何ニ監督フ爲シツ、アルカ

第二 監督官廳ハ市ノ書類帳簿ヲ徵シ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納

ヲ檢閱セシヤ如何

要スルニ東京市政系亂ニ對スル監督官廳ノ監督ハ如何ニ成行ツ、アル哉

問フ所以ナリ

右及質問候也

火薬材料ニ關スル質問書

明治三十四年三月二十二日

提出者 金岡又左衛門

贊成者 高木 正年

外二十九名

質問主意書

一硝石ハ軍備上缺ク可ラサル要品ニシテ之ヲ忽諸ニ附ス可カラサルハ論ヲ

須タス然ルニ陸軍ハ之ヲ外品ニ待ツカ又内國ニ取ルノ方針ナルヤ此ノ制

ノ完備不完備ハ直ニ軍事ノ銳鈍ニ大關係ヲ有スルモノナレハ豈ニ敢テ之

レヲ緩漫ニ附スヘケンヤ十年ノ役二十七八年ノ役共ニ該品ノ缺乏來タ

レ當局ニ於テモ大ニ困苦シタルハ掩フ可ラサル事實ナリ聞ク所ニ依レハ

現時外品ヲ輸入ニ俟ツテ毫モ慮ラス之レ果シテ兵器上ノ安全ヲ得タルモ

ノト云フヘキ乎彼不便ヲ感セスト云フカ如キハ僅カニ無條約國ヲ恃ミト

スルニアリ何ソ其要意ノ周到ナラサル國家萬一ノ時ニ於テ我陸軍ハ如何

ニシテ其希圖ヲ全フセントスヘキカ

一九七八年戰役ニ際シ小坂正義濫谷嘉兵衛大塚權城鍛冶屋庄左衛門岡村

良朝奈良某中宮某等ノ間ニ七箇年繼續買收契約ヲナシタリト聞ク此契約

ハ會計法第二十四條隨意契約法ニ準據シタルモノナルヤ果シテ然ラハ此

七名中小坂正義ヲ除キ該業ニ二年以上ノ經歷ヲ有シタルモノアリヤ然ル

ニ其契約者ハ毫モ此等ノ資格ナク普通御用商人ト稱スルモノニシテ居當

要品ノ準備ナキモノ萬一該品杜絶ノ時ニアリテ納入シ能ハサルナキヲ保

セス之ヲ責任アル購入ノ手續トナスカ

一三十年度後ハ前隨意契約者ヨリモ買收セスト聞ク然ラハ一概入札法ニ據テ硝石可ラサル筈ナルニ官報又ハ新聞紙ニ於テ公告アルヲ見ス爾後如何ナル手續ニ依リ買收シ居ルヤ

一第十四議會ニ於テ硝石ノ件質問ニ對シ追々無煙火薬ニ改良シツ、アルヲ

以テ硝石ノ需用モ滅シ來レルトハ之レ何ノ放語ソヤ無煙火薬ハ（壓作法）

（耐熱法）ノ一種アリト雖モ其原素ハ即チ硝石ニアラスシテ何ソヤ

右及質問候也

利根川水源伐木ノ件ニ付質問

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十二日

提出者 大村 和吉郎

贊成者 井上 彦左衛門

外二十九名

利根川水源伐木ノ件ニ付質問主意書

下野國上都賀郡庚申山ノ西北ナル上野國利根郡利根平川兩官林ノ立木ヲ足尾鑛業主古河市兵衛ニ拂下ケタルコト事實ナルヤ否ヤ

若シ拂下ケタルコト事實ナリトセハ其拂下ケタル年月日及ヒ總段別且ツ伐木ハ一時ナルヤ又ハ輪伐ナルヤ且ツ其拂下ケ代金ハ何程ナルヤ

或ハ林野整理局ニ於テ伐採シテ足尾町高原木マテ運搬ノ上足尾銅山鑛業主古河市兵衛ニ賣却スト云フモノアリ將タ立木ノマ、拂下ケタルモノナルヤ

此拂下ケノタメ下見其他ノ經費何程ヲ要セシヤ

右拂下ケニ付下野國上都賀郡足尾町高原木ヨリ大字松木ヲ經テ上野國利根

郡利根平川兩官林ニ至ルノ間幅八尺程ノ新道ヲ開鑿シ其工事ハ林野整理局ニ於テ之ヲ經營スト聞ク果シテ事實ナルヤ否ヤ

若シ事實ナリトセハ其開鑿道路建築費何程ナルヤ

右果シテ事實ナリトセハ元來一個人タル足尾銅山鑛業主古河市兵衛ニ拂下ケタル立木伐採運搬上ニ仕用スル道路開鑿ノ事業ヲシテ林野整理局タル官署ニ於テ之ヲ經營スルノ事由如何

右質問ニ及ヒ候條詳細ノ答辯アランコトヲ望ム

院議ヲ空フセシ處置ニ對スル再質問

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十二日

提出者 大村 和吉郎

贊成者 田中 正造

外四十名

質問主意書

政府ハ大村和吉郎外三名提出足尾銅山鑛毒調查會設置ニ關スル質問ニ對シ

「足尾銅山附近地方ニ於ケル鑛毒被害ニ關シテハ既ニ救濟ノ法ヲ施シ尙調

査中ニ屬シ慎重ヲ要スルヲ以テ未タ調査ノ結果ヲ見ルニ至ラス然レトモ今

特ニ調査委員會ヲ設クルカ如キハ其必要ヲ認ムルニ至ラス」下ノ答辯ヲナシ

又島田三郎外五名提出足尾銅山鑛毒ノ件ニ關シ院議ヲ空フセシ處置ニ對ス

ル質問ニ對シ「衆議院議員大村和吉郎外三名ノ質問ニ對シ答辯セシ如クニ

シテ政府ハ諸般ノ調査ヲナシツ、アリ決シテ等閑ニ附シ居ルニ非ス」ト答

辯セリ政府ハ明治三十年中足尾銅山ニ鑛毒豫防工事ヲ施シタリト雖モ此施

設タル更ニ成績ノ見ルヘキモノナシ而シテ河川ノ破壊田園ノ廢滅町村ノ破

壊ハ如何被害地方人畜死亡ノ増加豫防命令以後毒煙被害ノ區域蔓延銅山附

近ノ村落人影ヲ絶チ其被害人ノ請願ヲ妨ケ沿岸請願人ヲ牢獄ニ投シ尙且ツ

流毒ヲ止メス其處置ヲ爲サス議院ノ質問ニ依テ救濟ヲ爲セリト云々或ハ調

査中ナリト答ヘシハ如何

右及質問候也

無實ノ惡名ヲ負ハスル義ニ付質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十二日

提出者 田中正造

贊成者 原田赳城

外五十四名

明治三十三年二月中足尾銅山鑛毒被害民ハ各村總代ヲ選ミ地方廳ヲ經由出  
京セシメ中央當局諸大臣及帝國議會ノ兩院ニ請願書ヲ奉呈シ運動中ニアリ  
シヲ當局者カ此請願人ノ面會ヲ拒絶シ陳情スルヲ得サラシメシヨリ地方被  
害民ハ大ニ憂慮ヲ增シ終ニ多勢提携出京シテ請願スル所アラントセシモノ  
ナリ然ルニ之ヲ呼フニ兇徒ヲ以テスルハ如何

尙水鑛毒被害民カ兇徒ニアラサル事實ハ明治三十三年二月十三日以前ニ

係ル衆議院ニ於テ田中正造ノ足尾銅山鑛毒問題ノ請願ニ關スル質問同質

問ニ關スル演説山林拂下ケノ件ニ付テノ質問鑛毒八人ハ殺シ當局諸大臣

ハ其請願者ニ面會ヲ許サ、ル義ニ付テノ質問鑛毒ノ爲メ天產ヲ亡滅スヘ

キ有形上ノ價格ニ付テノ質問一並ニ栃木縣安蘇郡大伏町町長福島與十郎

同村小關榮吉同郡界村村長糸井藤次郎同村矢澤忠藏同郡植野村村長岡田

孝吾同村栗原宰次郎同縣足利郡吾妻村村長島田保三郎同村野村治平同郡

久野村稻村與市群馬縣邑樂郡西谷田村村長荒井嘉平同村北山常吉同郡大

島村村長飯塚宇十郎同村小林猪之丈須藤與惣治磯幸次郎同渡瀬村助役鶴

崎藤三郎同村原彌太郎木村勇吉同郡多々良村助役熊倉評次郎同郡鄉谷

村村長越澤順四郎等一同總理大臣及當局諸大臣貴衆兩議院ニ出頭奉呈セ

シ請願書ニ署名捺印セシ人名ヲ見ルモ明カニシテ白晝公然此等多數ノ村

長總代カ同行シテ各官省ヲ訪問セシハ決シテ陰謀秘密ノコトニアラサル  
モ亦明カナリ

栃木縣安蘇郡界村總代

(請願書捺印者)

明治三十三年二月八日

野口春藏

三關善一

茂呂平吉

絲井小吉

島田市太郎

大竹伴次

新樂林藏

矢澤忠藏

井腰勘次郎

糸井藤次郎

佐瀬銭次郎

山崎米吉

佐瀬利兵衛

郡三郎榮吉

石井島田

小關惣吉

川田茂右衛門

島田惣吉

上岡金次郎

島田金次郎

山崎勤次郎

福島與十郎

赤阪佐市

栗原谷

秀次郎

宰次郎房吉

元八和市

善三郎清次郎

新里幸八

小野政吉

福地岡田

野村鈴木

庭田佐取

櫻井阿部

塚島野村

佐藤阿部

治平駒吉

安次郎恒吉

瀧三郎

安次郎春吉

友藏

与次郎

春吉

治平

太郎

光次郎

大關

阿部

室田金子

古郡宮澤

稻村持齋

大山設樂

川島

星野泰一

同縣同郡植野村總代

町長

同縣同郡久野村總代

村長助役

同縣同郡筑波村總代

坂本前橋

大野房次郎

茂市田井常四郎

橋本幸十郎

笠原藤十郎

長谷川定次郎

中村善次郎

今請願書ニ捺印セシ人名及月日ヲ見ハ左ノ如シ

(請願書前文ハ之ヲ略ス)



**右及質問候也**  
大村島田兩代議士へノ答辯要領ヲ得サル義ニ付質問書  
**右成規ニ據リ提出候也**

提出者 田中正造

贊成者 原田 赶

田 趕 城

質問主意書  
大村島田兩代議士へノ答辯書中教済トハ三十年ノ鑑毒豫防命令ヲ指セシモ

同縣同郡多々良村總代	村長	彦四郎 源藏	野中寺内福永島青木大森宇治川荒井	同縣同郡渡瀬村總代	村長	春吉 與八	中野寺内福永島青木大森宇治川荒井	同縣同郡海老瀬村總代	村長	鶴吉 信三郎	寺内福永島青木大森宇治川荒井
谷津富三郎	平次郎	與惣治 卯之吉	九平 榮三郎	水村金子 飯塚	木村大朏 篠原	小林落合 篠原	家富原 篠原	小林貞七郎 元吉	市太郎 嘉平	佐重 満次郎	常三郎 八郎
谷津富三郎	保三郎	與惣治 卯之吉	九平 榮三郎	水村金子 飯塚	木村大朏 篠原	小林落合 篠原	家富原 篠原	小林貞七郎 元吉	市太郎 嘉平	佐重 満次郎	常三郎 八郎
同縣同郡千江田村總代	村長	今成 久保庭	丈吉 良吉	今泉 横山	山岸 田部井	勝次郎 德次郎	尾島 源三郎	大月 長澤	篠木 飯島	松本 北村	堀越 今泉
横塚喜一郎	善吉	義太郎	重吉	堀口 孫三郎	卯平 重吉	重吉 清藏	源三郎 淳三郎	越澤 順四郎	市澤 萬平	英一 茂吉	和壽藏 末四郎

同縣同郡海老瀬村總代	村長	熊倉清九郎	宇木福
同縣同郡大箇野村總代	村長	松本英一	大塚
同縣同郡伊奈良村總代	村長	宇七	小林
同縣同郡赤羽村總代	村長	喜平治	北村
同縣同郡赤羽村總代	大月	喜平治	飯島
同縣同郡赤羽村總代	長澤	重吉	越澤
同縣同郡赤羽村總代	多田	直吉	勝次郎
同縣同郡赤羽村總代	尾島	順四郎	源三郎
同縣同郡赤羽村總代	山岸	卯平	淳三郎
同縣同郡梅島村總代	助役	久保庭	横山
同縣同郡梅島村總代	今成	文吉	田部井
同縣同郡梅島村總代	喜一郎	善吉	孫三郎
同縣同郡千江田村總代	村長	丸山	堀口
同縣同郡佐貫村總代	村長	高橋	多田
同縣同郡佐貫村總代	村長	和壽藏	評次郎
同縣同郡六合村總代	村長	阿部利三郎	阿部長四郎
同縣同郡館林町總代	町長代理助役	藤野鹽谷	紋次郎
同縣同郡中野村總代	村長	津久井正一	岩田百藏
同縣同郡高島村總代	村長	高橋平太郎	寺崎福地
同縣同郡長柄村總代	村長	高橋嘉七	飯塚萬龜江
同縣同郡三野谷村總代	村長	佐五郎	石井富七
同縣同郡富永村總代	村長	佐五郎	篠原猪越
同縣同郡富永村總代	松澤	金藏	松澤新井
同縣同郡富永村總代	織兵	知司	佐五郎
大村島田兩代議士ヘノ答辯要領	以上ノ事實ナルヲ以テ免徒ノ汚名 之ヲ以テ如何トナス 右成規ニ據リ提出候也	提出者	明治二十四年三月二十二日
質問主意書		田中正造	

ノナルヘキカ若シ夫レ然リトセハ甚タ事實ヲ頗倒セシモノナリ豫防命令ナルモノハ一ツモ事實ニ行ハレ居ルモノナシ唯足尾銅山ノ工事ハ人目ヲ眩惑シ今ヨリ後陽ハニ鑽毒ノ害ヲ及ボサシメスト聲言保證レテ一方ニ人民請願ノ口術ヲ塞キ加害者ノ惡事ヲ增大ナラシメタルノミ而モ尙政府ハ之レニ救濟ノ名ヲ附スルカ

栃木縣上都賀郡松木村人民ヲハ毒煙增加ノタメ全村居住ヲ棄テ、退去セサルヲ得サルニ至ラシメ而シテ之レニ政府ハ救濟ノ名ヲ附スルカ

渡良瀬川ヲ破壊ノ儘ニ拋棄シテ民屋ヲ漂流セシメ多ク毒地ヲ増大シ之レヲモ救濟ト云フカ

渡良瀬川ノ天産ヲ滅シ人民ノ生活ヲ奪ヘ之レヲモ救濟ト云フカ

肥沃豐土ヲモ滅シ個人ノ所有權ヲ奪ヘテ之ヲモ救濟ト云フカ

三十年中僅カニ豫防命令ヲ發シタレトモ後任大臣之ヲ實行セス豫防命令ハ却テ惡事ヲ働くカシムルノ器械トナリ爾來亦國土亡滅被害人撲滅ノ手段日ニ甚シキヲ見ルノミ政府之レヲモ救濟ト云フカ

若シ誣ヘテ之ヲ救濟ト云ハハ虛偽モ救濟ナリ慘酷モ救濟ナリ人民虐待殘酷暴政毒ヲ以テ人ヲ殺セシヲモ救濟ト云ハサルヘカラス此ノ如キ論理ヲ以テセハ憲法ノ破壊國土ノ亡滅モ救濟ナリ町村ノ破壊河川ノ破壊ヘ救濟ノ一ツナリ亦彼慘酷ナル加害者ニ位階ヲ潛奪セシメテ之レモ救濟トナスカ

古今未タ此ノ如キ暴戾ノ政府ナシ之ヲ如何

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○藤金作君(百八十二番) 議長

○議長(片岡健吉君) 藤金作君、何デスカ

○藤金作君(百八十二番) 私ハ兩院協議會ノ結果ヲ報告致シタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 藤金作君(百八十二番) ソレカラ、ソレニ續キマシテ、茲ニ緊急動議ヲ提出致シタイコトガゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 緊急動議ハ何デス

○藤金作君(百八十二番) 此緊急動議ノ趣意ハ、兩院協議會ノ結果ヲ報道致シマスト同時ニ、此案ヲ緊急動議トシテ日程ヲ變更シテ議セラレントラ希望致シマス、ソレニ附キマシテハ、質問モ出テ居リマス様子デゴザイマスガ、貴族院ハ衆議院ノ報告ヲ待シテ、今日又續イテ此協議會ノ案ヲ議セラル、

○議長(片岡健吉君) 藤金作君カラ貴族院ト協議會ノ結果ヲ報告シテ、議事日程ヲ變更シテ、此質問演説ノ前ニヤリタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス

○佐藤昌藏君(六十五番) 議長

○議長(片岡健吉君) 何デスカ

○佐藤昌藏君(六十五番) 是ヨリ請願委員會ヲ開キマス、委員ノ退席ヲ請ヒマス

(藤金作君演壇ニ登ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案(兩院協議會成案)

○藤金作君(百八十二番) 水害地方地租ノ免除ニ關スル法律案ノ、兩院協議會ノ結果ヲ報道致シマス、本案ニ附キマシテ、衆議院ハ協議委員數名議長指名ノ委員ガ、一昨二十日午前第一委員室ニ於テ、議長副議長ノ選舉會ヲ致シマシテ、議長ニ不肖藤金作、又副議長ニハ爾直彦君ガ當選セラレタ、本日午前十時ヨリ、貴族院ノ協議委員ト協議室ニ於テ會議ヲ開キマシタ、會議ノ上ニ於キマシテハ、雙方ヨリ色々質問協議ノ末、西村亮吉君ノ動議ニ據リマシテ雙方ヨリ三名宛ノ委員ヲ選ンテ、修正案ヲ調査スルコトニナリマシタ、其委員ニハ貴族院議長二條公カラ正親町伯爵、ソレカラ中村元雄君、西村亮吉君ヲ指名ニナリマシタ、衆議院ノ方デハ議長ノ指名ヲ以テ、山口熊野君ト永井嘉六郎君、高岡忠郷君ヲ指名致シマシタ、雙方ノ結果ヲ報告致サレマシタカラ、直チニ會議ヲ開キマシタ、其報告ハ政府ノ原案ニ於テハ、水害ノミノ地租ヲ免除スル法案デゴザイマス、衆議院ハ蟲害、旱害、風害等ノ災害、地方ノ地租ヲ免ズルト云フ所ノ案ガ、數案提出ニナシテ居リマス、之ヲ同一ノ委員ニ付託ニナリマシタカラ、政府案ヲ修正致シマシタ、第一條ニ豫テ御承知ノ通蟲害、風害、旱害ヲ插入シテ、貴族院ニ回シマシタ結果ガ、貴族院ノ方ニ於テハ水害ノミ政府案ノ通ニ復舊シテ、修正ニナリマシタカラ、此委員會ヲ開イタ結果デゴザイマス、其協議ノ末ハ右ノ案ノ中ノ第一號ノ蟲害、風害、旱害ノ三災害ノ文字ヲ矢張貴族院ノ修正ノ通ニ削除スルコトニナリマシタ、之ニ附則ニ持テ往キマシテ、衆議院ガ修正シタ通、本法ノ規定ハ之ヲ本法施行前一年間ニ水害ヲトアル所ニ、蟲害風害旱害ノ三ツノ害ニ罹ラタモノト云フ、文字ヲ修正シタモノハ、其儘置クコトニナリマシタ、是デ其事実ヲ簡短ニ述べマスルト云フト、水害ノ地方ニ地租ヲ免除スルト云フコトハ、永遠ノ法律トナリマシタ、而シテ蟲害旱害竝ニ風害ノ三害ダケハ、明治三十三年中ニ災害ヲ受ケタ所ノ、地方ノ地租ヲ免除スルコトニシテ、是ハ獨法デ一箇年限ノコトニナリマシテ、協議ガ纏リマシタ、即チ衆議院ノ決議ノ方カラ見マスレバ、幾ラカ其範圍ヲ縮少シタノデゴザイマス、又貴族院ノ方ハ貴族院ノ修正ニ對シテハ、大ニ衆議院ニ讓ツタコトニナリマシタ、ソレテ兩院共滿足ナル協議ガ纏リマシテ、直チニ此報告ヲ致スコトニシテ閉會ニ

ナリマシタ、此段報告致シマス、因ツテ願ハクバ直チニ議題ト爲ツテ御決議アランコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 直チニ議題ト爲ツテ居リマスカ

○議長(片岡健吉君) 議題ト爲ツテ居リマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 是ハ兩院協議會デ旨ク協定ニナリマシタカラ、協議會ノ成案通、全會一致ヲ以テ可決アランコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、其前ニ成案ヲ讀マセマス

(書記朗讀)

水害地方田畠地租免除ニ關スル法律案兩院協議會成案  
附則中「水害」ノ下ニ「蟲害風害又ハ旱害」ノ八字ヲ加ヘ其他ハ貴族院議決案ノ通トス

○議長(片岡健吉君) 協議會ノ成案ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス——星松二郎君

(星松二郎君演壇ニ登ル)

○星松二郎君(二百八十一番) 本員ノ提出致シマシタ質問書ハ、東京市ニ關スル質問書デゴザイマシテ、其理由ヲ申シマスレバ、第一監督官廳ハ東京市ヲ如何ニ監督爲シツ、アルカ、第二監督官廳ハ市ノ書類帳簿ニ徵シ、實地ニ就イテ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閱セシヤ如何、要スルニ東京市ノ——東京市政ノ紊亂ニ對スル監督官廳ノ監督ハ、如何ニナリツ、アルヤト云フコトノ質問デゴザイマス、是ハ勿論此質問ヲ提出致シマスルニ當リマシテ、市民トシテ私ナドハ黙止シ能ハヌコトデアル、即チ先ニ田口氏ヨリ質問ガアツテ、其質問ニ對シテ内務大臣ノ答辯ハ不十分デアツタ、ソレデ又再質問ヲシタガ、イマスルト云フタナラバ、改革ト云フモノモ見ルベキモノナク、唯亂レ勝ニハドウデアルカト申シマシタ所ノ、書類帳簿ヲ徵シ、實地ニ事務ノ實況ヲ視察シ出納ヲ檢閱シト云フ、内務大臣ノ權能ガゴザイマス、ソレデ私ノ故ラニ此質問ヲ起ス所以ハ、既ニ三年モ此事ヲ述べツ、アルニ、當局大臣ハ如何ニ監督シテアルカト云フコトハ、甚ダ不審ニ堪ヌノデアル、而モ昨年ノ二月長イ時間ノ間、私ハ矢張質問ヲ致シタノデゴザイマス、其時分ニ於テハドウデアルカト申シマシタラバ、其時分ハ取りモ直サズ、市街鐵道問題ノ起リマシタ時代ニシテ、其當時第一市ノ監督官廳ノアルニモ拘ラズ、内務次官ニ向テ東京市長ガ内意ヲ受ケタ云フコトガ、一ノ問題ニナリマシテ、ソレカラ以

來市民ハ日トシテ、此事ヲ論及致サムルハナシト云フヤウナコトデアリマシテ、其當時ノ有様ハ既ニ各區會又各區ノ協議會、又ハ公民會ト云フモノハ、建議書ト云フモノヲ、内閣總理大臣、又ハ内務大臣、又ハ東京府知事ニ向テ、數十通出シマシタヤウナコトニナシテ居リマス、又出願者又ハ建議者ト稱スル所ノ人ハ、數万人ニ上ボテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ今日マデノ事實ハ、ドウデアルカト申シマシタナラバ、既ニ一年以上モ經過爲シツ、アル時ニ至リマシテ、未ダ曾テ監督官廳ハ何等ノ監督ヲ致シテ居ルカ、何等ノ戒飭ヲ加ヘツ、アルカト云フコトハ、甚ダ私ナドニハ分リマセヌ、ソレ故ニ此質問書ヲ提出シマシテ、問ハント欲スル次第デゴザイマス、近來ノ有様ハ如何ニ成行ツテ居ルカト云フト、日ヲ逐ウテ市政ガ紊亂爲シツ、アル、ソレハドウデアルカト申シマシタナラバ、諸君モ業ニ既ニ御承知ノ通、東京市ノ行政機關ト爲シツ、アル所ノ市參事會ヨリ、唯今刑事上ノ問題デ、公判ニ上ボテ居ル者ガ六人ゴザイマス、即チ十二人ノ市參事會員ノ中デ、六人マデ刑事上ノ調ヲ受ケテ居リマスヤウナ、今ノ實況デゴザイマス、此一事ヲ以テモ、東京市ハ如何ニナリツ、アルト云フコトハ、諸君ガ思ヒ半ニ過ギルコトデアラウト思ヒマス、近時最モ不思議ニ感ジマスルノハ、又一層改悛ノ情ガアツテ、ドウカ市政ノ紊亂ヲ改メ、即チ抑制スル、即チ改テ良キモノニシヤウト云フ、機運ニ向ヒテ居ルヤ否ヤト申シマスルト、決シテ左様ニハ成行キツ、ナイノデアル、其證據ハドウデアルカト申シマシタナラバ、最近ニ至リマシテモ別ニ過失ノナイ所ノ、區長ナドヲ免ジマシテ、ソレモドウデアルカト申シマシタナラバ、市制ノ六條ヲ無視シタ所ノ所爲ヲ爲シテ、アルノデアル、右様ナコトヲ爲シツ、アルニモ拘ラズ、此内務省若クバ東京府知事ガ、何ヲ爲シツ、アルカト申シマスト云フト、一向見ルベキモノガゴザイマセヌ、ソレ故ニ甚ダ不審ニ堪ヘヌノデアル、昨年ノ如キモドウデアルカト申シマシタナラバ、第一ノ監督官廳ヲ差措イテ、内務省ニ直接ニ相談ヲ遂ゲテ、御内諭ヲ受ケタト云フコトニナシテ居ル、東京府知事ガアルカナイカト云フコトヲ、大ニ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、又内務省モ何ヲシテ居ルカト云フコトヲ、疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、ソレ故ニ私ハ大聲疾呼シテ、諸君ノ前ニ此事ヲ辯ジテ、當局大臣ガ今日マデ監督ヲ爲シツ、アツタ所ヲ明瞭ニ御答辯アランコトヲ希望シマスル次第デアリマス、會期モ切迫致シテ居リマスルコトデゴザイマスカラシテ、餘リ長イコトヲ申上マシテハ、却テ私モ德ニ濟マヌ譯デゴザイマスカラ、先づ大體ノ要ヲ摘ンデ斯ノ如キ申シマシテ、此答辯ヲ待コトニ致シマセウト存シマス

○議長(片岡健吉君) 公債抽籤償還ニ實施ニ關スル建議案ノ委員會ヲ午前ニ開カレタ所ガ、定數ノ出席席ガナクテ、委員會ガ成立タナカツダサウデゴザイマスガ、是ハ議會モ餘程切迫致シテ居リマスル時期デアリマスカラ、ドウゾ委員ノ諸君ハ、唯今ヨリ委員會ヲ開カレテ、委員長理事ノ選舉アランコトヲ希望致シマス——大村和吉郎君

〔大村和吉郎君演壇ニ登ル〕

○大村和吉郎君(五十七番) 私ノ質問致シマスル趣意書ヲ朗讀致シマス

利根川水源伐木ノ件ニ付質問題意書

下野國上都賀郡庚申山ノ西北ナル上野國利根郡利根平川兩官林ノ立木ヲ足

尾銅山鑛業主古川市兵衛ニ拂下ケタルコト事實ナルヤ否ヤ

若レ拂下ケタルコト事實ナリトセハ其拂下ケタル年月日及ヒ總段別且ツ伐

木ハ一時ナリヤ又ハ輪伐ナルヤ且其ノ拂下ケ代金ハ何程ナルヤ

或ハ林野整理局ニ於テ伐採シテ足尾町高木マテ運搬ノ上足尾銅山鑛業主

古河市兵衛ニ賣却スト云フモノアリ將タ立木ノマ、拂下ケタルモノナルヤ

此拂下ケノタメ下見其他ノ經費何程ヲ要セシヤ

右拂下ケニ付下野國上都賀郡足尾町高木ヨリ大字松木ヲ經テ上野國利根

郡利根平川兩官林ニ至ルノ間巾八尺程ノ新道ヲ開鑿シ其工事ハ林野整理局

若シ事實ナリトセハ其開鑿道路建築費何程ナルヤ

右果シテ事實ナリトセハ元來一個人タル足尾銅山鑛業主古河市兵衛ニ拂下

ケタル立木伐採運搬上ニ使用スル道路開鑿ノ事業ヲシテ林野整理局タル官

署ニライテ之ヲ經營スルノ事由如何

右質問ニ及候條詳細ノ答辯アランコトヲ望ム

質問主意書

政府ハ大村和吉郎外三名提出足尾銅山鑛毒調査會設置ニ關スル質問ニ對シ

「足尾銅山附近地方ニ於ケル鑛毒被害ニ關シテハ既ニ救濟ノ法ヲ施シ尙調

查中ニ屬シ慎重ヲ要スルヲ以テ未タ調査ノ結果ヲ見ルニ至ラス然レトモ今

特ニ調査委員會ヲ設クルカ如キハ其必要ヲ認ムルニ至ラス」トノ答辯ヲナシ

又島田三郎外五名提出足尾銅山鑛毒ノ件ニ關シ院議ヲ空フセシ處置ニ對ス

ル質問ニ對シ「衆議院議員大村和吉郎外三名ノ質問ニ對シ答辯セシ如クニ

シテ政府ハ諸般ノ調査ヲナシシ、アリ決シテ等閑ニ附シ居ルニ非ス」ト答

辯セリ政府ハ明治三十年中足尾銅山ニ鑛毒豫防工事ヲ施シタリト雖モ此施

設タル更ニ成績ノ見ルベキモノノナシ而シテ河川ノ破壞田園ノ廢滅町村ノ破

壊ハ如何被害地方人畜死亡ノ増加豫防命令以後毒煙被害ノ區域憂慮銅山附

近ノ村落人影ヲ絶チ其被害人ノ請願ヲ妨ケ沿岸請願人ヲ牢獄ニ投シ尙且ツ

流毒ヲ止メス其處置ヲナサス議院ノ質問ニ依テ救濟ヲ爲セリト云ヒ或ハ調

査中ナリト答ヘシハ如何

會期切迫ノ今日デゴザイマスカラ、説明ハ別ニ致シマセヌテゴザイマス、此

第一ノ利根川水源ノ官林伐木ノコトデゴザイマスガ、此鑛毒ノ事柄ハ、全體

山林ヲ伐木致シマスルコトガ、第一ノ鑛毒被害地ヲ擴張ナサシメルノ大元素

ニナラテ居リマス、一體私共實地ニ臨ミマシテ、能ク見マシタガ、鑛毒其物ヨ

リモ、足尾銅山ノ附近ノ官林ヲ概ニ濫伐致シマシテ、僅ノ風雨ニモ土砂ガ

渡良瀬川ニ流出致シマシテ、流出致シマシタガハ、川敷ヲ淺クスルト云

フ所カラ、川敷ヲ淺ク致シマスルト申上グルマデモナク、出水ノ區域ガ廣ク

ナシテ、出水區域ガ廣クナルニ從ヒマシテ、鑛毒ハ益々蔓延致スト云フ、斯ウ

云フコトデゴザイマシテ、此足尾銅山ノ附近ノ官林ヲ濫伐致シマスルコト

ガ、足尾銅山ノ鑛毒、第一ノ之ガ製造所ニナラテ居リマスヤウニ、認メテ居リ

マスデゴザイマス、ソレデ今回尙ホ聞キマスルノニ、上野國利根郡利根平川

ノ兩官林モ、矢張利根ノ上流ニ附キマシテ、之ヲ濫伐致シマスレバ、無論利

根川ノ川敷ガ埋リ高クナリマス、川敷ガ高クナルニ從テ、矢張渡良瀬川ニ逆

流ガ及シテ參リマシテ、益々鑛毒ノ區域ガ廣クナル、斯ウ云フコトニ大關係ヲ

有シマスコトデゴザイマスカラ、是ハ至急ニ政府ニ於キマシテ、能ク此事ヲ

此會期中ニ答辯サスルヤウニシタイデゴザイス、ソレデ此質問中ニゴザイ

マス所ノ、新道ヲ開キマスト云フコトハ、餘程怪訝ニ堪ヘマセヌコトガアリマ

スデゴザイマス、足尾銅山デ所用ノ用材ヲ拂下ダマシタタメニ、其用材ヲ運搬

致シマス道ヲ開鑿致シマスニ附キマシテハ、林野整理局ノ命ト云ウテ、小林

區ニ於キマシテソレニ勸誘致シマシテ、甚シイ所ニ至リマシテハ、其間ニ民

有地ガゴザイマスル、其民有地ハ先頃來ヨリ此議場ニ追ニ現ハレテ居リマス

ル、且ツ請願等ニモナラテ居ル所ノ、松木ノ一ト字ハ他ヘ移轉ヲ願テ居ル、其

一ト字ヘ向シテ、林野整理局ノ命ナリト云ッテ、道路ノ敷地ヲ寄附セヨト云

コトヲ、追ニ談シガアルト云フコトデアリマスガ、何分疲弊シテ他ヘ移轉ヲ

願テ居ルト云フ一村デアリマスカラ、其獎勵ニハ從ヒマセヌサウデスガ、是

ナドハ第一ニ官省デ其事ヲ獎勵スルト云フコトハ、甚ダ怪訝ニ堪ヘヌコトデ

ゴザイマスガ、果シテ斯ウ云フコトガゴザイマスルカ、能ク此事ヲ政府デ至

急御調ニナラテ、此會期中ニ答辯ニナルヤウニ致シタウゴザイマス、ソレカ

ラ第二ニ至リマシテ、既ニ一昨日答辯ニナリマシタ此事柄デゴザイマスガ、

昨年中既ニ前會ニモ能ク御話シテ置キマシタ通、政府ハ——前内閣ニ於キマ

シテハ、既ニ農商務大臣ハ内閣ニ於キマシテ、知ラズ識ラズ鑛毒問題ノ内

閣會議デ、主任ニナラテ居ル位ニナラテ居ル、農商務省ニ於テハ十分ナ調査ヲ

シテ、内務省ヘ回シテアルト云フ、内務省ニ出テ私共ガ間接ニ、至急調査會

ノ設置ニナルヤウニナラナケレバ、公平ナ調査ガ出來ヌト云フコトヲ懇々述

べタ、其時分ニ農商務省デハ、既ニ内閣ヘ出シテ居ルト云フ、内閣デソレハ

法制局ナドノ關係ノアル各局ヘ照會中デアルト云フコトマデニ、前内閣ノ交

迭前ニ言シテ居リマシタガ、此ニ至シテ調査會ノ必要ヲ認ムルニ至ラスト云

内閣ハ交迭ノ際マデ調査會ノ必要ヲ認メマシテ、農商務大臣ハ知ラズ識ラズ

デニ、大臣ガ自カラ言レタデゴザイマス、ソレガ僅カ半箇年前ノコトデゴザ

イマス、半箇年過ギタ今日ハ、調査會ヲ設クルノ必要ヲ認ムルニ至ラスト云

フコトハ甚ダ政府ノ答辯ガ曖昧ニ屬シテ居リマスカラ、此中ニ調査ニ屬シテ

居ルト云フ明文ガゴザイマスガ、調査ニ屬シテ居ル、其程度ヲ伺ヒタイノデ

アリマス、ドノ位マデニ調査ノ事業ガ進ンア居リマスカ、其程度ヲ承知シタ

タ存ジマスカラ、之ヲ至急ニ御取調下サレテ、此會期中ニ至急ニ御答辯ニナ  
ルヤウニ、致シタウゴザイマス  
○議長(片岡健吉君) 田中正造君

## (田中正造君演壇ニ登ル)

○田中正造君(二百三十九番) 皆サン——成ルベク要領ダケヲ申上ダマス、  
私ハ當年病氣ニアリマシテ、議場ノ演壇ニ出マシタノハ今日始テ、今日モ極  
長イコトハ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、大體一通リノ素情ヲ申上ゲナケレ  
バナリマセヌ、是マデニ出シマシタ質問書ガ、數ア十一通デゴザイマス、ソ  
レカラ種類ガ三十六種類ニナッテ、分レテ居リマスルカラ、少クモニ回以上  
ノ演壇ニ登ラナケレバ、ドンナザットノ御話モ出來マセヌノデゴザイマスル  
ガ、ドウモ色ニ事情ノ許サナイコトガアッテ、出ラレマセヌデゴザイマシタ、  
既ニ是マデハ速記錄ニ載ツテ居リマスカラ——是ハ一體速記錄ナドト云フモ  
ノハ、人ガ見ナイモノアリマスカラ、ドウシテモ簡短ニ述ベナケレバナラ  
ヌコトデゴザイマスガ、併ナガラ速記錄ニ載ツテ居ルモノデアレバ、是デ御  
承知ニ相成ルコトヲ願フノテス、ソレカラ今日出シマシタノハ、是ハ一無  
實ノ罪ヲ以テ人ニ惡名ヲ被セテアル、是ニ附イテノ質問書ガ一クト、フレ  
カラモウ一ツハ、大村和吉郎君カラ御述ベニナリマシタガ、大村君ト島田君  
ノ質問書ニ對スル答辯ノ要領ヲ得ナイコトニ附イテノ質問デス、此方ハ唯今  
大村サンガ能ク御述ベニナリマシタカラシテ、此一通ノ方ハ先ツ八九分通、敢  
テ、私ノ言フヲ要サナイヤウニナッテ居リマス、サリナガラ唯茲ニ一ツ申上  
ゲテ置キマスルノハ、此私共從來政府ヘノ質問及請願運動ト云フモノハ、今  
日ニナツテ調査會云々ト云フヤウナモノダヤナインデス、モウ分リ切ツタコト  
デアルノデス、五万町カラノ田地ノ鑽毒ト云フモノハ、是ハモウ調査ヲシナ  
イデモ分ツテ居ル、其中一万四千町歩ハ免租ニナツタト云フコトモ分ツテ居  
ル、是デ銅山ノ方ガ山ガドンナニ打壊レテ居ルカト云フコトモ分ツテ居  
人ガドウ云フ鹽梅ニ死ヌカ、是モモウ調査ヲシテ段々政府ヘ書面モ出し、貴族  
院ヘモ出シテ居リマスカラ、概略分ラナケレバナラヌ話デアル、是ダケ素人  
ニモ分ツテ居ルコトヲ、ナセ捨テ、置クノデアルカト云フコトガ、趣意デゴ  
ザイマス、併ナガラ一般ノ諸君ニ於キマシテハ、ワシナ短兵急ナコトバカリ  
申シテモ、イカナイト云フ思召デアリマセウ、東京ノ有志ガ集テ、ソレア  
先ツ立派ナル所ノ諸君ガ御集リニナツテ、有志調査會ト云フモノヲ御開キニ  
ナツテ、其有志調査會ノ結果、大村和吉郎君が其代表者トシテ、本院ヘ質問  
書ヲ御提出ニナツクト云フコトデアル、其有志調査會ニハ、先ツ貴族院ニテ  
ハ、谷干城君、政友會ニ於テハ即チ江原素六君、島田二郎君ト云フヤウナ方々  
ガ、御集リニナツテ居ル所ノ有志調査會ニアリマスルカラ、私ノ即  
チ答辯ノ要領ヲ得ナイト云フコトニ附イテハ、質問ヲ出シタノデゴザイマス

ルガ、同ジ此答辯ノ要領ヲ得ナイト云フ質問デアリマシテ、私共ノ方ノガヘ  
ドウシテモ前カラ鑽毒被害民ニ身體ガナツテ居ルノデアリマスカラ、調査會  
ヲ開イテ吳レロト云フヤウナ、マダルコイノデハナイノデゴザイマス、然ル  
ニ政府ノ昨日ノ答辯ニハ、調査會ヲ開クノ必要ハナイト云フコトノ、答辯ダ  
サウデゴザイマスガ、此調査會ヲ開クノ必要ハナイト云フノニモ、次第ガゴ  
ザイマシテ、唯今私共ノ申ス如ク、調査會ヲ開ク程ノ必要モナイ、モウ極ッテ  
居ルコトデアルト云フノデアルノカ、但シ調査會ト云フモノヲ開クト云フ  
ト、ドウシテモ國家ノ學者ト云フモノヲ集メテ、公然タル會が開ケル、公然  
タル會が開ケルト云フト、山ノ泥棒ヲスルヤラ、濫伐ヲスルノニハ、不便デ  
アルト云フタメニ、調査會ノ必要ヲ認メナイト云フノデハ大變ニ惡ルイ、餘リ  
サウ云フ話ラシマスルト長クナリマシテ、要領ヲ述ベルノデナクナルカラ、ソ  
ンナ話ハ止メマスガ、何シロ昨年調査會ヲ開ケト云フ、本院ノ建議ガアリマ  
シタナラバ、政府ハ之ニ對シテ相當ノ處置ヲシナケレバナラナイ之ヲ、議院カ  
ラ催促サレテ、セタバ詰ルト云フト、矢張勅語メカミタヤウナ答辯書ヲ擔  
出シテ、必要ヲ認メヌ、何ヲ言フノデアル、斯様ナ其愈々自分が理窟ニ困ッテ  
シタナラバ、政府ハ之ニ對シテ相當ノ處置ヲシナケレバナラナイ之ヲ、議院カ  
ラ最モ宜シクナイ、併ナガラワンノコトデ、此事ガ是ハ終ルモノデハナイノ  
デアリマスカラ、私ハ御話ガ前後ニナリマスルガ、唯今ノガハ横合ノ話デゴ  
シマスカラ、別段デ、是ハ私ガ今日此質問ノ要點ヲ諸君ニ御披露申上ゲル  
所ノ筋デハナカツタノデアル、諸君ニ謹テ質問書ノ——色ニノ質問書ハ、是ハ  
速記錄ニ就イテ御覽ニナリマスガ、速記錄デ御覽ニナツテモ、マダ分ラヌト  
ザイマスカラ、御話ヲ申サナケレバナラナイ、一體私ノ身分ヲ申シマスルト、故イ改進  
云フ所ダケハ、御話ヲシテ置カウト思ヒマス、此速記錄デ分ルモノダケハ、是  
成ルタケヤラヌヤウニ致シマス、ソレデ色ニノ感情カラシテ、話ヲ聞キ間違  
ヘルト云フヤウナコトガアリマスカラ、最モ是ハ殘念ナコトデアリマスカラ  
、御話ヲ申サナケレバナラナイ、一體私ノ身分ヲ申シマスルト、故イ改進  
黨カラ進歩黨、ソレカラ憲政本黨デ、昨年脱黨ハ致シマシタケレドモ、即チ前  
ノ緣故ト云フモノハ、元ト喧嘩ヲシタト云フ譯デハゴザイマセヌカラ、諸君ハ  
御承知ノ如クデアル、ソレデ現内閣ノ伊藤總理大臣ニ對シマシテハ、是マデ隨  
分大隈派ト爲テ攻撃ト云フコトハ、人カラ見ルト隨分毒々シイ辭マデ用ヒ  
テ遣ツタト思ハレル、サウ人様カラ見ラレタカモ知レナイ、サリナガラ是ハド  
ウ云フコトデアルカ、鑽毒問題ニ限ツテハ、伊藤内閣ノトキニハ未だ一回ダ  
モ、其質問ト云フモノヲ提出スル機會ガ至ラナカツタノデアル、是ハ自然デア  
ル、又御承知ノ前ノ農商務大臣後藤象二郎氏、此人ト田中正造トノ間ニモ、未  
ダ後藤象二郎君ニ向ツテモ、鑽毒ノ質問ノ矢ヲ放ツタコトハナイノデアル、誰ニ  
モ、向ツテ多クシタカト言ヘバ、矢張大隈重信農商務大臣ニ向ツテ、此矢ヲ放ツタノ  
ガ多イノデアル、其後ハ松方内閣、山縣内閣ト云フコトニナツテ居ルノデアル、  
故ニ人ニ依ツテ議論スルノ、或ハ内閣ニ向ツテ故ラニ理窟ヲヤカマシク言フト云  
ヤウナ左様ナ譯デハナイノデゴザイマスカラ、今日伊藤内閣ガ内閣ニ居レバ、

矢張是へ相手ヲシナケレバナラヌカラ、質問ヲスルノデアル、又宜シク大臣ト爲シテ、内閣ニ坐ハフタトキハ、其責任ヲ盡スガ宜シイノデアル、モウ一つハ是ヘドウモ新シイ、若イ者ニハナイコトデスガ、年ヲ老シタ役人ニ在ル癖デスガ、既ニ私共ノ年輩デハ、或ハ安部井磐根君、鈴木重遠君、又吾ミノ如キニナルト、一種ノ別ノ弊ガアル、何デアルカト云フト、他人ニ何カ無禮ナコトヲサレルト云フト、是ガ非常ニ心持ガ悪ルイ、是ガ年ガ老シタ者ニアル、何力御機嫌ヲ取ラレルト、非常ニ嬉シイノデアル、ソレデ忠言——如何ニ親切ナコトデモ、他黨ノ人ノ言フコトハ、ドウシテモ年ヲ老シタヤツノ耳ニハ、這入ラナイト云フコトニナシテ居ル、此黨派ト黨派デサヘ是ガアルノデアリマスカラ、モウ此間ニ年ヲ取タ人間ト云フモノハ、他黨ノ話ナドハ眞平御免ト云フコトガ、年ヲ老シタ側ニハ多イノデアル、況ヤ政府ト民黨トノ間ニ於テ、如何ニ國家ノタメニ親切ノ辭デモ、政府ヲ攻擊スル辭ガアシテハイケナイ、何程ノ忠言デモ攻撃トシカ聽カレナイ、ドンナ滑稽デモ亂暴デモ、今日御居デガナイノデ残念ダガ、井上角五郎君ノ演説デモ政府ノ御味方トサヘ言ヘバ、何デモ有難イ、井上ニ限ル、限ル、限ル、限ル、是ハ伊藤サンデモ、大隈サンデモ、山縣サンデモ、若イトキニソシナ野暮ナコトハナカタガ、ソレデモ政府ノ毒ト思フヤウナ、粗末ノ御論セモ中ニハアリマスヤウダガ、ソレデモ政府ノ御味方ト爲レバ、其説ガ非常ニ良ク聽エル、是ハ伊藤サンデモ、大隈サンデモ、山縣サンデモ、若イトキニソシナ野暮ナコトハナカタガ、年ヲ取ルトサウ云フ癖ガ出來テ、ソレガ今日國家ノ行政上ニ、内部ノコトカラ總テノ邪魔ヲ爲スカラ、非常ニ惡ルイノデゴザイマス、併シソシナコトハ申上ゲナイデモ、分シタ話デ、演説ノ趣意デモ何デモナイガ、此感情ニ依シテ——感情ニ依シテ——詰ラヌ感情ニ依シテ、一生懸命デ御話ヲ申シテモ、アレハ反對黨ノ紋切形ト聽カレテモ困ルカラ、一體是ハ此鑛毒問題ヲ、吾ミハ今日是程マデニ重ゼナイモノデアレバ、年々歲々諸君ニ請ウテ、何カ少シ宛仕事ヲシテ往クノデス、或ハ此法律ヲ一箇條イデタルトカ、或ハ此處ヲ斯ウ云フ救助ヲシテ貴フトカ、姑息ノ仕事ハ行政廳ニ向シテ爲セバ、出來ナイコトハナイト思フノデアル、サリナガラ此問題ハ單リ足尾銅山ノ鑛毒ニ限ラナイノデ、全國ノ鑛毒ニ向シテ未ダ鑛業主ニ對スル所ノ行政廳ノ處置モナシ、又世ノ中ノ人モ如何ニモ鑛毒ト云フコトニハ無經驗デアルカラシテ、國家一般ノ此鑛業ノコトニ附イテノ、大改革ヲ行ハナケレバナラナイノデゴザイマスカラシテ、此目下アル所ノ足尾銅山ノ鑛業ノ此不正亂暴ナルモノニ依シテ、諸君ノ十分ナル御研究、十分ナル御調査ヲ得テ、サウシテ立派ニ改正ヲ致シタインガ、吾ミノ願デゴザイマスルガタメニ、今日マデ十年ノ間、此姑息ノ願ヲシナカツノデゴザイマス、ソレガタメニ今日マデ十年、此事ヲ歎鳴テ居リマシテ、諸君ニ御心配ヲ掛ケタノデアルガ、決シテ事ガ運バナイノデス、僅ニ三十年ノ年ニ調査會ト云フモノガ開カレマシタケレドモ、其事ニ附キマシテハ又更ニ唯

シテ置カナケレバナラナイノハ、關西地方ノ諸君ガ、多ク鑛毒問題ト云フモノニ附イテハ、御解釋ヲ事ニ依ルト御誤リニナルコトガアラウト思フ、ソレハ何デアルカ、關西地方ノ方ニガ多ク鑛山ノ模範トシテ御覽ニナルハ、伊豫ノ別子銅山デ、之ヲ御覽ニナルト銅山ハドウ云フモノデ、鑛毒ハドウ云フモノデアルカト云フコトガ、概略分リマスカラ、ソレニ附イテ申上ゲマスガ、伊豫ノ別子銅山ト足尾銅山トハ、天地ノ差ガアルノテ、實ニ何トモ譬へ較ベ合ノナラヌ程ノ事情ガアル、伊豫ノ國ノ別子銅山ハ、第一鑛業主ハ住友デアル、ソレ故社會ノ事理人情ヲ知シテ居ル者デ、已ガ金ヲ儲ケサヘスレバ宜イモノダト云フヤウナ、サウ云フ間違ノ考ヲ持タナイ、ソレカラ地理ノ關係ガ、如何ニモ足尾銅山トハ達シテ、僅ニシテ毒ガ海ニ流レ込ムト云フデ、害ヲ受クルモノハ幅ガ狭イ、其上ニ住友ハ山ヲ以テ之ヲ子ケ孫々ニ傳ヘテ、之ヲ寶ニシテ置クト云フノデアル、足尾銅山ノ方ハソシナモノデハナイ、詰リドシく、山ヲ掘レルダケ掘リ、此真中ノ宜イ所ダケヲ取シテ、前後ヲ捨テ、川ヘ抛リ込ンデ、手間ヲ掛ケテ細カノモノヲ拾フヤウナ、詰ラヌコトハシナイト云フヤリ方デアル、之ヲ同ジニ御覽ニナシテハ大層違ヒマス、アチラハ八里デ海ニ出テシマフガ、コチラハ長キハ六十四里、短キモ四十五里デアル、サウシテ關東第一ノ平野ナル、地面ノ宜シイ所ヲ流レルノデアルカラ、大層違ロマス、ソレデ住友ハ害ノ區域ノ少ニモ拘ラズ、此製錬地ヲ島ノ中ニ移シテ、先ツ近傍ノ漁業者ニ害ノ至ラヌヤウニスルタメニ、海ノ中ノ十町バカリモ毒水ヲ持出シテ、海ノ中ニ注クヤウニシテ居ル、ナカク別子銅山ノコトハ、今日私ハ素人デゴザイマスカラ、之ヲ豪メル譯ニハ往カナイガ、先ヅ日本ノ鑛業主トシテ、稍其當ヲ得タモノデアラウカト云フコトハ、申シテ宜カラウト思フ尤モ伊豫ノ別子銅山ト雖モ、苦情ヲ起サレテ色ニヤラレテ、有志ガ骨ヲ折シタルカラ、サウナシタノデアラウガ、始リハ無經驗ト云フコトガ、御互ニアラウガ、人ヨリ惡ルイト云ハレテ、其惡ルイコトノ過ヲ改メルノヲ知シテ居ルノハ住友デアル、住友ハ事理ヲ知シタ人デアル世ノ中人間ノ人間タル行タルコトヲ知シテ居ル者デゴザイマスカラ、一方ノ人間トシテ、人間ノ行ヲ知ラナイ者ト較ベテハイケナイ、此足尾銅山ノコトヲ御覽ニナル諸君ハ、多ク關西地方ノ諸君ハ、多ク伊豫ノ別子銅山ノ有様ヲ御覽ニナシテ、吾ミハ伊豫ノ別子銅山ノ有様ヲ見テ居ルガ、害ハ大抵知レテ居ル、豫防工事ハ大抵分シテ居ル、別ニ田中ノ話ヲ聽カナシテモ分シテ居ル、アレト較ベレバ田中ノ話ハ山掛ガアルヤツナルト、斯様ニ御解シニナシテ居ル人ガアルト信ズルガ、或人カラ其事ヲ忠告テ、御参考マデニ申サナケレバナラヌハ、矢張關西ノ人ガ、之ヲ以テ御判斷ガ達フカモ知レマセヌ、政府ハ已ムコトヲ得ナイ、山ナラ、鑛業停止ヲスルダラウ、公益ニ害ノアルモノナラ鑛業條例ヲ用ヒテ鑛業停止ヲスルダラウ、

何ゼナレバ靜岡縣ニアル銅山ハ、鑛業停止ヲシタノデアル、足尾銅山ニ鑛業停止ヲシナインノデアル、鑛業停止ヲシナインノデアル、鑛業停止ヲシナインノデアル、足尾銅山ニ鑛業停止ヲ命シテ、足尾銅山ニ限リテ停止ヲシナイト云フ、偏頗ノコトヲスルモノデナイト云フコトヲ、解釋スルカ知ラヌガ是ハ御尤ノ事デアルガ、サリナガラ一應申上ゲテ置カナケレバ、ナラヌノハ、足尾銅山ノ鑛業主ト、ソレカラ靜岡縣ノ銅山ノ鑛業主トハ、鑛業主ガ違ヒマシテ、靜岡縣ノ鑛業主ハ如何ニモ可愛サウナ貧乏人デアリ、如何ニモ貧乏デ無ケナシノ借金ヲ以テ漸ク銅ヲ拵ヘテ居ル銅山ニハ色ニノ害ガアル、又其地方ノ有志ハ隨分運動モ致シタ、運動ヲスレバ其結果ガアツテ、鑛業停止ニナッタ、是ガ貧乏人デアルト云フコトハ、能ク諸君ノ御記憶ヲ願ハナケレバナラヌ、足尾銅山ノ古河市兵衛ハ、ソシナ貧乏人デハナイ、私ヲ以テ言ハシムレバ、貧乏人ナルガタメニ、一方ハ鑛業停止ヲ受ケ、一方ハ大金持ナルガタメニ鑛業停止ヲ受ケナインノデアル、其害ハナカク静岡ノ銅山ノ如キモノデハナイ、静岡縣ノ方ノ被害ニ殆ド百倍モスル、其足尾銅山ニハ鑛業停止ヲセズ、ソレヨリ百分ノ一カ百分ノ二位シカナイモノニハ、嚴重ニ鑛業條例ガ行レテ居ルト云フハ、唯鑛業主ガ金ガアルトナイトノ違デアル、之ヲ以テ足尾銅山ノ鑛業ヲ停止シナインノハ、靜岡縣程ノ害ガナイカラト云フコトヲ、關西地方ノ諸君ガ、事ニ依ルト思召達ナルカモ知ラヌカラ、一言申上ゲテ置クノデアリマス、尙ホ一步ヲ進メテヤリマスルト、靜岡縣ニ在ル銅山ハ、鑛業主ガ貧乏人デ停止ヲ命ゼラレテ、後トノ鑛業ヲヤルタケノ金ガ出來ナイ、サリナガラ此山ヲ持ツテ居ル譯ニ往カヌデ、賣ラシマツタ、誰ニ賣ラシマツカト云フト、其買ヅタル者ハ古河市兵衛デアル、成ル程農商務省ト云フ器用ノ機關ヲ持ツテ居テ、鑛業ヲ停止シテ其人間ヲ虐メテ、他ニ買人ガナイト云フノデ、古河ノ懷ニ這入ルノハ誠ニ都合ノ宜イ話デ、斯ウ云フ話ニナルト、是ガ御用商人攻撃暴官汚吏ノ話ヲシナケレバナラヌガ、ソレハ今日私ガ御話ヲスル要點デナイ、唯斯ウ云フコトヲチラリト申上ゲテ、靜岡縣ノ鑛業主ト足尾銅山ノ鑛業主ト人種ガ違フ、人間ガ違フ、非常ニ人種ガ違フト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ質問書ニ島田サント大村サン、トノ答辯ノ要領ガ得ナイコトニ附イテ、質問書ヲ出シマシタガ、是ハ少、モウ十分バカリ——調査會ガ必ドウ云フ所ノ意味デアルカ、是ハ攻擊デモ何デモナイ、廣イ意味ト狹イ意味デ大變違ツテ來ル、救濟ト云フト金ヲ與レル、深イ意味デ憫ダト云フ解釋ニ出ルト、ソシナコトハ地方ニ少モナイ、大キイ方ニスルト豫防工事デモ起シテ免租デモシタト云フコトガ、救濟ノ仕事トシテ居ルノデアルカ、斯ウ云フヤウナモノデス、ソシナコトハ救濟ノ實ガナイト云フダケノ御話ヲスルノデ、若シ政府ノ方デ免租トカ、或ハ豫防工事ト云フヤウナモノヲ以テ、救濟シタ

ト思ツテ居ルナラバ、ソレハ大キナ違デアル、ナカクソシナモノデハナイ、免租ナド、云フモノハ、何モ請願人ノ事情ノ可愛サウナコトハ姑ク措イテ、真直ニ此權利ト云フモノカラ言ツタナラバ、何故人民ノ地面ヲ惡ルクシテ、免租シタノデハアルト云フ議論ガアル位デアル、租稅ハ固ヨリ納メタイノデアル、人ノ地面ヲ惡ルクシテ置イテ、ソレデヤ薄イトカ濃イトカ、ソシナ薄イ所ハ免租ニナシテ宜カラウト云フヤウナ、馬鹿ナコトヲ以テ輕蔑サレタリ、侮辱サレタリシテ居ル、ソシナモノヲ以テ救濟モ何モアルモノデナイ、ソレドコロデハゴザイマセヌ、請願人ノ請願ト云フモノヲ妨ゲルコトヲシテ居ルノデアル、又鑛毒ノタメニ毒ヲ喰シテ死ヌ者ガ、年々殖エテ來ル、兵隊ニ出ル者ガ近頃ナクナツタノデアル、是等ニ至ツテハ如何ナル政府デモ、陸軍ト云フモノガゴザイマスカラ、是等ヲ知ラヌトハ言ハセナインノデアル、之ヲシラバクレテ居ルト云フコトハ、陸軍ノ方デ分ラヌト云フコトガアルカト云フコトハ、テ居ルト云フコトハ、誰ガ見テモ分ルコトデゴザイマスガ、今日マテ何等ノ處分モナケレバ、是モハヌヤウニ致シマスケレドモ、鑛毒被害民ガ請願ニ出テ來ルトキニ、憲兵ナドガ出テ往ツテ、ブンナグツタリ蹴飛バシタリ、其兵隊ニ出ラレナイヤウニナツマセヌ、教育ハ衰頽、教育ノ衰頽ト云フト金ガナイトカ、或ハ學校ニ出ス錢ガナイト云フコトハ、誰ガ見テモ分ルコトデゴザイマス、ケレドモ、ソレドシラバクレテ居ルノデアル、斯様ナ譯デナカク救濟ドコロノ譯デヤゴザイテ居ルト云フコトハ、陸軍ノ方デ分ラヌト云フコトガアルカト云フコトハ、昨年頻ニ申シタコトデゴザイマスガ、今日マテ何等ノ處分モナケレバ、是モコロデハナイ、其土地ノ道德ヲ腐敗サセル機械ヲ備附ケテアル、其土地全體ノ人民ヲ愚ニ導クガ地方官ノ職務デアルノデ、他ニ何モイリハシナイ、其土地ノ人民ガ智識ヲ研究スルトカ、請願ヲスルナド、云ツテヤカマシクテナラナイ、其人民ヲ愚ニ導クト云フノガ、地方官ノ職務ニナシテ居ル、教育モ糞モアルモノデハナイ、併ナガラ如何ナル馬鹿ナ教育家デモ、外面上形デ分ルダケハシラナクチヤナラナイ、此學校ニ出ル所ノ少年ノ自體ガ弱クナツタカ、學校へ出ス金ガ少クナツタト云フノガ、馬鹿ナ教育家デモ分ルコトデアルカラ、是ダケハヤカマシウ言ハナケレバナルマイト云フノデ、一年モノデハナイ、併ナガラ如何ナル馬鹿ナ教育家デモ、外面上形デ分ルダケハシラナクチヤナラナイ、此馬鹿ナ教育家ニハ分ラナイガ、全體ノ道德ト云フモノヲ打破シテ居ルノデアル、又表向形ノ見エ居ルト云フコトハ、馬鹿ナ教育家ニハ分ラナイノデアル、教育ドコロデハナイ、總テノ從來ノ組織ヲ打破シテ居ルノデアル、五百年モ千年モ掛シテ組立タセイマスガ、何ヲ救濟ト云フノデアルカ、政府ノ謂フ所ノ救濟ト云フモノハ、此總テ德義ノ組織ト云フモノヲ打破シテ居ルノデアル、又表向形ノ見エ居ルト云フコトハ、馬鹿ナ教育家ニハ分ラナイノデアル、教育ドコロデハナイ、總テノ從來ノ組織ヲ打破シテ居ルノデアル、五百年モ千年モ掛シテ組立タセイマスガ、何ヲ救濟ト云フコトハ、前ニ御話申シマシタ、其答辯文章ノ中ニ、此足尾銅山ノ附近ヲ救濟シテ居ル、被害地ヲ救濟シテ居ルト云フコトガ、書イテゴザイマスガ、何ヲ救濟ト云フノデアルカ、政府ノ謂フ所ノ救濟ト云フモノハ、此總テ德義ノ組織ト云フモノヲ打破シテ居ルノデアル、又表向形ノ見エ居ル所ニ於テハ、前ニモ申シタ所ノ五万町ノ中ニ一万四千町ハ正ニ免租ニナシテ居ル、其分ト云フモノハ、町村ノ組織ト云フモノガ破レテ居ルノデアル、之ヲ破レナイヤウニシテ置クノハ、地方人民ガ力メテ破レナイヤウニ、骨ヲ折シテ居ルノデアル、所謂免租ヲスレバ地價ガナクナル、地價ガナクナレバ地價ト云フモノハ、無論取ルコトガ出來ナイモノデアル、又ソレダケ方稅町村費ト云フモノハ、無論取ルコトガ出來ナイモノデアル、又ソレダケノ實力ヲ失シテ居ルノデアルカラシテ、町村ハ破レテシマツテ居ル、縣會議員ハ

半途ニシテ御免ヲ蒙ル、衆議院議員ト雖モ昨年申上ゲマシタ、群馬縣ノ第二區ニ於テタツタ一ツノ區デ、一千四百票ノ選舉權ガ滅ツタノデアリマス、斯様ナコトガアル、タツタ一ツデサウデゴザイマス、栃木縣モ、埼玉縣モ、茨城縣モ、大小ノ影響ハサウ云フ鹽梅ニ受ケテ居ル、斯様ナ譯デ法律ハ縣蘭シテシマヒ町村ハ壞レテシマクテアリマスノデス、斯様ナ譯デアッテ國庫ニ這入ル所ノ收入、地方廳ニ納メル所ノ收入、町村デ取ル所ノ町村費ヲ合セテ、一年ニ四十万圓以上ニナルノデアル、是ガ年々國庫ノ損ト爲ルノデアル、堤防費ト云フモノニ附イテモ、年々三十万圓以上宛、餘計ナ國庫ノ支出ガ出來テ居ルノデアル、是ハ特ニ經濟上ノ御考ノアル諸君ニ、御訴申シテ置カナケレバナラナモノハ何十万圓減シ、出スモノハ何十万圓ト云フモノヲ、年々合テ百万圓トチヨツキリ分ッテ居ル、其他渡良瀬川ノ沿岸ハ、無量ノ天產ヲ持テ居リマシテ、是ハ年々五六十萬圓、此始末書ニ書イテアリマス——質問書ニ細ニ書イテゴザイマスカラ、御話ヲ省キマスケレドモ、此天產ナドト云フモノハ、ナイ所ニハナイ、アル所ニハ澤山ゴザイマスノデスカラ、渡良瀬川ノ緣ノ天產ト云フモノハ、實ニ多イノデゴザイマス、是ハ二三十万圓ヨリ六十万圓ノ間ノ、年々利益ガアル、勞銀ヲ費サヌモノガアル、費スモノモアル、少シク勞銀ヲ掛ケレバ金ニナルモノガアル、此ハ三十万圓カラ六十万圓ノ間ヲ昇降シテ、殆ド只取ルヤウナモノデアル、是ハ年々ノ利益デス、之ヲ失テシマク大藏省ノ收支ハ、大藏ノ役人モ居ルダラウ、大藏省ノ出タリ這入タリ、大藏省バカリデハナイ、地方廳ヲ合セルトキハ、出ルト入ルトハ百万圓ノ差ガ生ジ、其上此渡良瀬川ノ緣ノ天產ト云フモノガ、三十万圓以上六十万圓ノ間ヲ昇降スル損害ヲ年々受ケル、此利益ヲ失フノデアルカラ、普通ノ損害デナイ、ソレダケノ損害ガアルト此年々得ル所ノ利益ヲ取ラレタト云フノデアリマスカラ、利益ノ損害ハ年々ノ損害デゴザイマスカラ、年々渡良瀬川ノ緣ニ於テハ三十万圓ヨリ六十万圓以上ノ天產ノ損害ヲ受ケテ居ル、其他ノ損害ハ稻トカ麥トカ云フモノノ、損害ニナフテ來ルノデアル、是ハ洪水ガナクテモ、年々數百万圓ノ損害ガアル、洪水ガアルト五百萬圓ト云フ金高ニ上ル、是ガ普通ノ人ノ能ク知テ居ル所デ、其他ノ損害ニ至リマスト、鑽毒ト云フモノハ他ノ損害トハ違テ、地面ガナクナツテシマフ、元金ガナクナツテシマフ、地面カナクナルト同時ニ、其土地ニ居ル所ノ人類モナクナツテシマフ、斯様ナ譯ニ其處ガ總テ沙漠地ニナツテ人類マデニモ及ンデ往ク筋合ノ被害デゴザイマスカラ、當リ前ノ稻ヤ豆ノ損害ト云フモノハ數百万圓、其外ガ土地國家ノ——誠ニ國家ガナクナツテシマフト云フコトハ、永遠ニ係ハル損害、是ハ幾億万圓ダカ分ラヌノデス、之ヲ今日其儘置ケバ、人民ハ死ニ、國家ハナクナツテ仕舞ヒマスルト云フコトヲ、之ヲ繰返シ呶鳴ル

ニ過ギナイ話デゴザイマス、殊ニ其被害民ノ中ア最モ痛苦ニ堪ヘナインハ、此毒ノタメニ婦人ガ乳ガ出ナクナツテ、子供ニ乳ヲ飲マセルコトガ出來ヌト云フノガ、一番ヒドイ悲デゴザイマシテ、サウ云フ地方ハ澤山アル譯デハゴザイマセヌガ、之ヲ指シテ先ヅ鑽毒ノ激甚地ト申スノデゴザイマスガ、十五六箇村アルノデゴザイマス、其村ノ者ガ昨年春ナドハ大勢出テ來テ、請願ニ參タノデアリマス、東京ヘモ村長ガ五十幾人ト云フ連署ヲ以テ、此衆議院ヘモ請願書ガ出テ居リマス、居リマスケレドモ請願委員ガ御手ガ回ヌズ、之ヲ表向ヘ出サナカッタ、貴族院デハ其請願ハ可決シテアル、ソレカラ行政廳ハ内務省ナリ、農商務省ナリ、皆悉ク是ハ總理大臣ノ手許マデ、村長ガ二十人バカリ顔ヲ揃ヘテ出テ、願書ヲ奉呈シテ居タノガ、丁度二月七日、八日、九日ノコトデゴザイマス、デ田中正造が議場ヘ質問書ヲ出シタノガ二月九日、ソレカラアチラデ——群馬縣ノ川俣村ト云フ所デ、請願人ガ警察官ノヤウナ者ニ打惱メサレテ、サウシテ牢ヘ打込マレタノガ二月十三日デアル、左様致シマスルト云フト、此豫メ願書ヲ五十名モ調印ヲシテ、村長ガ二十人モ三十人モ揃テ、其外此調印ヲズウツシテ、大勢ガ東京ヘ出テ來テ、茲ニ調印ヲシテ者バカリモ、澤山ノ人數デ調印ヲシタ願書ヲ、貴族院衆議院ニ奉呈シタノデゴザイマスカラ、決シテ何モ其内所デ、謀叛ヲシタトカ何トカ云フヤウナ譯ノモノデハゴザイマセヌ、茲ニ是レ名前ヲ申シマスルト云フト、何デゴザイマスガ、先づ大抵是ガ皆昨年ノ請願ノ調印ヲシタ者デゴザイマス、唯話ガ長クナリマスカラ、斯様ニ致シテ(此時書類ヲ示ス)書物ヲ御覽ニ入レマスダケデ、之ガ調印ヲ致シテ、サウシテ出マシタノガ、村長バカリガ五十幾人ト云フ調印ガシテアッテ、出テ來タ村長ガ二十人以上、出テ來テ居ルトキデゴザイマス、其前ハ何遍モ集合ヲ致シテ出テ來タノデアルカラシテ、俄ニ二月十二日ノ晚ニナツテ、謀叛ヲシタ者ノ如クニ、之ヲ謀叛人ノ如クニ告訴ヲ爲シテ、裁判ノ厄介ニナル、或ハ之ヲ兇徒嘯聚ナドト云フテ來テ居ルトキデゴザイマス、非常ニ此者ヲ牢ヘ打込ンデ、ヒドイ目ニ遭ハセツ、アルト云フコトニ附キマシテハ、諸君ニドウシテモ是ハ、御訴ヘ申シテ置カナケレバナラヌノデゴザイマス、何デゴザイマセウカ、諸君、兇徒嘯聚ト云モノハ、惡ルイ者ガ集マツテ何カ不良ノ行ヲスルコトヲ指スノデゴザイマセウ、私ハ法律家デナイカラ、細カイコトハ知ラナイ、村長ガ連印ヲ以テ官衙ニ總理大臣ニマデ書面ヲ奉呈シテ、然ルニ大臣ト云フモノハ面會ヲ許サズ、唯官衙ハ之ヲ斷ルマデ、アルカラ、書留郵便デ其願書ヲ送リ込マナケレバナラスト云フ不幸ニ遭遇シテ居ル、此通知ヲ受ケテ地方ノ者ガ出テ來ヤウトシタノデアル、何モ兇徒嘯聚ト云フ名ヲ付ケル所ノ理由ガ、何處ニアルモノデゴザイマセウカ、デ斯様ナ所ニ於テ、餘リ話ヲスルノハ、被害民ノタメニ不利益ニナルカ何カ分リマセヌケレドモ、私ハ斯様ナ善良ナル人民ニ對シテ、兇徒嘯聚ナドト云フ惡名ヲ附ケタヤツコソ、是ハ實ニ兇徒嘯聚デアル、不埒至極ノ者共デアル、ドウカ私ハ此鑽毒事件ノ處置ノ附カナインモ實ニ遺憾千萬デ

ゴザイマスルガ、本員等ハ大ニ諸君ノ昨年以來ハ御贊成モ殖エテ參リマシタ  
カラシテ、前ニ比スレバ非常ニ結構ナコトデゴザイマスルガ、政府ノ側ニ向  
テ、私ハ吳モ申上ゲテ置キタコトガアルノハ、縱令ドンナ政府デモ政府  
ガアルデス、不完全ナガラモ役人ガ中ニ居ルト云ツタナラバ、是ハドウカ此  
一人ノ鑛山師ノ古河市兵衛位ニ、奴隸ノ如クニ使ハレルダケハ止メテ御貴ヒ  
申シタイ、請願ノ邪魔ヲシ地方廳モ請願書ヲ持シテ往クト、何ノ彼ノト云ツテ  
此請願ヲ取次ガナイ、ソシナ權利モ何モアリヤアレナケレドモ、ソシナ事  
ヲ以テ地方官衙デ、争フヤウナ人物ガナイカラ、サウ云フコトヲスルノデア  
ル、マサカニ田中正造ガ之ヲ持シテ往ケバ、添翰ヲセヌト云フヤウナ地方官ハ  
ナシ、ナイガ何ヲ言シテモ困ル人民ダカラト思シテ、愚弄シ、侮辱シ、翻弄  
シテ居ル、斯様ナ譯、東京へ來レバ何官衙デモ之ヲ大臣ガ面會ヲシナイ、村  
長ガ二十人以上五十人カラノ調印ヲ持シテ來テ、御願ヒ申シテモ、何回往シ  
テモ、之ニ大臣ガ面會ヲシナイ、サレバ大臣ハ多忙カト云ヘバ、裏ノ方へ往シ  
テ山林拂下タト云ヘバ、私が先ニ御目ニ懸ルト云フヤウナ役人ガ多イノデ  
アル、何ダ、々々、勝手ノ方カラ御摺リ込ミ、争シテ自分ガ面會シタガシテ居  
ルヤクザ官吏ハ、買收サレナインヲ遺憾トシテ居ル、己ガ効ガ惡ルイカラ、  
マダ是ハ古河市兵衛ニ買收ノ榮譽ヲ得ナイ——(笑聲起ル)面ヲ見ヤガレ、今  
日ノ現内閣ハマダ新シイ内閣デ、何ヲ言シテモ直接其人間デモナカラウ、前  
ニ御断申シテ置ク如クデアル、サリナカラ古イ人間ガ幾ラモ殘シテ居ル、  
残シテ居ルカラシテ、此新シイ大臣ト云フモノガ、鑛毒事件ナドト云フモノ  
ハ、辨ヘノナイ年ヲ取シタ大臣ノ眼玉ヲ黒クスル、之ヲ眩マス手品師ガ澤山  
アル、是ハ田中正造ノ眼ニサヘ餘程アルカラシテ、ソレダカラ此調査會ナド  
ト云フ公然タルモノガ開ケマス、是ハイケナニ極シテ居ル、又人ノ田地ノ五  
万町歩モ悪ルクシテ置イテ、二万何千町歩モ免租スルダケニシテ置イテ、是  
カラ調査ガ何ノ必要ガアル、人ノ千六十餘人モ打殺シテ置イテ、其處置モシ  
ネオデ、死人ヲ山ニ積シテ置イテ、是カラ調査トハ何ノ必要ガアル、斯様ニ  
私ノ論鋒ハサウデス、田中正造ノ論鋒ハサウデアル、サリナガラワレバカリ  
デモ往カヌト云フノガ、或ハ東京有志調査會ノ方デハイヤノ、調査ヲシナケ  
レバ人ガ承知シナイ、斯ウ云フ所カラ出タ、懇到切實ナル質問デアラウト思  
フノデアル、大村君ヤ島田君ノ御質問ト云フモノハ、實ニ穩ナル所ノ、殆ド仲  
裁同様ナ仲立人同様ナ質問デアラウト思フ、然ルニ之ニ對シテソレモイ  
ラナイトカ、之モイラナイトカ云フノハ、先刻來私ガ申シマス通、ドウ云フ  
了簡デ救濟ト云フ字ヲ使フタカ、ソレハ廣イ意味ニスルト、救濟ハナニモシ  
ナイヂヤナシカ、何モシナイトハ言ヘヌデガスガ、或ル豫防工事ヲ施シタカ  
ラ、ソレデ救濟ダナド、云フヤウナ、今申シタラ、是ハマルテ事實ガ轉倒シ  
ダコトデ、先づ豫防工事ノコトヲ一ツ申シマスレバ、アレハ取モ直サズアノ  
時ノ目的デ、スクトヤツテ往シタナラバ、是ハ多少ノ效能モアタモノデア  
ラウ、サリナガラ内閣ガ更ルト同時ニ、後ノ内閣ノ者ハ前ノ内閣ノシタコト

ヲシナインデアルノミナラズ、山林ノ如キコトニ至リマシテハ、山林ノ木ヲ  
伐ツテハナラヌト云フ命令ガ出テ居ル、山林ヲ伐ツテハナラヌト云フ命令ガ出  
ルト、木ヲ伐リ始メタ、ドウデス、ソレカラ、ソレマデハ官林アツタモノガ、  
俄ニ二万町バカリノ地面ヲ一個人ノ所有ニ之ヲ吳レテヤツタノデアル、左様ナ  
亂暴ノコトヲヤツタ、何デ一万町ノ地面ヲ一個人ニ遣シタカ、是ハ法律上ノ問題  
デノ問題デアツテ、ソレハ一個人ノ物ヲ、誤シテ官ニ組込ンダト云フノモ、アルカ  
ラ、一個人ニ返シテ遣ルト云フ途ガアルノデ、サリナガラ此一個人ノ物ヲ  
誤シテ組込ンダト云フ證據ガアルカ、此證據ハ曖昧トシテ居ル、嘘ツバカリノ  
證據デアル、僅カ五段カ六段ノモノヲ誤シテ組込ンダト云フノモ、二  
万町モ下グテ居ル、是ハ程度ノ問題デアル、十町下グテ遣ラウト云フノモ、  
一万町下グテ遣ラウト云フノモ、程度ノ問題デアル、程度ノ問題デアルカ  
ラ、國家ノ地續ノ地面ハ殘ラズ此人ニ遣ルノモ差支ナイト云フ、亂暴狼  
籍ノ議論ガ出ル此亂暴狼籍ノ議論ヲ以テ、二万町歩ノ地面ヲ五段カ六段  
誤シテ官ニ組入レタト云フ名義デ取シタノデアル、此官林ヲ伐ツチヤナラヌ、  
官林ヲ伐ルコトハナラヌト云フロノ下カラドンク伐ツタノデ、ソレデ其  
周旋ヲシタ人モ此邊ニ二人バカリ居リマスガ、ソレモ言ハヌ——言ハヌガ、  
サウ言フ譯デゴザイマス、如何デゴザイマス、諸君、免ニ角國家ノ同胞ガ  
鑛毒ノ害ヲ受ケテ居ル、請願ヲスル者ハ撲ツタリ殴イタリ、寒中ニ利根川ニ  
飛込ンダリ、何カシテ、漸ク三十年ニ調査會が開ケタ結果、先ツ是マデ河ヲ  
惡シクシタノモ仕方ガナイガ、是カラ先ハ河ヲ荒サナイヤウニシヤウ、鑛  
毒モ流サナイヤウニシヤウ、木モ伐ラヌト云フコトニナツタ、然ルニ何ゼ政  
府ノ役人ト爲シテ、飯ヲ食シテ居ル人ハ、法律ノ效力ノアルヤウニシテ與レ  
ヌデセウ、其禍ニ附ケ込ンデ農商務省ノ要路ノ地位ニ居ル奴ガ、ソシナコト  
ヲ——併ナガラ是ハ大層農商務省ノ次官ガ居ルカラ、大層迷惑ニ思シテ居  
ラレルカラ知レヌガ、此人デアナイ——次官デヤアナイ——ソイツガヤツタ、  
ソレカラ柴君デモナイ、アノ山田ト云フ人間——農商務大臣ニ二日バカリナ  
タトキ、山田ト云フ人ガ農商務省ニ二日バカリ居シテ、農商務大臣ノ辭職ヲシ  
タ日ニ認可ニナツテ居ル、或ハ大臣ハ知ラナイカモ知レナシ、斯ウ云フコ  
トヲシテ、人ノ難儀ニ附ケ込ンデ農商務省ノ大臣——役人ナリ責メテハ、  
此問題ヲ處置シテ吳レナイヤバカリデヤナシ、之ニ附ケ込ンデ錢儲ヲ面白ガシテ  
シテ居ルト云フノハ、精ケナイコトデハアリマセヌカ、諸君——又利根川  
ノコトニ附キマシテモ、諸君ニ申上ゲテ置キマスルガ——何デモ斯デモ申上  
ゲテ置カナケレバナラナイ、是ハ他ノ問題ハ免ニ角取急ギ、諸君ト騒ギテモ  
間ニ合ハヌ程ニ思ヒマスカラ申上ゲル、今日此ノ社寺ノ樹木ヲ、ドンク  
我ルト云フコトヲヤラレル、是ハ問題外ダカラ述ベマセヌケレドモ、是ハ  
二三年ノ間ニハ、國家ニ非常ナル變動ヲ起スコトデゴザイマセウ、時候其他  
ニ非常ナル變動ヲ起スコトデゴザイマスカラ、是ハ一言申上ゲテ置キマス、

之ニ續イテ卽チ利根川——利根川ト云フモノハ最モ大ナル河デアルカラシテ、此河ニ害ガアツテハ可哀サウダト云フノデ、諸君ガ利根川ノ埋マツタノヲ渫フテ遺ラウ——渫フノニ五六百万圓——私ハ六百万圓デアルト覺エテ居リマスガ、之ヲ決議ニナツテ渫フコトニナツテ居ル、斯ル有難イ議決ヲ貰フテアルカト思フト、此水源ヲ數万町——是ハ四萬町カ五萬町、大切ナル水源——木ガ一杯生ヘテ、何程タカ今日容易ニ金ニモ積レナナイ程ノ木ガアル是ハ先刻大村君カラ御質問書が出テ居ル、之ヲ拂下グテ、一方ニハ六百万兩ノ金ヲ掛ケテ河ガ淺クナツタカラ、渫ツテヤラウトノ國會ノ決議デアル、是ト同時ニ木河上ノ水源ヲ荒ス所ノ、數万町歩ノ大木ヲ伐木スルコトヲ許可スルト云フコトハ、如何デゴザイマセウ、諸君——斯ノ如キ惡ルイコトヲシテ宣イモノデゴザイマセウカ、御承知ノナイ御方ガアルカラ、私ハ之ヲ諸君ニ御訴ヘ申スノデアル、是ハ群馬縣デス、即チ拂下グ受ケタルモノハ、足尾銅山ノ鑛業古河市兵衛デアルノデ、ソレガドウシテ知レナカツタノデアルカ、昨年質問書ヲ出シマスルト、サウ云フコトハナイト云フ答辯デアツタカラ、安心シテ居タノデアル——所ガ其木ヲ運ビ出ス運ビ出ス所ノ道ヲ拵ヘルニ附イテ、掛ケテ來テ、ソレデ其山ヲ拂下グタト云フコトガ始テ知レタノデス——山足尾銅山カラ一里上ノ、松木村ト云フ所ノ地面ヲ通ルカラ、此處へ道ヲ拵ヘルト云フコトニ附イテ騒動ガ起シテ、其者ガ内務省或ハ農商務省アタリヘ出掛ケテ來テ、ソレデ氣が附イタ、ダカラ十年其間ノ中ノコトデスカラ知レヤシマセヌ、例ヘバ栃木縣人ガ何せ今日ニナツテ騒グト思召ガアリマセウガ、伐ラレタノハ知ラナカツタ、山ガ荒レテ河ガ淺クナツテ、洪水ノタメニ堤防費ガ多クナツタカラ氣ガ附イタ、ダカラ十年其間ガアル、群馬縣ハ今日伐始メタバカリデアル、伐始メタバカリデスケレドモ、實ニ一方ニ於テハ川渫ヒノ費用ヲ、國庫ヨリ六百万兩ト云フ金ヲ支出サセルコトヲ議決シテ御貰ヒ申シテ、一方ニ於テハ此數百万圓ダカ、數千万圓ダカ、越後ノ境ノ方マデ往シテ居ル深山大壑ヲ、殘ラズ之ヲ何程デ拂下ゲタカ、足尾銅山ノ例ニヨレバ卽チ一万兩未滿デ拂下グタカモ知レナイ、何百万兩、何千万兩ノ價ノアルモノヲ、一万兩未滿デ拂下グルヤウナコトヲ一方ニハシテ、サウシテ山ヲ荒シ、其河ヲ渫フニハ此六百万兩ノ金ヲ出サセルト云フヤウナコトガ、一ツノ政府ノトキニ、一ツノ手テ出來上タト云フコトニ附イテハ、諸君ハ是ハ聞拾ニナラヌコトデゴザイマス、本期ハ既ニ會期モ追止メテ吳レロト申シマスレバ、隨分詭激ナ語ヲ用ヒ、隨分亂暴ナアクタイヲ上下兩院ノ議員ニ之ヲ訴ヘテ、又現内閣ニモ質問書モ出し、是ダケノ話モ致シタノデゴザイマスカラ、是デ此處置が出來ヌト云フコトハナカラウト思フノデゴザイマス、斯様ナ譯デゴザイマスカラ、古河市兵衛ノ奴隸ノ勤ダケハテ是ハ如何トモスベカラザルコトデゴザイマセウガ、實ハ本年ノ此衆議院耕すべき地ハナイ、田地ハナイ、悲イト言ヲ出テ來ル所ノ請願人ニハ、大

臣ガ面會ヲシナイ、ソレヲ苦勞ニシテ出テ來ルモノハ、捕ヘテ牢ニ打込ム其留守デ何ヲシタ、其留守デハ山ヲ又何万町ト云フモノヲ拂下グテ、之ヲ伐木スルコトヲ古河市兵衛ニ約束シタ、其川ハドウ云フ川ダ、其川ハ卽チ渡良瀬川ノ落込ム利根川ト云フ川デアツテ、大分川ガ淺クナツタカラ、ソレヲ渫ツテヤラウト云ツテ、帝國議會デハ、六百万圓ト云フ金ヲ議決シテ吳レタノデアル、斯ノ如ク私ガニ三遍モ、此コトハ繰返ヘシテ申上ゲマシタカラ、諸君モ十分御記憶ニ相成ルコトデアラウト考ヘマス、唯政府ガ此コトヲ聞イテ御捨置キナサルガ、又何モ之ハ群馬縣ノ問題デヤゴザイマセヌケレドモ、群馬縣ノ諸君、埼玉縣ノ諸君ハ、直接御自分ノ——御自分ノ御身分、御身分ノ性命ニ係ハル問題デゴザイマス、是ハ國家問題ナリト云ツテ、國會ニバカリ抛リ付ケテ置キマシテ、御自分ノ家ガ流レテシマツタ跡デ、立派ニ御議論ヲ仰シヤルヨリモ、早ク茨城縣ノ諸君、千葉縣ノ諸君、群馬縣ノ諸君、埼玉縣ノ諸君ハ、此利根川問題ニ附イテ、水源ノ濫伐ダケハ押ヘテ置ク方ガ宜シカラウト考ヘマス、唯呶鳴ツタデハイケマセヌ、木ハ伐ツテシマフノデゴザイマス、理窟ヲ後トカラ言ツタノデハ間ニ合ハヌノデス、山ハ五十年ト百年タ、ナケレバ出來ナイ、木ヲ伐ルノハ一月カ二月デ伐ツテシマウノデゴザイマス、濫伐ダ、千人カ二千人出テ伐レハ雜作ナインデアル、諸君、山ノ木ヲ免ニ角ナツテ、伐ラセナイダケニハ、早ク農商務省ノ方ニ、此際四縣ノ埼玉縣、群馬縣、茨城縣、千葉縣ノモノハ、農商務省ノ方ニ御連ビニナリ、内務省ニ御斷リニナリ、サウシテ伐ラセルダケハ止メテ置イテ、後トハ著々ドウ云フモノ、行違デアルカト云ウヤウナコトヲ、後トカラ著々ト諸君ガ爲スツタナラバ、直シカラウト考ヘマスルノデス、唯先づ是ハ一例ヲ申上ゲタノデス、栃木縣ノ如キハ大抵モウ山ヲ伐リ盡シテ居リマシテ、又昨年那須郡鹽谷郡ノ方ノ高原山ト云フ方ヲ、是ハ又非常ナモノヲ拂下グタノデアル、諸君私ガ、申上ゲケレドモ我國ハ何レノ國々モ此封建時分ハ能ク山ニ骨ヲ折テ、藩主ガ木ヲ植エタノデゴザイマス、關東ハ特ニ地味ガ惡ルイカラト云フノデ、徳川ガ非常ニ此關東ノ田野ノ灌漑用水ニ附イテ、山林ノ御話ヲスルヤウデゴザイマスケレドモ、皆御承知ノモノニ向シテ、山林ノ御話ヲスルヤウデゴザイマス

ケレドモ我國ハ何レノ國々モ此封建時分ハ能ク山ニ骨ヲ折テ、藩主ガ木ヲ植エタノデゴザイマス、關東ハ特ニ地味ガ惡ルイカラト云フノデ、徳川ガ非常ニ此關東ノ田野ノ灌漑用水ニ以テ來テ神ヲ祭ルトカ、寺ヲ造ツテ、サウシテ坊主ヲ置クトカ、山伏ヲ置イテ、其ソイツニ何十町ト云フ大キナ地面ヲ吳レテ、之レニ管理サシタ位ニ骨ヲ折ツタモノデアル日光ナドハ其内ノ最モ大ナルモノナイ所ハ山ノ水源ニ以テ來テ神ヲ祭ルトカ、寺ヲ造ツテ、サウシテ坊主ヲコトニハ、實ニ力ヲ極メタモノデゴザイマス、一百年間日光ノ道中ノ、ア

ガ、一人ノ人ニ大キナ山ヲ吳レタナドト云フ、サツシテ水源ヲ坊主ニ世話ヲサセ、神主ヤ坊主ハ自分ノ物ニナリマシテ、自分ノ宅地内ノ木ニナリマスカラ、是ハ他カラ木ヲ持ッテ來テ、色々珍シイ木ヲ持ッテ來テ、植エテ木ヲ伐ルコトガナイカラ、ソコノ所ハ誠ニ宜シイ斯様ナ譯ニ色々工風ヲシテ、其一ツヤゴザイマセヌ、種々ナル工風ヲ籠メテ、水源涵養ニ力ヲ用ヒタノデアル、之ヲ辭ヲ短ク申シマスルト、徳川ハ山ニ木ヲ植エルノガ病デアルカト云ファウニ——徳川ハ山ニ木ヲ植エルノガ主義デアル、癖デアル、病デアルト云フ位ニ、山ヲ能ク大事ニシマシテ、此水源ノ涵養ニ實ニ力ヲ盡シタモノヲ、今日ハドウデゲセウ、昨年ノ質問ノ答辯ニ因リマシテ、是ハ農商務省が能ク正直ニ話シマシタケレドモ、將來山林ヲ拂下グタ山ヲ調べテ見ルト、伐木後トニ木ヲ植エルダケノ代價ヲ以テ拂下グタノハ一口モナイ、例へバ此山ヲ一万兩デ拂下ゲル、此後トヘ木ヲ植エルニハ、三万兩ノ木ヲ植エナケレバナラヌ、五万兩ノ木ヲ植エナケレバナラヌノヲ一万兩ニ拂下グタ、ダカラシテ下拂代金ノ少ク七十倍二十倍ノ金ガナケレバ、後トヘ苗木ヲ植エルコトガ出來ナイ、日本ノ山ハ禿ゲテ、後トハアノ通ニナクテ、土ガ崩レルノデアル、是カラハドウカ左様ナコトノナイヤウニシヤウト云フコトヲ是ハ將ニ農商務省ノ立派ナル所ノ御役人ガ御話ニナクコトヲ存ジテ居ルト、直クニ足尾銅山ノ近所ノ又數万町ノ山ト云フモノヲ拂下ニナック、ソレカラ其材木ヲ運ブ所ノ道敷ノコトニ附イテ、騒動ガ起テ、ソレデ世ノ中ニ此事ハ露顯シテ吾々ガ今日諸君ニ御訴ヘ申スコトガ出來ルト云ファウナコトガ、内部ニ在ルデス、誠ニ何トモドウモ此一事ヲ以テモ國家ノ全體ヲ推量スルニ足リル、ドウカ口汚ナク申スヤウデゴザイマスケレドモ、ドンナ政府デモ政府ガアリ、役人ガアレバ吾々ハ政府ハ政府ケダメノ尊敬ヲ加ヘテ、又役人ハ役人ダメニ明日取テ更ルトモ、ソレマデノ所ハ即チ職務ヲ持ッテ居ル人ハ、ソレダケノ敬禮ヲ加ヘナケレバナラヌ、其人ガ——其人々ガ從來ノ所ノ有様ヲ以テ見ルト云フト、何デス、一個人ノ如何ニ大金持デアルトモ、古河市兵衛ガ金ヲ持テ居ルトモ、其古河市兵衛ノ殆ド小使野郎ノ如ク、マルデ使ハレテ居ルト云フ其形蹟ガ歷々トアフテ、ソレヲ質問書ニ書イテ、質問サレテモ、ソレデ質問書ハ速記錄ニ載ルダケデアル、田中正造ノ演説ハ尤大デアルトシテ、人ガ聞カヌカラ宣シイト云フテ、之ヲ拋棄シテ置クト云フコトガ、大臣ノ責任トシテゴザイマスルカ、ソレダケハ止メテ御賞ヒ申シタイ、今度ノ内閣ニ於テハ、ソレダケノコトヲバ、ドウゾ來ル十六議會ニ於テ、田中正造ハ出マセヌデモ是ハ國家問題デゴザイマスカラ、如何ナル人ガ此問題ヲ出シマシテモ、伊藤内閣ハ古河市兵衛ノ奴隸ナリト云フコトノ辭ヲ發セラレナイヤウニ、私ハ望ンデ置クノデス、是マデ冒頭ニ申上ゲマシタル通、ドウ云フコトノ自然ノ行拂リカ、鑽毒事件ハ伊藤博文君ハ從來政黨トシテ敵デアリナガラ、此人ノ内閣ノトキニハ一回ノ質問書ヲ出サズ、後藤象二郎ノ農商務大臣ノトキニモ其通デアシテ是ハ設ケテ其質問ト云フモノ、ナルモノデハナイ、故ラ

ニ拘ヘテスル議論ト云フモノハナイ、ドナタニモソレハゴザイマスマスガ、吾々ハ殊ニナイ、斯ウ云フコトヲ冒頭ニ申上ゲタ位ニアリマスカラ、虚心平氣ニ御聽取下サレテゴザイマセウケレドモ、ドウモ此從來ノコトハ已ムヲ得ナイ、島田君ノ演説ニ申サレマシタル通、誰ガ惡ルイト云フ譯デモナイ、皆惡ルカツタノデアル、是カラ皆様ト此仕事ヲシナケレバ、ナラナイカラ、政府ノ役人ニモ皆一緒ニナシテヤツテ貰ヒタイト云フ是ハ至極島田君ノ御話、御尤ノ御話ト考ヘマス、今日ニナツテ誰ヲ彼ヲト云フヤウナコトヲ申スノデハゴザイマセヌガ、後トニ残ツタ者ハ、ドウ云フ者ガ残ツテ居ルカト云フト是モノ者ガ残ツテ居ル、從來ノ大臣、從來ノ政府ノ役人ハ、皆シナ賢明ナル者バカリデアツタカモ知レナイガ、後トニ残ツテ居ル者ハ、皆暴惡ノ跡バカリガ、殘ツテ居ルト云フコトニナル、ソレデハドウモ困ルカラ、ドウカ役人タルモノハ、賢明デナクテモ宜シイ、左程日本一ノ聖人デナクテモ——大政治家デナクテモ宜イカラ、後トヘ此亂暴ナコトヲ残サナイヤウニ致シテ、御貢ヒ申シタイ、從來ノ如ク古河市兵衛ヲ恐ル、コト、殆ド是ガホンニ鬼神ノ如クニ恐レル、政府ハ——マサカニ古河市兵衛ヲ恐ル、コト、神ノ如ク尊ノコトニ附イテ、騒動ガ起テ、ソレデ世ノ中ニ此事ハ露顯シテ吾々ガ今主様——古河市兵衛名ヲ呼バナイ位デアリマス、斯様ナ譯デゴザイマシテ、地方ノ被害民ヲ非常ニ輕蔑スル——輕蔑シタ誰ガ其ヤウニサセタカト云ブノデハナイガ、地方官ノ如キハ古河ノコトヲ、鑽主様ト云ツテ居ル、鑽業ナラスヤウニナクテ居ル、ソレカラ被害民ガ中央政府ニ參リマスルト、先ツ農商務省ニ參ルガ、農商務省ガ此被害民ヲ輕蔑スルノデアル、役人ガ此被害民ヲ見テ、誰モ居ナイト幾ラカ情ケラシイコトヲ言フ、ソコ等ニ人ガ居ラ亂暴狼籍ノ挨拶ヲシナケレバ、仲間ノ交際ガ出來ナイ、斯様ナ譯ニ古河市兵衛ヲ怖レルノデアル、實ニ今日ノ所デハ、實ニ殘念ナガラ、内務省ハ、農商務省ガ斯ノ如キ亂暴ナコトヲスルナラバ、何ゼ内務省ガ人民ノ側ニナクテ、人民ノ保護ヲスルタメニ、此農商務省ニ向シテ議論ヲシナイノデアル、農商務ノ過ヲ是マデ深カラシメナイヤウニ、何ゼ内務省ノ權利デヤラヌノデアル、所ガ此内務省ハ寧ロ農商務省ニナリ代ツテ、農商務省ノ株ヲ、此方ヘ半分寄越セ、ドウデスス様ナ手附キヲシテ居ル、ソレハ仕方ガナイ私ニ何ント言レテモ仕方ガナイノデアル、何ゼ此内務省ナルモノハ、人民ノ此被害ヲ受ケルコトヲ、先キニ立ツテ防ガウトハシナイノデアル、彼等ガ先キニ立ツテアリサヘスレバ、人民ノ請願スル必要モ何モナイノデアル、己ガナスルノデアルカラシテ、實ニ國家トシテハ此被害民ノ請願ト云フモノハ、實ニ是ハ尊イノデアル、其尊イ位ノコトハ、内務省ハ心得ナケレバナラヌ、其群馬警察官ガアンナコトヲスル譯ハナイノデアル、此憲法ヲ奉戴シテ出テ來

ル所ノ、請願ノ権利ニ依テ、秩序ヲ履ンダサウシテ出テ來ル所ノ請願者ヲ、途中ニ於テ途ヲ塞イテ、殊更ニ争フ挑ミカケテ、之ヲ打撃イテ其負傷者ハ是ダケアルノデス、昨年ハ負傷者ノ數ガ分リマセヌカツタガ、七十四名ト云フ怪我人ガ出來タ、人名ガゴザイマス、之ヲ速記録ニ載セテ戴ク積リテゴザイマス、デ七十四人是デ警察官ガズツト居シテ、警察官ガ殴イタト、吾ミハ認メテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ警察官ハ殴イタ覺ハナイト云フカラ、ナグラナインデゴザイマセウ、被害民ハ警察官ガナグツタト云フカナラバ、ナグツタノデゴザイマセウ、先ヅコマデハソレヲ信シテ居ル、併ナガラ警察官ガナグラナイト言ヘバ、又ナグラナイトモ信ズル、サウナルト誰ガナグツタカ分ラナイ、分ラナイヂヤナイ、警察官ガ百五十人モ立會ノ上デ、出來タ怪我人アル、唯ガナグツタノダト、斯フ云フ此方ニハ議論ガアルノデス、是ガ昨年ノ議會中ハ分リマセヌカツタカラ、私ハ今日日本國中ニ之ヲ訴ヘテ置クデス、七十四人ノ怪我人ガ出來テ、警察官ガ百五十人立會ノ上デ、誰ガナグツタカ分ラナイ、斯様ナ群馬縣ノ警察官ノ處置デゴザイマスル、サウ云フ警察官ノ處置デモ、權利ヲ有シテ居シテ此者ガ、之ヲ告訴スレバ兇徒囁聚ナド、云フ、此有難イ人民、實ニ惡ルク言ヘバ内務省ナリ、農商務省ナリ、國賊トモ言ハレルデゴザイマセウケレドモ、サリナガラ多クノ公務ヲ持テ居ルモノデアルカラ被害人民ガ骨ヲ折シテ此請願ヲ持テ來ルノデアルカラ、此請願者ハ實ニ尊イ所ノ請願デアル、可愛サウデアル、懸ムベキモノト云フコトハ、是ハ別段此等イモノヲナグル、サウシテ牢ニ入レル、一年以上モ牢ニ打込ム、サウシテ此裁判ヲ何處ニ開イタカト云フト、前橋ニ開イタ、此地方カラ繰出シテ來ス者モ、二ツニ別レテ來タノデゴザイマセウ、一ハ利根川ヲ越エテ埼玉縣ニ這入シタノガ六百人、是ハ埼玉縣ノ忍ト云フ所ノ警察官ノ説謠ニ依テ——是ハ昨年述ベテゴザイマスカラ、簡短ニシマスルガ、十人程、ソコデ懲代ヲ立テ、後トノ五百九十人ハ歸シタノデアル、總代ノ十人ノ名ハ、此處ニゴザイマス、是ハ農商務省ヘチヤント往シテ居ルノデゴザイマス、總代ハ此十人ニ委シテ五百九十八人ハ、其處カラ説謠ニ依テ歸シタ、其歸シタモノヲ群馬縣ノ警察官ハ、之ヲ又ブンナグツタ、ソレダケハ昨年述ベテゴザイマス、特ニ此埼玉縣ニ是ダグノ事件ガアツタノデアルノニ、何故ニ之ヲ被害民ノタメニ便利ヲ圖ルナラバ、之ヲ浦和ノ裁判ニ持テ來ナカッタノデアル、浦和ノ裁判ヘ持テ來マスレバ、前橋ノ裁判トハ、其費用ガ三分ノ一位ハ減ズルノデゴザイマス、東京ノ辯護士諸君ガ御出デニナルニ致セ、實ニ此事件ニ附イテハ東京ノ辯護士諸君ハ此衆議院ニモ澤山御出デ下スツタ御方モゴザイマス、貴族院ニモゴザイマスルガ、何分五十里近キ鐵道ヲ一日置キニ御出デニナルト云フノニ附イテハ、事務ノ縁合セヤ何カ

レルガタメニ、大層ニ費目ガ掛ルノデ、費用ガ掛ツテ事ガ舉ラナイヤウナ所ヘ持ツテ往ツテ、殊更ニ前橋ヘ裁判ヲ持ツテ往ツタト云フコトモ是モ餘程ノメテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ警察官ハ殴イタ覺ハナイト云フカラ、何カ之ニ關係スル人間ナグラナインデゴザイマセウ、被害民ハ警察官ガナグツタト云フカナラバ、ナグツタノデゴザイマセウ、先ヅコマデハソレヲ信シテ居ル、併ナガラ警察官ガナグラナイト言ヘバ、又ナグラナイトモ信ズル、サウナルト誰ガナグツタカ分ラナイ、分ラナイヂヤナイ、警察官ガ百五十人モ立會ノ上デ、出來タ怪我人アル、唯ガナグツタノダト、斯フ云フ此方ニハ議論ガアルノデス、是ガ昨年ノ議會中ハ分リマセヌカツタカラ、私ハ今日日本國中ニ之ヲ訴ヘテ置クデス、七十四人ノ怪我人ガ出來テ、警察官ガ百五十人立會ノ上デ、誰ガナグツタカ分ラナイ、斯様ナ群馬縣ノ警察官ノ處置デゴザイマスル、サウ云フ警察官ノ處置デモ、權利ヲ有シテ居シテ此者ガ、之ヲ告訴スレバ兇徒囁聚ナド、云フ、此有難イ人民、實ニ惡ルク言ヘバ内務省ナリ、農商務省ナリ、國賊トモ言ハレルデゴザイマセウケレドモ、サリナガラ多クノ公務ヲ持テ居ルモノデアルカラ被害人民ガ骨ヲ折シテ此請願ヲ持テ來ルノデアルカラ、此請願者ハ實ニ尊イ所ノ請願デアル、可愛サウデアル、懸ムベキモノト云フコトハ、是ハ別段此等イモノヲナグル、サウシテ牢ニ入レル、一年以上モ牢ニ打込ム、サウシテ此裁判ヲ何處ニ開イタカト云フト、前橋ニ開イタ、此地方カラ繰出シテ來ス者モ、二ツニ別レテ來タノデゴザイマセウ、一ハ利根川ヲ越エテ埼玉縣ニ這入シタノガ六百人、是ハ埼玉縣ノ忍ト云フ所ノ警察官ノ説謠ニ依テ——是ハ昨年述ベテゴザイマスカラ、簡短ニシマスルガ、十人程、ソコデ懲代ヲ立テ、後トノ五百九十人ハ歸シタノデアル、總代ノ十人ノ名ハ、此處ニゴザイマス、是ハ農商務省ヘチヤント往シテ居ルノデゴザイマス、總代ハ此十人ニ委シテ五百九十八人ハ、其處カラ説謠ニ依テ歸シタ、其歸シタモノヲ群馬縣ノ警察官ハ、之ヲ又ブンナグツタ、ソレダケハ昨年述ベテゴザイマス、特ニ此埼玉縣ニ是ダグノ事件ガアツタノデアルノニ、何故ニ之ヲ被害民ノタメニ便利ヲ圖ルナラバ、之ヲ浦和ノ裁判ニ持テ來ナカッタノデアル、浦和ノ裁判ヘ持テ來マスレバ、前橋ノ裁判トハ、其費用ガ三分ノ一位ハ減ズルノデゴザイマス、東京ノ辯護士諸君ガ御出デニナルニ致セ、實ニ此事件ニ附イテハ東京ノ辯護士諸君ハ此衆議院ニモ澤山御出デ下スツタ御方モゴザイマス、貴族院ニモゴザイマスルガ、何分五十里近キ鐵道ヲ一日置キニ御出デニナルト云フノニ附イテハ、事務ノ縁合セヤ何カ

被害民ノタメニモ宜イカラ、浦和ヘ持ツテ來ルノガ至當デアル、何ヲ苦シメテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ警察官ハ殴イタ覺ハナイト云フカラ、何カ之ニ關係スル人間ナグラナインデゴザイマセウ、被害民ハ警察官ガナグツタト云フカナラバ、ナグツタノデゴザイマセウ、先ヅコマデハソレヲ信シテ居ル、併ナガラ警察官ガナグラナイト言ヘバ、又ナグラナイトモ信ズル、サウナルト誰ガナグツタカ分ラナイ、分ラナイヂヤナイ、警察官ガ百五十人モ立會ノ上デ、出來タ怪我人アル、唯ガナグツタノダト、斯フ云フ此方ニハ議論ガアルノデス、是ガ昨年ノ議會中ハ分リマセヌカツタカラ、私ハ今日日本國中ニ之ヲ訴ヘテ置クデス、七十四人ノ怪我人ガ出來テ、警察官ガ百五十人立會ノ上デ、誰ガナグツタカ分ラナイ、斯様ナ群馬縣ノ警察官ノ處置デゴザイマスル、サウ云フ警察官ノ處置デモ、權利ヲ有シテ居シテ此者ガ、之ヲ告訴スレバ兇徒囁聚ナド、云フ、此有難イ人民、實ニ惡ルク言ヘバ内務省ナリ、農商務省ナリ、國賊トモ言ハレルデゴザイマセウケレドモ、サリナガラ多クノ公務ヲ持テ居ルモノデアルカラ被害人民ガ骨ヲ折シテ此請願ヲ持テ來ルノデアルカラ、此請願者ハ實ニ尊イ所ノ請願デアル、可愛サウデアル、懸ムベキモノト云フコトハ、是ハ別段此等イモノヲナグル、サウシテ牢ニ入レル、一年以上モ牢ニ打込ム、サウシテ此裁判ヲ何處ニ開イタカト云フト、前橋ニ開イタ、此地方カラ繰出シテ來ス者モ、二ツニ別レテ來タノデゴザイマセウ、一ハ利根川ヲ越エテ埼玉縣ニ這入シタノガ六百人、是ハ埼玉縣ノ忍ト云フ所ノ警察官ノ説謠ニ依テ——是ハ昨年述ベテゴザイマスカラ、簡短ニシマスルガ、十人程、ソコデ懲代ヲ立テ、後トノ五百九十人ハ歸シタノデアル、總代ノ十人ノ名ハ、此處ニゴザイマス、是ハ農商務省ヘチヤント往シテ居ルノデゴザイマス、總代ハ此十人ニ委シテ五百九十八人ハ、其處カラ説謠ニ依テ歸シタ、其歸シタモノヲ群馬縣ノ警察官ハ、之ヲ又ブンナグツタ、ソレダケハ昨年述ベテゴザイマス、特ニ此埼玉縣ニ是ダグノ事件ガアツタノデアルノニ、何故ニ之ヲ被害民ノタメニ便利ヲ圖ルナラバ、之ヲ浦和ノ裁判ニ持テ來ナカッタノデアル、浦和ノ裁判ヘ持テ來マスレバ、前橋ノ裁判トハ、其費用ガ三分ノ一位ハ減ズルノデゴザイマス、東京ノ辯護士諸君ガ御出デニナルニ致セ、實ニ此事件ニ附イテハ東京ノ辯護士諸君ハ此衆議院ニモ澤山御出デ下スツタ御方モゴザイマス、貴族院ニモゴザイマスルガ、何分五十里近キ鐵道ヲ一日置キニ御出デニナルト云フノニ附イテハ、事務ノ縁合セヤ何カ

被害民ノタメニモ宜イカラ、浦和ヘ持ツテ來ルノガ至當デアル、何ヲ苦シメテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ警察官ハ殴イタ覺ハナイト云フカラ、何カ之ニ關係スル人間ナグラナインデゴザイマセウ、被害民ハ警察官ガナグツタト云フカナラバ、ナグツタノデゴザイマセウ、先ヅコマデハソレヲ信シテ居ル、併ナガラ警察官ガナグラナイト言ヘバ、又ナグラナイトモ信ズル、サウナルト誰ガナグツタカ分ラナイ、分ラナイヂヤナイ、警察官ガ百五十人モ立會ノ上デ、出來タ怪我人アル、唯ガナグツタノダト、斯フ云フ此方ニハ議論ガアルノデス、是ガ昨年ノ議會中ハ分リマセヌカツタカラ、私ハ今日日本國中ニ之ヲ訴ヘテ置クデス、七十四人ノ怪我人ガ出來テ、警察官ガ百五十人立會ノ上デ、誰ガナグツタカ分ラナイ、斯様ナ群馬縣ノ警察官ノ處置デゴザイマスル、サウ云フ警察官ノ處置デモ、權利ヲ有シテ居シテ此者ガ、之ヲ告訴スレバ兇徒囁聚ナド、云フ、此有難イ人民、實ニ惡ルク言ヘバ内務省ナリ、農商務省ナリ、國賊トモ言ハレルデゴザイマセウケレドモ、サリナガラ多クノ公務ヲ持テ居ルモノニ、憫ムベヤ今日ノ農商務大臣ハ、此有様ヲ知ラズ、御存知ガナクテ、斯様ナ譯デ多クノ被害民ヲ樸滅シテ、國家ノ土地ト人民ヲ樸滅スルダケノ目的デヤシテ居ル、何ノ害ノナイ人民ヲ、啻ニ樸滅サセル目的デヤシテ居ルノニ、憫ムベヤ今日ノ農商務大臣ハ、此有様ヲ知ラズ、御存知ガナクテ、斯様ナ譯デ多クノ被害民ヲ樸滅トカ何トカ云フコトヲ、ドナタカ書キマシタカナア、サウシテ答辯ニ救濟トカ何トカ云フコトヲ、ドナタカ書キマシタカナア、大臣ガ書イタンデヤアナイ、尤モ此鑽毒問題ノ答辯書ハ、古河市兵衛ノ家ニ居ル祕書官ヲ、此奴ガ何時デモ書クノデ、サウシテ先ツ古河市兵衛ニ御覽ニ入居ルモノデアルカラ被害人民ガ骨ヲ折シテ此請願ヲ持テ來ルノデアルカラ、此請願者ハ實ニ尊イ所ノ請願デアル、可愛サウデアル、懸ムベキモノト云フ可ヲ得ルト云フノガ、先ヅ手續デアルト云フコトハ、モウ當時デヤアゴザリマスマイガ、今度ノ内務ナドニハナイ——今度ノ内閣ニモアルマイガ、先ヅサウ云フ譯デアルデアル、ダカラ文章ヲ御覽ナサレバ分ル文章ヲ御覽ナサレバ分ル、此答辯書ヲ御覽ナサレバ分ル、決シテ其農商務大臣ノ何トカ云フ、當リ前ノ大學出ノ學者トカ何トカ云フモノガ、揃ツテ居テ書イタモノガ可哀サウダ、其汚名ヲ受ケル其官吏ハ、其汚名ヲ受ケル、惡イコトヲシナイデモ汚名ヲ受ケル、小役人ト云フモノガ汚名ヲ受ケテ馬鹿ニナリ、馬鹿野郎ガ書イタヤウナ答辯書デアル、書イタモノヲ見ル同時ニ、是ハ官吏ト云フモノガ可哀サウダ、其汚名ヲ受ケル其官吏ハ、其汚名ヲ受ケル、惡イコトヲシナイデモ汚名ヲ受ケル、小役人ト云フモノガ汚名ヲ受ケテ馬鹿ニナリ、農商務大臣ナリ、當局大臣ノ認可ヲ得テ出スノガ例ニナツテ居ル、今度ハソンナコトハゴザリマスマイガ、以上私ガ申上げルヤウナ話デアルノニ、臭イカラ、先ヅ先キヘ持ツテ往ツテ認メテ貰ツテ來テ、サウシテカラ内務大臣ナリ、農商務大臣ナリ、當局大臣ノ認可ヲ得テ出スノガ例ニナツテ居ル、今度ハソンナコトハゴザリマスマイガ、古河市兵衛ニ愚圖々々言ハレチヤア面倒ルデ、此答辯書ヲ出スニ附イテモ、大村君ト島田君ニ對スル答辯書ヲ見マスルト、救濟ヲシテ居ルト云フカラ餘りオカシクナツテ來タ、ダカラ其救濟ト云フ意味ハドウ云フ意味カト云フノガ、私ノ質問斯様ナ譯デゴザリマシテ、モウ隨分御迷惑デゴザイマセウカラ、辯護士諸君モニ丁度五十一人ゴザイマスルヤウナ譯デゴザイマス、其外ニ田中正造ガ官吏侮辱ト云フノデ、マダ一ツ此事件ガゴザイマス、之ハマア官吏侮辱ト云フンデスカラ、マダドウナルカ知レマセヌガ、チヨシトマア諸君ニ

是マデノナンデガスカラ、申上ゲテ置キマス(「ヤリタマヘヤリタマヘ」ト呼フ者アリ)サウ云フ譯デ申シ上ゲタイコトハ、實ニ澤山ゴザイマスケレドモ、如何ニモ今日ニナリマシテ、何ヲ申シマセウカ、唯一つ表題ダケヲ申シテ置キマスノハ、是ハ農學會會報ト云フ大學デ——農科大學デ出來ル雑誌デゴザリマスガ、是ハ二十五年ノ八月二十日——二十五年八月二十日ノ刊行デゴザリマス、足尾銅山鑛毒ノ研究ト云フシデ、古在由直先生ノ調査ガゴザイマス、是ハ五十五頁カラ九十八頁マデアル、ナカク精密ナル調査、一箇月バカリ掛ツテ鑛毒ノ調査、鑛毒ノ分析表デ、此表題ハ明治二十五年八月二十日ノ刊行デ、農學會會報第十六號、足尾銅山鑛毒ノ研究ト云フ欄題デ、古在由直君、今ハ博士ニナシテ居ル、此人ノ調査シタモノガアリマスルカラ、之ヲ諸君ニ御覽ヲ願フノデアル、デ此方ノ御話ニ、同時ニ官報ヘ出シタノガアルガ、官報ニ出シタノハ少シ變ツテ居ル、變ツテ居ルカラシテ、此雜誌ノ方ガ確デゴザルト云ツテ、之ヲ御差送ニナシタ、前橋ノ公判ヘ證人ニ出マシタトキニ、官報ガ確ナルモノト思ツタカラ、官報ヲ後トテ段々調べルト、此方ガタシカ外カラ之ヲト云ツテ、御差送ニナシタデスカラ、是ダケハ諸君ニ御訴申シテ置キマス、鑛毒ト云フモノハ一直田畠へ這入ルト、モウソレデ一年經ツタカラナクナシタノ、三年經ツタカラナクナシタト云フモノデナイト云フ、是モ學者ノ定論ニアシテ、今何モ喋々ヲ要サナイ話デゴザイマスカラシテ、初カラ質問書ニ依ヌテ御覽ニナルコトヲ希望致シマス、私ハ質問書ニ書イテナイ所ダケヲ申上ゲルト、申シ上ゲマシタノハ——先刻來申シマシタノハ、無政府ナリ、憲法破壊ノ政府ナリト云フ方カラ論シテ往クトキハ別段ノコト、其方カラ論シテ参リマスルトキニハ、實ニ政府ドコロデナイ、日本ガナイトマデ論ジマスルケレドモ、先ツ政府トナク、人民トナク、日本ヲ一箇ノモノトシテ、親ノ泣キ寄リトシテ、此國ヲ論ズルトキニハ、政府ニハ完全ナル御方ガ居ル現ニ人間デアル——人間デアルナラ、一人ノ御用商人等ニ、ヤレ請願ヲ妨ゲロノト指圖ヲ受ケテ、請願ヲ妨ゲタリ、ヤレ被害民ヲ取ツ提ヘテ牢へ打チ込メ、畏マリマシタ、斯様ナ穢ナイコトヲ御ヤリニナラナイヤウニ、是ダケハ御免ヲ蒙ルノデアル、愈々ソレヲヤルナラバダ、是ダケニ申上ゲテモ政府ガソレヲヤルナラバ、政府ハ人民ニ軍サヲ起セト云フコトノ權利ヲ——軍サヲ起ス權利ヲ與ヘルノデアル、是マデ御忠告申シ置クノデ、日本人ハ軍サヲ起スヤウナ氣力モアルマイガ、政府ニ向ツテハナイ、外國ニ向ツテハ立派ニアルカラ知レナイガ、日本政府ニ向ツテ、サウ云フコトヲスルヤウナ人民ハナイガ、政府ノ方カラ、軍サヲ政府ニ仕掛けテモ差支ノナイダケノ權利ヲ、人民ニ與ヘルト云フコトナレバ、此政府ハ馬鹿政府ト言ハナケレバナラス、如何ニ人民ガ政府ニ背カウトシテモ、其口實ナカラシムルノガ、政府ノ仕事デアルカラシテ、政府ガ自ラ人民ニ、竹鎗席旗ニ訴ヘヨ、軍サヲ起セヨト云フコトヲ、政府ガ其餘地ヲ與ヘタリスレバ、ソレハ分ラナイ、ソレハ馬鹿政府ト爲ツテ居ルノデアル、左様ナ馬鹿ナ者バカリモゴザリマスマイ、隨分一人宛引ク離シテ見レバ、ナカクエライ方バカリ、揃ツテ居ルノデアルカラシテ(笑聲起ル)サウシテ、モウ伊藤君モ隨分年ヲ取ラレテ、今度ガシマヒノ切りデゴザリマスルカラシテ、餘リ未練ラシクナク、御立派ニ爲スコトハ、御ヤリナスッタラ宜カラウト思フノデアル、ソレヲ用ヒル用ヒヌハ御權利デアリマスカラ、ソレハ御勝手次第、ヤルトモヤラストモ、御勝手次第デスガ私ハ良イコトヲ

○議長(片岡健吉君) 説明爲サシテ宜シ  
○恒松隆慶君(百三十六番) 唯今第一日程ニ載ツテ居リマスル所ノ、追第四號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノ、此案デゴザイマス代理デ、チヨット御報告ヲ致シマス、簡短デゴザイマスカラ、此席カラ發言致シマス

一 (追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ許スコトニ致シマス、家祿處分建議案ハ、委員ニ付託セラレテ既ニ十日位ニ相成ルサウデゴザイマスガ、未ダ委員長理事ノ選舉ガナイト云フコトニアリマス、特別委員ノ諸君ハドウカ、委員長理事ノ選舉アランコトヲ希望致シマス、議事日程第一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件、追第四號

○(追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナス

○(要スル件)

○(片岡健吉君) 説明爲サシテ宜シ

○(片岡健吉君) 唯今第一日程ニ載ツテ居リマスル所ノ、追第四號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノ、此案デゴザイマスガ、ソレハ第一ノ所デハ、製鐵所ニ於テ顧問技師トシテ傭入レタル所ノ、外國人ノ年期ガ切レマシタカラ、之ヲ傭繼グ或ハ代員ヲ傭入レルトカ云フ契約ヲ結ブ簡條デゴザイマス、此條項ハ委員會ニ於キマシテハ、原案ノ通異議ナイト云フコトニナシタノデゴザイマス、第一ニハ製鐵所ノ特別會計ニ係リマスル所ノ、鐵鑛ノ運賃、石炭ノ運搬費デゴザイマス、茲ニ至テハ少シ修正ヲ加ヘテ居リマス、其大體ヲ述ベマスレバ「製鐵所特別會計ニ於テ鑛石運搬費一週年六十萬圓マテ」ノ下ニ「ヲ限り明治三十五年度以降十箇年間」ヲ加ヘ、ソレカラ石炭運搬費ハ、是ヲ政府ハ十箇年トアツタノヲ五箇年ト致シタノデゴザイマス、是ハ鐵鑛ハ越後ノ赤谷及清國其他カラ輸入シテ、製鐵所ニ這入ルモノデゴザイマスカラ、之ヲ其餘り十箇年チャ長イカラト云フテ、五箇年ト云フコトニシテモ、船ヲ造ルトカラ色ニナコトガゴザイマスデ、是ハ十箇年位デ宜カラウガ、石炭運搬費ハ十箇年ト云フ分デハ、餘リ長過ギル、先ツ以テ五箇年ト致シテ宜カラウト云フ、字句ノ修正デゴザイマス、是ハ政府モ同意セラレタ譯合デゴザイマス、ドウカ満場諸君、御賛成アランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問モアリマセヌ、大體ニ附イテ御論ガアリマセネバ全部ヲ議題ニ供シマス

○下飯坂權三郎君(七十四番) 私ハ委員會ノ經過ヲ報告致シタ

〔未ダ早イ〕ト呼フ者アリ) ○議長(片岡健吉君) 委員長ノ報告通、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長報告通決シマス——七十四番

○下飯坂權三郎君(七十四番) 生絲検査所法中改正法律案ノ、委員會ノ經過

何デス (「日程が済ンデカラ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議事日程二永代借地權ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、

ヲ報告致シタク

委員長報告、石黒潤一郎君

## 二 永代借地權ニ關スル法律案(政府提 出)

### 第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

趣意ハ原案ニ別段ノ慣習トアリマスルモノヲ取除キトシテ、之ニ易ルニ法令

ニ別段ノ定アルト云フコトニ修正ヲ致シタノデアリマス、此修正ヲ致シマシ

○石黒潤一郎君(三百番) 諸君、永代借地權ニ關スル法律案ノ、委員會ノ經過及其結果ヲ御報道致シマス、本件ニ關スル委員ハ、昨二十一日ニ集會ヲ開キマシテ、委員長理事ノ互選ヲ致シマシテ、委員長ニ本員、理事ニ花井卓藏君が當選セラレマシテ、ソレヨリ引續イテ、直チニ審査ニ取掛リマシタク次第ゴザイマスル、所デ、此法案ハ極て簡単ナルモノデアルヤウデハゴザイマスル、其性質上ヨリ論究致シテ見マスルト、隨分重大ナル關係ヲ持テ居ル所ノ法律案ゴザイマスル、此案ノ要旨ハ、我邦ノ民法上ニハ、未だ曾テ認メナイ所ノ、一種ノ權利ヲ認メナケレバナラヌ、餘儀ナイ場合ニ立至ッテ

居ルノデゴザイマスル、即チ永代借地權ト云フモノヲ、法律ノ上ニ於テ認メシケレバナラヌ必要ニナツテ居ルノデアル、ソレハドウ云フ性質ノモノニアルカト申シマスレバ、我國外交上ノ始ニ方リマシテ、神戸、横濱、長崎等、

其他居留地ノ範圍内ニ於キマシテ、外國人若クハ外國法人ニ、永代土地ヲ貸與スルト云フ名義ヲ以テ、貸付ケテゴザイマスルガ、其借地料ヲ年々取立ツルト云フコトニナツテ居リマスル、デ是ハ國際上ノ歴史的關係カラシテ、自然ノ間ニ成立シテ居ルノデゴザイマスガ、此權利ノ性質ヲ分解致シテ見マスル云フト、殆ド借地權デハアリマスルケレドモ、所有權ト殆ド同一ナル性質ヲ有シテ居ルノデゴザイマスル、然レドモ此權利ハ既ニ國際上ノ關係ヨリ、自然ニ漸次成立シテ居リマスルノミナラズ、條約改正ノ當時ニ於キマシテモ、又此權利ノ繼續ヲ認メラレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ民法ノ規定ニ據リマスルト、地上權ト云フモノハゴザイマスルケレドモ、永代借地權ト云フモノハ認メナイノデアリマス、申スマデモナク、地上權ト永代借地權ノ區域ヲ申シマスレバ、地上權ニ於キマシテハ、民法第二百六十五條以下

○藤澤幾之輔君(二十七番) 議長(片岡健吉君) 今花井君ニ許シマシタカラ

私モ質問——政務委員ニ質問致シマス

○○藤澤幾之輔君(二十七番) 私ハ委員長ニチヨット質問シタク

○○花井卓藏君(百七十九番) 要スルニ此法案ト云フモノハ、日本ノ民法ノ上ニ、更ニ新ナルノ物權ト云フモノヲ見做シテ、サウシテ其物權ト云フモノハ、日本人民ニハ與ヘナシ、外國人ニノミ與ヘルト云フ趣意ニ理解スルノガ、

當然ダラウト思ヒマスガ、左様ニ心得マシテ宜シウゴザイマセウカ、如何デ

ゴザイマセウカ、條約上已ムヲ得ザルコト、ハ申シナガラ、何レノ國ノ法律ヲ見マシテモ、其國ガ其國家其國民ト云フ者ヲ捨テ、而シテ特ニ外國人ノタメニ或ル人ノ權利ト云フモノヲ設定スル、而モ物權ヲ設定トスルト云フヤウ

ナ實例ヲ私ハ承知致シマセヌ、條約上已ムヲ得ザルコト、ハ申シナガラ、此案ノ出ルニ至ルコトヲ悲ミマスルガ故ニ、若シ一ツデモ例ガアレバ承リタク、但シ支那朝鮮ノ例ハ承ルノデハアリマセヌ、國ラシキ例ヲ承ルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ委員會ニ於テモ、質問ヲ致サレタ方モアリマスルカ、此駿河

ノ規定ニ據リマシテ、無期限ニ設定スルコトガ認メテナノデアル、若シ無期限ニ設定サレマシタ時分ニハ、二十年以上五十年以下ノ範圍内ニ於テ、之ヲ定ムルコトガ出來ルト云フ、規定ニナツテ居ルノデゴザイマスルガ、斯ノ

如キ制限ハ、少モナクシテ、全ク永久借用スルノ意味ヲ以テ成立シテ居ル權利ガ、即チ借地權ト云フモノニナツテ居ルノデゴザイマス、デ此ノ如キ權利ヲ認メルト云フコトハ、誠ニ國際上ノ上カラ申シマシテモ、民法上ノ精神力申シマシテモ、甚ダ好マシカラス所ノ權利デアリマスルケレドモ、是ハ誠ニ

歷史上已ムヲ得ザル性質ノモノト認メテ、此法律ノ制定ニ向ヒマシテハ、委員會ニ於テ大體ノ同意ヲ表スルコト、爲リマシタ次第ゴザイマス、而シテ此ノ如キ性質ノ權利ハ、政府ガ外國人又ハ外國法人ノダメニ設定シタ場合ニ限ルコトアルカ、又スル權利ハ居留地ノ範圍外ニ於テハ、設定セラレテ居ナス、故ニ先ツ大體ニ於テ、之ヲ贊成スルノ已ムヲ得ザルコトヲ認メタ次第アリマス、而シテ小部分ニ一ノ修正ヲ加ヘマシテ、畢竟既往ニ存在スル所ノモノニ、或ル區域ノ間ニ成立シテ居ルモノヲ、認ムルニ過ギナインデゴザイマス、故ニ先ツ大體ニ於テ、之ヲ贊成スルノ已ムヲ得ザルコトヲ認メタ次第アルカ、又條約ニ別段ノ定メアル場合ト、又ハ別段ノ慣習アル場合トゴザイマシタ

ノヲ、花井卓藏君ノ發議ニ依リマシテ、多少ノ文字ノ修正ヲ加ヘマシタガ、其趣意ハ原案ニ別段ノ慣習トアリマスルモノヲ取除キトシテ、之ニ易ルニ法令

トハ、甚ダ宜シクナインデアル、況ヤ此法案ハ、外國人ニ關係スル所ノ法案

デゴザイマスルカラシテ、慣習ノ存否ト云フコトニ附イテ、屢々爭端ヲ開クノ嫌ガアル故ニ、慣習ト云フガ如キモノハ、法文ニ之ヲ加ヘズシテ置キマシテ、之ニ易ヘルニ法令ニ別段ノ定メアル場合ト、更ニ明確ナル場合ヲ指定スルコトニ、改正ヲ致シタ次第ゴザイマスル、其他ハ原案通可決致シマシテゴザイマスルカラシテ、之ハ實際上已ムヲ得ザルモノト信ジマスルカラ、唯今報告ヲ致シマシタ通、諸君ノ御贊成ヲ希望致シマス

○○花井卓藏君(百七十九番) 記者

○○花井卓藏君(百七十九番) 私モ質問——政務委員ニ質問致シマス

○○藤澤幾之輔君(二十七番) 私ハ委員長ニチヨット質問シタク

○○議長(片岡健吉君) 今花井君ニ許シマシタカラ

○○花井卓藏君(百七十九番) 要スルニ此法案ト云フモノハ、日本ノ民法ノ上ニ、更ニ新ナルノ物權ト云フモノヲ見做シテ、サウシテ其物權ト云フモノハ、日本人民ニハ與ヘナシ、外國人ニノミ與ヘルト云フ趣意ニ理解スルノガ、

當然ダラウト思ヒマスガ、左様ニ心得マシテ宜シウゴザイマセウカ、如何デ

ゴザイマセウカ、條約上已ムヲ得ザルコト、ハ申シナガラ、何レノ國ノ法律ヲ見マシテモ、其國ガ其國家其國民ト云フ者ヲ捨テ、而シテ特ニ外國人ノタメニ或ル人ノ權利ト云フモノヲ設定スル、而モ物權ヲ設定トスルト云フヤウ

ナ實例ヲ私ハ承知致シマセヌ、條約上已ムヲ得ザルコト、ハ申シナガラ、此案ノ出ルニ至ルコトヲ悲ミマスルガ故ニ、若シ一ツデモ例ガアレバ承リタク、但シ支那朝鮮ノ例ハ承ルノデハアリマセヌ、國ラシキ例ヲ承ルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ委員會ニ於テモ、質問ヲ致サレタ方モアリマスルカ、此駿河

ノ規定ニ據リマシテ、無期限ニ設定スルコトガ認メテナノデアル、若シ無

期限ニ設定サレマシタ時分ニハ、二十年以上五十年以下ノ範圍内ニ於テ、之ヲ定ムルコトガ出來ルト云フ、規定ニナツテ居ルノデゴザイマスルガ、斯ノ

如キ制限ハ、少モナクシテ、全ク永久借用スルノ意味ヲ以テ成立シテ居ル權利ガ、即チ借地權ト云フモノニナツテ居ルノデゴザイマス、デ此ノ如キ權利ヲ認メルト云フコトハ、誠ニ國際上ノ上カラ申シマシテモ、民法上ノ精神力申シマシテモ、甚ダ好マシカラス所ノ權利デアリマスルケレドモ、是ハ誠ニ

寺アルト見ルベキモノアルト云フ、説明ヲ承テ居リマス、即チ今日當席ニ於テ、政府委員ニ承リマシタ、併ナガラ此ノ如キ廣大無邊ナルモノヲ、公使館ニ離レテ、公使館ノ寺トシテ、サウシテ永代借地權ノ法律ノ支配セザル、即チ國際法上公使館ノ取扱ヲ以テ待タナケレバナラスト云フ風ニセラレタコトタル所ノ、經過沿革ト云フモノヲ委シク承リタインデ、ト中シマスルモノハ、御承知ノ如ク、公使館ノ一部アルト云フ事柄ニナリマスレバ、治外法權ノ地位アル、帝國ノ裁判權ハ駿河臺ニ在ルニコライノ教會堂ニ及ブコトハ出來ナイ、教會ノ外國人が犯罪ヲスル、日本人ガ犯罪ヲシテ逃げテニコライノ教會堂ノ門ニ入レバ、我帝國ノ司法權裁判權ハ、手モ足モ出ナイヤウナル、是ガ此法律デ支配ガ出來ルト云ヘバ格別デ、政府ノ言フガ如ク、公使館ノ附屬物アルト云フコトヲ承リマスレバ、私ハ聞捨ニナラナイ、何トカ工夫ヲシテ始末ヲ附ケテ貰ヒタイ、其ニコライノ教會堂ニ關スル特別ノ日露條約ナド、云フモノヲ私ハ見ナイ、條文ハ委シク見タケレドモ、左様ナモノハ發見シナイ、此ノ如キ關係ト云フモノハ、當席ニ於テ外務大臣モ出席ノコトデアリマスカラ、詳ニ承フテ置キタイ、私ハ併テ意見ヲ述ベマスガ、此ノ如キ……

○議長(片岡健吉君) 意見ヲ述ベルノハ御待チナサイ  
○花井卓藏君(百七十九番) 此ノ如キ質問ヲ提出スルニモ拘ラス、此案ニ賛成シナケレバナラスト云フ不幸ヲ悲シム、質問ダケハシテ事情ト云フモノヲ詳ニシテ置カナケレバナラスト思ヒマス、別ニ意見ヲ述ベマスガ、登壇ヲシテ述ベマス、後トテ……

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)

○政府委員(内田康哉君) 唯今花井君ノ第一ノ御質問ハ、永代借地權ハ外國人ノミニ限ルカト云フ、御問ノヤウニ存ジマシテゴザイマスルガ、ソレハ西洋人ノミニ限ルノデアリマス、ソレデ此永代借地權ヲ日本人ガ譲受ケマシタ場合ニハ、特ニ勅令ヲ以テ、其場合ヲ規定シテアリマス、ソレデ日本人ガ外国人ヨリ永代借地權ヲ享ケタトキニハ、所有權ヲ取得スルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ海外ニ永代借地權ヲ與ヘテ居ル、即チ斯ウ云フ權利ヲ與ヘテ居ル國ガアルカト云フ、御質問ノヤウニ存ジマスガ、是ハ多分ナイヤウト思フノデ、併シ其國ニ就イテ、委シク事實ニ就イテ調べマセヌト、或ハ私ガナイト思ツタ所ニアルカモ知レヌデ、支那朝鮮ノ如キニハ、之ニ類似シタモノガアルヤウニ存ジテ居リマス、ソレカラ第三ノ點ハ、駿河臺ニ在ルガ更ニニコライノ方ニ貸シテ居ルコト、思フ、從ツテ駿河臺ノ教會ガ、治外法權ヲ持ツテ居ルヤウニハ信シテ居ラヌデス、免モ角モアノ土地ハ、此法令デ今即チ永代借地權ヲ以テ、貸付ケタモノノデアリマセヌカラ、此法令ニハ無論關係ガナイト思ヒマス

○花井卓藏君(百七十九番) 唯今ノ御答辯ニ附テ尙ホ感ヲ生ジマスニコライ教會堂ハ我國ノ法律民法ニ於テハ、帝國政府ハ如何ナル權利ヲ有シテ居ルカ、永代借地權ニアラズ、然ラバ地上權ト云フ御趣意デアリマセウカ

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)  
○政府委員(内田康哉君) ソレハ外務省ノ方デハ、如何ニナツテ居ルカ分リマセヌガ、何レ取調べ御答ヘ致シマス

○花井卓藏君(百七十九番) 尚ホ質問ガゴザイマス、政府ハ曾テ勅令ヲ出シテ、明治三十一年勅令第三百一十九號竝ニ同年勅令第四百五十八號ヲ出セラテ、改正ニ屬シテアリマス、明ニ永代借地權ハ民法ニ所謂地上權デアルト云フコトヲ明言シテアル、勅令ヲ以テ定メテアル、地上權括弧永代借地權ト題セラレテアル、而シテ民法施行法ノ四十五條ニモ、永代借地權ヲ地上權ト見ラレタルガ故ニ、四十五條ノ法律ヲ設ケテ、此運用ヲ圓滑ナラシメルコトニナツテ居ル、然ルトキハ民法實施後、新條約實施後、彼等ノ永代借地權ナルモノハ、地上權ト見テ居ラレタノデアリマセウカ、今日以後之ヲ改メル御趣意ニナリマセウカ、若シ勅令ニ掲ゲラレテアル事柄ガ、民法ノ誤解デアル、起案者ガ間違ツタ政府ガ間違ツタ事柄ニナツテ、其非ヲ改メルガタメニ、此法律ガ出タルモト理解シテ宜シイカ、ドウデアリマセウ、ソレヲ承リタイ、又昨年ノ議會ニ於キマシテ、ドナタカ此件ニ關シテ、質問書ヲ提出シテ居リマス、即チ勅令ニアル永代借地權ヲ、地上權ト見ル事柄ハ、甚ダ不都合デハナイカト云フ質問書ガ出テ居ル、又勅令ニ於テ斯ノ如キ事柄ヲハ定ムル當否ヲ争ツテ居ル、然ルニ青木外務大臣、清浦司法大臣ノ達署ノ答辯ニ據レバ、勅令デ差支ナシ、永代借地權、即チ地上權ノ如ク、永小作權トハ違フコトニナツテ居ル、サスレバ此點ニ於テモ、昨年ノ答辯ハ間違ツテ居ル、趣意ト心得テ宜シウゴザイマスカ、其邊ヲ確メテ置キタイ

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)

○政府委員(内田康哉君) 御答致シマス、元ト民法施行法ノ第四十五條ニ、外國人ノタメニ設定シタル地上權トアリマスノハ、永代借地權ヲ指スモノト指定セラレタモノト、認メテ居タノデアリマス、ソレニ依リマシテ、永代借地權ノ登記ヤ、其他ヲ規定スルタメニ、勅令ヲ今花井君ノ指示セラレマシタ勅令ガ出マシタ、然ルニ元來此永代借地權ト云フモノハ、我民法ニ謂フ所ノ地上權トハ、ドウシテモ其性質が同ジヤウナモノデナイ、之ヲ外國人ノタメニ設定シタル地上權ト云フ、即チ地上權ノ名稱ヲ下スコトハ甚ダ穩當デナイ、外國人ハドウシテモ、斯ノ如キ地上權ト云フ名稱デ、マルデ其性質ヲ異ニシタ所ノ、永代地權ニ地上權ノ名稱ヲ附セラレタハ、甚ダ不安心デタマラナイト云フ苦情ハ、起ツタノデ、ゴザイマス、ソコデ政府ニ於キマシテハ、其苦情ニ附キマシテ段々攻究致シマシタ所ガ、結局民法ノ四十五條ニ云ツタ地上權ト云フ名稱ヲ附スルコトハ、ドウシテモ穩當デアルマイト云フ所カラ、今般單行法律ヲ出シマシテ、四十五條ノコトハ削除シテ、新ニ永代借地權、一種特別ノ權利ヲ認メルコトニナリマシタ

○花井卓藏君(百七十九番) 要領ハ更ニ得ラレマセヌガ、窮追ハ致シマセヌ、意見ヲ述ベマス

○藤澤幾之輔君(二十七番) 花井君ノ質問デ分リマシタガ、尙ホ一ツ伺ツテ置キタイ、第三條デアリマス、登録稅ヲ徵收シナイト云フニ附イテ、先ニ委員長ニ尋ねヤウト思ヒマシタガ、餘リ遠方ニ居ラレマスカラ、政府委員ニ尋ねテ置キタイ、最初ニ於テ登録稅ヲ徵收シナイト云フコトハ、事情已ムヲ

得ナイモノト、私モ思フケレドモ、此借地權ナルモノハ、之ヲ目的トスル權利ニ關スル事柄ニシテ、輶轉シタル場合ニ於テモ、尙ホ登録稅ヲ徵收シナイト云フコトハ、更ニ事情ノ上カラ考ヘテモ、他ノ一般ノ施行上カラ考ヘテモ、理由ノナイコトノヤウニ思ハレルガ、之ニ附イテハ如何ナル事情、若クハ理由ガアリマスカ、其點ニ府イテ詳細ナル御意見ヲ承リタイ

(政府委員法制局長官奥田義人君演壇ニ登ル)

○政府委員(奥田義人君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、此第二條ヲ茲ニ置キマシタ趣意ト云フモノハ、矢張條約上ノ結果カラ參シテ居リマス、御承知ノ通ニ改正條約ニ於キマシテ、例ヲ舉ゲテ見マスルト、英吉利ト日本トノ改正條約ノ第十八條ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、前ノ事柄ガアリマシテ、前記外國人居留地ヲ日本國市區ニ編入ノ場合ニハ、該居留地内ニテ現ニ因テ以テ財產ヲ所持スル所ノ現在永代借地券ハ有效ノモノト確認セラルベシ、而シテ右財產ニ對シテハ右借地券ニ載セタル條件ノ外ハ、別ニ何等ノ條件ヲモ付セサルベシ、斯ウ云フコトガ條約ニ依ラテ約束セラレテアリマス、サウスルト從來存在致シテ居リマシタ所ノ永代借地券ニ對シテ、此借地券ニ書イテアリマスル事柄ノ外ハ、如何ナル條件ヲモ附ケラレナインデアリマス、ソレデ登録稅ヲモ之ニ對シテ課スルコトハ、出來得ナイト云フ結果ガ參タノデアリマス

○藤澤幾之輔君(二十七番) 外國人同士デ、此權利ヲ輶轉致シマシテ、其登錄ヲ同シ外國人ニ對シテ效力ヲ有シヤウトスレバ、登錄ヲ有スルハ勿論トシテ、登錄ハ外國人ニ必要ナコトデアル、然ラバ輶轉致シマシタ場合ニ、登錄ヲ受ケルトキニ於テ其手數料ヲ拂フト云フコトハ、相當ノコトデ、斯ノ如キコトハ新ニ權利ノ上ニ條件ヲ附スルト云フ性質ノモノトハ、大ニ相違スルヤウニ思フ、私ナドハ相違スルト考ヘル、然ルニ之ヲ條件ヲ見テ登録稅ヲ課サヌト云フコトハ、ドウモ理窟ニ合ハヌヤウニ思ヒマスガ、如何ナルモノニアリマス

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)

○政府委員(内田康哉君) 是ハ御見解デ左様デ、アルカモ知レマセヌガ、此條約上解釋ニ於テ何等ノ條件ヲモ附セザルベシト云フコトハ、登錄稅モ課スルコトガ出來ナイト信シテ是マテモ其通ニナシテ居リマス

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)

○恵松隆慶君(百三十六番) 此案ニハ色々質問モゴザイマシタガ、ドウカ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○花井卓藏君(百七十九番) 私ハ意見ガアリマス

○議長(片岡健吉君) 全部ニ對シテマスカ

○花井卓藏君(百七十九番) サウデス、全部ニ對スル意見デアリマスガ、登壇スル程ノコトハアリマセヌ、私ハ斯ノ如キ質問ヲ呈シテ、而シテ之ヲ贊成スル、其贊成ヲスル理由ヲ述べタイ、質問ニ依ツテモ明瞭デゴザイマスガ如ク、何レノ國ニ於キマシテモ、外國人ノタメニ一ツノ權利ヲ與ヘルト云フガ如キ事柄ヲ、敢テスル實例ト云フモノハ、全ク絶無ナノデアル、之ヲ敢テセネバナラヌ――敢テセネバナラナイト云フノハ、何ニ原因スルノデアルカト云ヘバ、全ク此新シキ條約ガ古キ條約ヲ、其儘此點ニ於キマシテ迎ヘタト云フコトニ歸著スル、ソレカラ又法律ト申シマスモノハ、外國人ノタメニ設ケルト云フヨリハ、寧ロ其法律ト云フモノヲ指ヘマシテ、國家ニ如何ニ害ガアルカ、

如何ニ利ガアルカ、國民ニ如何ニ得喪ヲ及スカト云フコトヲ考ヘネバナラヌ、然ルニ此法律ハ、矢張條約ノ結果トハ申シナガラ、國家鄰人ト云フモノ、利害休戚ト云フモノヲ、全ク外ニシテ作ラネバナラヌト云フ狀態ニ立至ッタノデゴザリマス、斯ノ如キ不幸ガ含マレテ居ル法律ナノデアル、併ナガラ今日ノ場合ニ於キマシテハ、已ムヲ得ナイ、已ムヲ得ナイト云フ事柄ヲ、私ハ贊成ノ理由ニシテ、而シテ最後ニ要領ヲ得ザリシニコライ教會堂ノ一件、是ハ土地ノ貸借關係トハ申シナガラ、公法上デ言ツテ宜シイノデゴザイマセウカ、或ハ民法上ノ關係トシテ言ウテ宜シイノデゴザイマセウカ、免ニ角日露ノ關係デアル、斯ノ如キ(ソレハ反對ダ)ト呼フ者アリ)黙ッテ御聽キナサイ、斯ノ如キ次第ナルニモ拘ラズ(簡短々々)ト呼フ者アリ)斯ノ如キ沿革經過ト云フモノが不明瞭ナルニ拘ラズ、之ヲ認メネバナラヌト云フ事柄ノ不幸ガアル、翻シテ諸般ノ外交問題、諸般ノ政治問題ニ於テ、日露ノ關係、ソレヲ一ツ御討究ヲ願シテ置キタイト云フコトヲ政府ニ望ムノデアリマス、而シテ本案ヲ贊成スル(分ラヌ)ト呼フ者アリ)分ラヌデゴザイマセウ、私ニハ能ク分ルノデゴザイマスガ、分ル分ラヌハ畢竟智識ノ問題デアルカラ、窮追ハシナイ

(政府委員外務總務長官内田康哉君演壇ニ登ル)

○政府委員(内田康哉君) 一昨日野間五造君ヨリ、此法律ト臺灣トノ關係ハ、如何デアルカト云フコトヲ外務大臣ニ御質問ニナリマシテゴザイマスカラ、之ニ關係ガアリマスカラ、チヨット申上ゲテ置キタウゴザイマス、ソレハ無論臺灣ノ方ハ、此法律ニハ何等ノ關係ヲ有セシメナイ考デゴザイマス、臺灣ニハ御承知ノ通ニ、民法ノ物權ノ規定ニ關スルコトハ、舊慣ニ依ルト云フコトデアリマシテ、物權ハ行レテ居ナノデアリマス、ソレデ實際土地ノ貸貸借ハ二十年、其外ノモノハ、百年ノ期間ヲ附スルト云フコトニ、ナシテ居ルヤウニ存シテ居リマス、一應是ダケヲ御答シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス、本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス

○花井卓藏君(百七十九番) 修正ガアリマス

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ、御異議アリマセヌカ(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○恵松隆慶君(百三十六番) 第二讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ、直チニ確定アランコトヲ希望致シマス

○花井卓藏君(百七十九番) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、永代借地權ナルモノハ、此法案以外ニ一ツアルデアラウト思フ、ソレハ日本ノ國民ガ外國國民ノタメニ制定シ

タル永代借地權アル、是ハ矢張勅令ニ書イテアル所ノ意味ニ致シマシテモ、民法上地上權ト見ルコトハ出來ナイデアラウト、私ハ確信シテ居ルノゴザイマスカラ、若シ左様ナモノガアルト致シマスルト云フト、民法施行法ノ四十五條ト云フモノハ活キテ居ラネバナラヌ、活キテ居ラネバ效用ヲ爲サヌト思ヒマス、ソレカラ第七條ヲ削除致シマス理由ハ、是ハ無用ノ注文デアルト云フ意見デゴザイマス、ソレハ昨日政府委員ニ御尋フ申シマシタ所ガ、條約實施以後今日マデ、條約實施以後此法案ノ出ルマテノ間ニ於テ、永代借地權ヲ地上權トシテ、登記セラレタ實例ハナイト云フ答辯ニナシテ居リマス、ソレガゴザリマセヌ以上ハ、斯様ナ疵ヲ其儘置ク必要ガナイカラ、ナイノナラバナイデ宜シイカラ、マルデ削ッテシマタ方ガ上品デ宜シイ、立法ノ上ニ大變ニ品ガ宜イト云フ主意デアリマス、勿論御贊成ガアルカナイカ存シマセヌガ、私ハ私ノ意見ダケヲ明言シテ、速記錄ニ留メテ置キタイ

○平岡萬次郎君(百九十三番) 議長

○議長(片岡健吉君) 平岡萬次郎君、何デスカ

○平岡萬次郎君(百九十三番) 本員モ修正意見ヲ提出致シマス、本員ハ此第三條ヲ削除スル意見ヲ提出致シマス、此中ニ「登録稅ヲ課セヌ」ト云フコトガアリマスガ、皆此案ニ附イテ贊成ヲスル人ハ、皆登録稅ノ稅ト云フ文字ニ、胡麻化サレテ居ルノダラウト考ヘマス、登録稅ト云フコトハ、通常人ノ稱ヘルコトデゴザイマスルガ、アレハ稅ノ性質ヲ備ヘタモノデナクシテ、手數料ト云フモノノデアル、手數料ト云フモノハ總テ取ルコトハ一向差支ナイ、條約ニ少モ關シナイノデアル、然ルニ此案ヲ起草シタ人、之ニ贊成ヲスル人ハ、稅ト云フ文字ニ胡麻化サレテ、登録スルトキニ納メルモノハ、登録手數料ニアリマス、ソレモノヲ、看破スルコトセズシテカラニ、彼ノ登録稅ト云フ文字ニ迷ウテ、之ヲ稅ノ性質トスルカラシテ、矢張之ヲ誤セズト云フヤウナ結論ガ、出テ來ナルト云フダケノ解釋ヲスルダケノ力ガナイノデアルカ、私ハ此三箇條ヲ全部削除スル修正意見ヲ提出致シマス

(政府委員法制局長官奥田義人君演壇ニ登ル)

○政府委員(奥田義人君) 唯今本案ヲ第一讀會ニ移サレマシタニ附キマシテハ、第一ニ花井君ヨリ致シマシテ、第六條ト第七條ヲ削除スルト云フノ修正案ガ御提出ニナリマシタ、此第六條ニ附キマシテハ昨日モ委員會ニ於テ、是御意見モ花井君ヨリ御提出ニナリマシタ、其時ニ政府委員ヨリ致シマシテ、是ハ必シモ第六條ハ、ナクシテハナラヌト云フコトハナイカラ、削除シテモ差支ハナイト云フコトハ述ベテ置イタ積デアリマス、若シ民法施行法ノ第四十五條ト、此法案ガ抵觸シマスレバ、其抵觸シタ部分ダケハ、適用サレナイト云フコトニ、ナリマスノデアリマスルカラ、第六條ハ必ず此處ニ置カナイカラト云、テ差支ナイト存ジマス、ソレ故ニ第六條ヲ削除スルト云フコトニ附キマシテハ、政府ハ同意ヲ表シテモ宜カラウト考ヘル、唯四十七條ニ至リマシテハ、是ハ此儘御置キニナランコトヲ希望致シマス、其故ハ永代借地權、又ハ之ヲ目的トスル所ノ權ノ中ニハ、本法施行前ニ於テ登記ヲセラレテ居ルモノガアル

○望月長夫君(百五十四番) 今ノ政府委員ニチヨット質問シタイ、本法ハ要スルニ政府が設定シタ、永代借地權、バカリヲ律スルノデ、辭ヲ換ヘテ之ヲ言ヘバ、政府ガ虛有權ト同然デアル、——政府ガ虛有權ノミヲ持テ居ル場合ノミヲ律スルヤウニナシテ居リマスガ、個人ガ——一箇人ガ外國人ノタメニ永代借地權ヲ設ケタ場合ガ、實際ニ存在シマスルカ、辭ヲ換ヘテ之ヲ言ヘバ、日本ノ一個人ガ——今ノ辭ヲ籍リテ云ヘバ、日本ノ一個人ガ虛有權ヲ持テ居リマス、外國人ニ永代借地權ヲ設定シテ居ル場合ガゴザイマセウカ、其事ヲ……

○政府委員(奥田義人君) ソレハ少シアルサウデゴザイマス、ホンノ僅カアルサウデゴザイマス、ソレハ此法律ヲ取調ベマスル場合ニ於テハ、總テ此民法ノ規定ヲ適用スルト云フ積リデアリマシタ、畢竟條約等ノ中ニ、ソレ等ノモノマデモ保護スルト云フコトガ、書イテナイモノデアリマスカラ、一般ノ條約ニハ、全ク政府ガ永代借地權ト云フモノヲ以テ、設定シク永代借地權ノコトバカリガ、條約ニ主トシテ書イテアリマスカラ、ソレダケノコトヲ、此法律ニ依シテ明ニスル精神デアリマス、ソレデ若シ此一個人同士ノ間ニ、此永代借地權ト云フモノヲ設定シテ居ル場合ニ於テハ、總テ之ヲ先づ民法ノ規定ヲ適用セシメテ差支アルマイ、斯ウ云フ見解デアリマスケレドモ、ドウシテモソレガ差支ベルト云フコトデアリマスレバ、又他日更ニワレガタメニ、法律ヲ出サナケレバナラヌヤウナコトガ、アルカモ知レマセヌケレドモ、今日ノ所デハ當局者ニ於テハ、差支ハアルマイ、若シ一十年以上ノ賃貸借權デモ、設定致シテ居ル時分ニハ、ソレハ地上權トシテ引直サシテシマフト云フ、精神デアリマス

○望月長夫君(百五十四番) ソレデハ今個人ト個人トノ間ノ場合ニ附イテハ、政府ニ於テハ民法ノ規定ヲ適用スルコトガ出來ルト云フ、唯今ノ御考デ

- アリマスカ  
○政府委員(奥田義人君) 当時ノ見込デハ其見込デ居リマス  
○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、第一條第二條ニ附イテ採決致シマス、委員長ノ報告通、御異議ゴザイマセヌカ  
○議長(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)  
ニハ削除説が平岡萬次郎君ヨリ出テ居リマスカラ、原案ニ附イテ採決致シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス——第四條第五條  
ニ附イテ採決致シマス、是ハ修正モ別ニゴザイマセヌカラ、原案ノ通御異議  
ハアリマセヌカ  
○議長(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)  
テ採決致シマス、是ハ削除説ガアリマスカラ、原案ニ附イテ採決致シマス、第六條、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス  
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス——第六條ニ附イテ採決致シマス、是モ削除説ガ出テ居リマスカラ、原案ニ附イテ採決致シマス、第七條、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス  
○議長(花井卓藏君) 少數ト呼フ  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、次ハ第七條ニ附イテ採決致シマス、第六條、原案ニ附イテ採決致シマス、第七條、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス  
○議長(片岡健吉君) 濟ミマシタ  
○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フ動議が出マシタガ、御異議確定ナランコトヲ希望致シマス  
○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フ動議が出マシタガ、御異議  
ハアリマセヌカ  
○議長(「贊成々々」ノ聲起ル)  
○議長(片岡健吉君) 二讀會修正通デ御異議アリマセヌカ  
○議長(片岡健吉君) 恒松君、何デスカ  
○議長(片岡健吉君) チヨット私ハ此場合デ、緊急動議ヲ提出致シマス  
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通確定致シマス  
○議長(片岡健吉君) ドウ云フ日程ノ變更デスカ  
○議長(片岡健吉君) 恒松君、何デスカ  
○恒松隆慶君(百三十六番) フヤト私ハ此場合デ、緊急動議ヲ提出致シマス  
○議長(片岡健吉君) フヤト御許シテ願ヒマス、日程ノ變更デゴザイマス  
○議長(片岡健吉君) 恒松君、何デスカ  
○議長(片岡健吉君) 恒松君、何デスカ  
○議長(片岡健吉君) ドウ云フ日程ノ變更デスカ  
○恒松隆慶君(百三十六番) 漁業法案が貴族院カラコチニ回付ニナリマシ

## 第三讀會

- タカラ、之ヲ議題トシテ議シタイ、ソレカラ續イテ畜牛結核病豫防法案ト云モノガ出テ居リマス、ソレカラ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案此三案ヲ日程ヲ變更シテ、此場合ニ決シタイノデアリマスガ、此漁業法ヲ除クノ二法案ハ、唯委員ダケヲ此場合選ムノデアリマスカラ、ドウソ諸君ニモ、日程ヲ變更サレンコトヲ望ミマス  
○議長(片岡健吉君) 恒松君ニ御尋シマスガ、漁業法案ト畜牛結核病豫防法案ト、サウシテ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、斯ウ云フ順序ニナリマスカ  
○議長(片岡健吉君) 日程ノ變更ニ御異議アリマセヌカ  
○議長(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)  
○議長(片岡健吉君) 漁業法案(政府提出貴族院回付)確定議  
○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ御意見ヲ述ベマスガ、是ハ多年本院ノ宿題ニ爲シテ居ツタ案デゴザイマスガ、本期ノ議會ニ於キマシテ、衆議院ニ於テハ政府案ヲ大ニ修正ヲ致シテ、貴族院ニ回シタノデアリマス、然ルニ貴族院ニ於キマシテハ、本院ノ修正ノ大體ヲ贊成シテ、茲ニ字句ノ修正ガシテ、回付ニナシタノデゴザイマス、第七條「抵當」ト云フ文字ヲ削除シ、第二十三條第二十四條第二十五條——ソレハ今度改マリマシタ、ソレハ二十五條ハ今度別ニ改マリマシタガ、ソコニ「違法」ト云フ文字ガ這入ッタノデアリマスカラ、ソレカラ二十五條、二十六條ガ削除ト云フコトデ、是ハ行政裁判ヲ司法裁判ニ移スト云フコト、此修正ハ如何ニモ萬々已ムヲ得ナイコトト思ヒマスカラ、貴族院ノ修正ニ同意ニテ、此案ヲ確定セラレンコトヲ希望致シマス  
○議長(花井卓藏君) (「贊成々々」ノ聲起ル者アリ)  
○花井卓藏君(百七十九番) 恒松君ノ御意見ガ出マシタガ、私ハ恒松君等ノ御宿志ヲ貫徹スルタメニ、一言致シテ置タイ、本案ノ貴族院ノ修正ハ、字句修正デハナイ吾々ガ大ニ争ツタ漁業權ヲ抵當ノ目的トセナイト云フコトニ直シテ、諸君ノ御意向ニ反シテ、貴族院ハ修正シタ、是ハ字句ノ修正デハナイ、ソレデアリマスカラ、私ハ貴族院ノ案ヲ迎ヘルノデアリマスガ、大多數ヲ以テ決定セラレタル、衆議院ノ院議ヲ重ズルト云フ趣意ニ依シテ、私ノ意見通ナシタノデゴザイマスケレドモ、私ハ涙ヲ呑ンテ、貴族院ノ修正ニ反対シマス  
○門馬尙經君(百八十四番) 恒松君ノ發言通、諸君ガ同意ナサルコトヲ希望致シマス  
○議長(花井卓藏君) 起立者多數  
○議長(片岡健吉君) 多數——貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ決シマス  
○議長(片岡健吉君) (「贊成々々」ノ聲起ル)  
○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ御說ガ出マシタガ、貴族院修正通ニ同意  
○議長(片岡健吉君) 起立者多數  
○議長(片岡健吉君) 多數——貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ決シマス  
○議長(片岡健吉君) (「贊成々々」ノ聲起ル)  
○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ御說ガ出マシタガ、貴族院修正通ニ同意  
○議長(片岡健吉君) 起立者多數  
畜牛結核病豫防法案(政府提出貴族院送付)

畜牛結核病豫防法  
第一條 乳用牛、外國種牛、雜種牛ハ結核病ノ有無又ハ輕重ヲ定ムル爲行政官廳ニ於テ之ヲ検査ス。結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ニ付テモ亦同シ。

第二條 乳用牛、種牡牛及結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ノ検査ハ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ行フ。

第三條 検査ノ期日及場所ハ行政官廳之ヲ指定ス。  
第一條掲ケタル畜牛ノ所有者又ハ管理者ハ前項ノ指定ニ從ヒ其ノ検査ヲ受クヘシ。

第四條 結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ヲ發見シタルトキハ所有者、管理者又ハ獸醫ニ於テ直ニ之ヲ届出ツヘシ。

第五條 結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ之ヲ隔離スヘシ。

第六條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ撲殺スヘシ。

第七條 輕症結核病ニ罹リタル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ鎖錠スヘシ。

第八條 外國ヨリ輸入スル畜牛ハ輸入申告後特ニ定メタル場所ニ於テ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ検査ス。

第九條 前項ノ検査ニ關シテハ稅關長及検査員ノ指揮ニ從フヘシ。

第十條 第一項ノ畜牛ニシテ結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アルトキハ稅關長又ハ検査員ニ於テ其ノ輸入ノ禁止、繫留其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得。

第十一條 前條ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル者畜牛ヲ撲殺セムトスルトキハ稅關長及検査員ノ指揮ニ從フヘシ。

第十二條 結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分、畜牛ヲ置キタル場所竝病毒ニ汚染シ及其ノ疑アル物品ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ消毒スヘシ。

第十三條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分ハ皮角蹄ヲ除クノ外検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ燒棄又ハ埋却スヘシ但シ認可ヲ得タル裝置ヲ以テ化製スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。

第十四條 輕症結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁竝屍體及其ノ部分ノ處分方法ハ主務大臣之ヲ定ム。

第十五條 結核病ニ罹リタル畜牛ヲ置キタル場所竝病毒ニ汚染シ及其ノ疑アル物品ハ検査員ニ於テ其ノ燒棄又ハ埋却ヲ得。

第十六條 結核病ニ罹リタル畜牛ニ付テ之ヲ負擔ス。

第十七條 検査ヲ受ケス、之ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者、検査ヲ受ケスシテ畜牛ヲ輸入シタル者、第五條若ハ第六條ニ違背シタル者又ハ第七條第

三項ノ命令ニ從ハサル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス。

第十八條 第四條、第九條、第十條第一項若ハ第十二條ニ違背シタル者又ハ第七條第二項、第八條若ハ第十一條ノ命令ニ從ハサル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス。

第十九條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ處罰ニ關シテ之ヲ準用ス。

#### 附 則

本法ハ明治三十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ外國ヨリ輸入スル畜牛ニ關シテハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス。

#### 司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案(政府提出、第一讀會)

司法官試補ノ實地修習期間ハ今後三箇年間ハ一年六箇月マテニ減縮スルコトヲ得。

○恒松隆慶君(百二十六番) 後トノ二法案ハ、各々九名ノ委員ヲ議長カラ指名セラレントヲ望ミマス、尤モ其中司法官試補修習期限ニ關スル法律案ノ

分ノ委員ハ、先キニ委員が出來テ居ルモノアリマスカラ、其委員ヲ舉ゲテ

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、議事日程ノ第二瀆職法案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告、後藤文一郎君

評價ヲ不當ト認メタルトキハ更ニ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲ナシム。

第十四條 左ノ場合ニ於テハ畜牛ノ手當金ヲ下付セス。  
一、検査ヲ受ケス、之ヲ拒ミ又ハ妨ケタルトキ。

二、第四條、第五條又ハ第六條ニ違背シタルトキ。  
左ノ場合ニ於テハ物品ノ手當金ヲ下付セス。

一、前項各號ノ一ニ該當スルトキ。

二、第九條、第十條第一項又ハ同條第二項ニ基ツキテ發シタル命令ニ違背シタルトキ。

三、第七條第二項、第三項又ハ第八條若ハ第十一條ノ命令ニ從ハサルトキ。

第十五條 手當金ヲ受クヘキ者其ノ全部又ハ一部ヲ拒否スル處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得。

前項ノ處分ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得。

第十六條 畜牛結核病豫防ニ關スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國庫、府縣及一個人ニ於テ之ヲ負擔ス。

第十七條 検査ヲ受ケス、之ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者、検査ヲ受ケスシテ畜牛ヲ輸入シタル者、第五條若ハ第六條ニ違背シタル者又ハ第七條第

三項ノ命令ニ從ハサル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス。

第十八條 第四條、第九條、第十條第一項若ハ第十二條ニ違背シタル者又ハ第七條第二項、第八條若ハ第十一條ノ命令ニ從ハサル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス。

第十九條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ處罰ニ關シテ之ヲ準用ス。

#### 司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案(政府提出、第一讀會)

司法官試補ノ實地修習期間ハ今後三箇年間ハ一年六箇月マテニ減縮スルコトを得。

○恒松隆慶君(百二十六番) 後トノ二法案ハ、各々九名ノ委員ヲ議長カラ指名セラレントヲ望ミマス、尤モ其中司法官試補修習期限ニ關スル法律案ノ

分ノ委員ハ、先キニ委員が出來テ居ルモノアリマスカラ、其委員ヲ舉ゲテ

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、議事日程ノ第二瀆職法案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告、後藤文一郎君

牛ニ在リテハ五十圓、六箇月未満ノ幼牛ニ在リテハ十五圓ヲ超ユルコトヲ得ス。物品ノ手當金ハ總テ十圓ヲ超ユルコトヲ得ス。

畜牛及物品ノ評價ハ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲サシム但シ其ノ

## 三 濱職法案(後藤文一郎君外九名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(後藤文一郎君演壇ニ登ル)

○(後藤文一郎君(二百七十四番)) 唯今ヨリ濱職法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、常委員會ハ本月ノ十九日ニ開キマシテ、委員長ニハ本員、又理事ニハ竹内正志君ガ當選ニナリマシタ、ソレヨリ引續キマシテ會議ヲ開キマシテ、政府委員モ出席ニナリマシテ、而シテ質問及審査ノ末ニ於キマシテ、大體ヲ可ト致シマシテ、逐條審議ノ上ニ於キマシテ、第一條ノ第一項ガ削除ニナリマシタ、第二項ト申シマスルノハ賄賂ニ附イテ、賄賂ヲ贈ル者ヲモ罰スル法條ガゴザイマス、而シテ今日ノ場合ニ於キマシテ、此原案ノ趣旨ト云フモノハ賄賂罪ニ於テハ賄賂ヲ贈ル者ガ原因デアル、又ソニハ此賄賂ヲ贈ル者ヲ罰セザレバ、賄賂ノ途ヲ杜絶スルコトガ出來ナリ、故ニ此贈賂者ヲモ罰スベシト云フ、是ガ原案者ノ趣旨デ、他ノ第二項ヲ削リマスト云フ方ノ側ニ於キマシテハ、全ク此賄賂ニ附イテ、賄賂罰ニ附イテ之ヲ檢舉スル場合ニテ、此賄賂ヲ贈ル者ヲ罰スルニ於テハ、罪犯ヲ舉ルニ困難デアル、即チ是ガ理窟デゴザイマス、雙方斯ノ如ク議論ハ相兩立致シテ居リマスルガ、現行ノ法律ニ於キマシテハ、賄賂罪ハ賄賂ヲ受ケタ方ノ者ヲ罰シツ、アツテ、此賄賂ヲ贈ル方ヲ罰スル規定ガナリ、現行法ノ規定ヨリ致シマシテ、先づ此第二項ヲ權衡ノ上ヨリ——釣合ノ上ヨリ此第二項ヲ削ルト云フコトニ、委員會ノ決議ニナシタ譯デゴザイマス、其他ハ總テ原案ノ通デゴザイマシテ、而シテ本案ニ對シマシテハ、政府ハ之ニ同意ヲセラレマシテゴザイマス、此次第ヲ諸君ニ御報告ヲ致シマシテ、速ニ本案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス○鰐島相政君(二百九十五番) 本員ノ質問ハ、少シ前提ヲ置カケレバ、質問ノ要領ヲ相手方ニ了解セシムルコトガ、出來ナイノデアリマスカラ(訟廷ハ達ヒマストト呼フ者アリ) 御斷ヲ申シテ置キマス、此濱職法案ノ精神ハ、官吏ニハ現行ニ於テ、上ハ總理大臣ヨリ下ハ村役場員ニ至ルマデ、賄賂ヲ取ッタ場合ニハ之ヲ罰スル、然ルニ兩院議員以下ノ、官吏以外ノ公務ニ從事シテ居ル者ガ、賄賂ヲ取ッテモ、今デハ制裁ガナノデアルカラシテ、其制裁ヲ立テナケレバナラヌト云フノガ、目的ニナシテ居ルヤウニ考ヘマス、デ總理大臣以下ノ者ハ賄賂ヲ取り、或ハ賄賂ヲ取ッタメニ惡ルイコトヲシタキニハ、ドシシテ司法裁判所ニ引出シテ裁判ヲスル、議員ナドト云フモノハ、官吏トハ違フカラシテ、司法裁判所ナドニ出スノハ穩當デナリ、自分ヲ自分ガ束縛スルガ如キ、法律ヲ議スレノハ穩當デナインドト云フヤウナコトヲ、言ダテ居リマシタトキニハ、斯ノ如キ法案ガ此衆議院ヲ通過スルコトハ、何百年ノ後ニ至リテモ出來ナイダラウト思ヒマスカラ、此濱職法案ニ於テハ満場一致ヲ以テ、通過スルコト、考ヘルノデアル、本員ハ是ガ通過シナイト云フ考ガアレバ、質問ノ要ハナイガ、満場一致ヲ以テ通過スルモノトスレバ、法律ト爲リマスカラ、質問ノ必要ガアルノデアル、是カラガ質問デ、今ノハ前提デアル(笑聲起ル) 委員長カラ申述ベラレマシタ通ニ、此法律案ハ官吏ニ關シマス、現行刑法ノ刑期ト罰金ハ同様ニナシテ居リマシテ、委員會ノ速記デハナイ筆記ヲ見マシテモ、政府委員モ權衡ハ是デト云フ宜イト云フコトヲ言テ居ルヤウデアリマス、然ルニ現行刑法ノ二百四條ノ本條ノ刑期ト金額ハ、今ノ法案ノ第一條ト同ジデアリマスガ、現行刑法ノ一百八十四條ニ二項アル、單

ニ賄賂ヲ取り或ハ賄賂ヲ取ルコトヲ承諾シタ場合ニハ「一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト云フコトニナシテ居ルノデアル、單ニ賄賂ヲ取ッタガタメニ不正ノコトヲナシタトキハ、一等ヲ加ヘルコトニスル法條ガゴザイマス、而シテ今日ノ場合ニ於キマシテ、此原案ノ趣旨ト云フモノハ賄賂罪ニ於テハ賄賂ヲ贈ル者ガ原因デアル、又ソニハ此賄賂ヲ贈ル者ヲ罰セザレバ、賄賂ノ途ヲ杜絶スルコト爲シ、爲スペキコトヲ爲サマルトキハ、改正刑法デハ重ク居ルノデアル、單ニ賄賂ヲ取ッタバカリデハ、賄賂罪ノミテハ三年以下ノ懲役ニ處スル、此二項デ、因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サミル者ハ、十年以下ノ懲役ニ處スルトアル、單ニ賄賂ヲ取ッタキト、賄賂ノタメニ爲スベカラザルコトヲ爲シ、爲スペキコトヲ爲サマルトキハ、改正刑法デハ重ク見テ三年以下トシテアル、現行刑法デハ一等ヲ加ヘルトシテアル、然ルニ委員長ノ報告ニナリマシタ、此濱職法案ニハ、二項ト云フコトガナインデアリマスガ、是ハドウ云フ理由カラ、本條ハ二項ヲ用ヒナカツタノデアルカ、現行刑法ニ照シテモ、此刑法ノ改正案ニ照シテモ、權衡ヲ取レヌノデアル、其點ヲ説明ヲ聞キタイ

○(後藤文一郎君(二百七十四番)) 唯今鰐島議員ヨリ御尋ニナリマシタノハ、委員會ニ於テハ、其點ニ於テハ別段ノ詮議ハゴザイマセヌ、別段ニ其點ニ附イテノ詮議ハナカツタノデアリマス、唯今ノ御質問ハ満場一致デ可決シタトイテ御歎迎ニナルノハ、鰐島君ノ如キ御意見デアリマス、本員ハ其言ヲ多トシテ、此壇ヲ降リマス

○議長(片岡健吉君) 丸山嵯峨一郎君

(丸山嵯峨一郎君演壇ニ登ル)

○(丸山嵯峨一郎君(五十五番)) 此濱職法案ニ關シマシテハ、私ハ反対ノ意見ヲ述ベル積デアリマスルガ、全體近來法律ヲ制定スルニ附イテ、大分輕卒ノ舉ガアルト感ズルノデス、唯紙ニ文字サヘ附ケレバ法律ハ效力アルモノ、ヤウニ思ハル、ノハ、立法ト云フコトガ不安心ナヤウニ思ハレルノデアリマスガ、云フコトカラ、大體ニ於テ御歎迎ニナルノハ、鰐島君ノ如キ御意見デアリマス、本員ハ其言ヲ多トシテ、此壇ヲ降リマス

即チ憲政黨ニアッタ、黨派ノ議員ヲ侮辱シヤウトシテ現レタノガ事實デアル、ソレ故ニ其證據ニハ深ク理害得失ヲ研究セズ、法文モ完全カ不完全カヲ研究セズ、輕ミシク提出シタト云フコトハ事實デアル、如何ナル人ガ見テモ、其當時不完全デ何シノ用モ爲サヌト云フコトハ、苟モ法律ヲ知ルモノハ、輒ク云フコトガ出來タノデアル、然ルニ其不完全ナルヲモ顧ミズ、早急ノ間ニ於テ此議會ニ通過セシメント云フコトヲ務メタガ、幸ニモ此案ガ消滅シテシマタノデアル、然ルニ奇怪ナルカナ、今期ノ議會ニ於テ又同様ナ著物ヲ著テ現レタ、實ニ我帝國議會ヲ侮辱スル極ト言ハナケレバナラヌ、私ハ此案ニハ全然反對ニアリマスガ、主トシテ地方議會ノコトニ附イテハ、聊提出者ニ同情ヲ表シテ居リマスガ、茲ニ申シテ置クノハ、帝國議會ノ議員ニ對シテ茲ニ辯論ヲ致スノデアリマス、此案ニ反對スル所ノ私ノ理由ハ、即チ昨年我多數ノ同志者ガ、議院ニ於テ堂々ト明白ナル理由ヲ附シテ、反對シタト同一ノ理由デ、而モ昨年瀆職法案が消滅スルニ至リタ、明白ナル理由ヲ以テ反對スルノデアル、即チ趣意ヲ摘ンデ申シマスレバ、帝國議會ニ對シテ、其職務ニ關スル所ノ瀆職ノ犯罪ニ就イテハ、特別裁判所ノ取扱ニ歸サウト云フノ趣意デアリマス、即チ立法部ノ獨立ヲ完カラシメヤウト云フ、精神カラ來ル所ノ理由デアル、特別裁判所ノ組織、事件ノ告發等ニ附イテハ別ノ問題デアルカラ、茲ニハ述ベマセヌ、即チ私ノ趣意ハ特別ノ裁判所ヲ組織シテ、議員ノ職務ニ關スル犯罪ヲ處理サセタイト云フノデアル〔簡短ト呼フ者アリ〕簡短ト申セバ尙ホ長クナリマス、斯様ノ理由デアッテ、詰リ議會ノ威信ヲ保チ、他ノ牽制ヲ受ケズ、十分ニ權能ヲ行使スルコトノ出來ルヤウニシタイ、一念カラ、諸君ノ反対アルニモ拘ラズ、茲ニ辯論ヲスル次第デアル、昨年ハ今申ス如キ精神ヲ以テ、此案ハ否決サレタガ、今年此案ハ著物ノ色ガ變ツテモ、矢張同一ノ精神ヲ以テ吾々ハ之ニ反対セント欲スル者デアル、昨年ト今日ハ理由ハ變ツテ居ナイ、昨年反対セラレタ多數ノ諸君ハ、矢張同一ノ理由ヲ以テ、反対セラル、ガ當然ダラウト考ヘル、諸君、昨年ノ本院ハ既ニ多數ヲ以テ、斯ノ如キ法案ヲ否決サレタルコトハ、如何ニシラバクレテモ、是ハ記憶シナイト云フコトハ言ハレナイ、既ニ其事ヲ記憶セラル、ナラバ、其記憶ノ消滅セザル今日ニ於テ、而モ昨年ハ黨派上ノ争ノ利器ト爲シテ、甚ダ議場ヲ騒ガシタル所ノ其法案ガ、ソレト同一ナル所ノ法案デアル、即チ此瀆職法案ガ一種奇體ナル正札附デアル、各派交渉トカ云フ、奇體ナル正札附ヲ以テ議場ニ現ル、ニ至シテ却シテ立法部ヲ輕蔑シテ、立法部ハ司法ノ下ニ届辱スルモ、尙ホ顧ミスト云フコトヲ主張スル者ガアリマセウカ、予ハ本案ヲ以テ實ニ他ト私ハ信ズル、現ニ昨年以來御承知ノ通、進歩黨或ハ政友會ト云フヤウナ、黨派ノ間ノ争カラシテ、遂ニ種々形ハ違フケレドモ、刑事上ノ問題ガ——著名ナル問題ガ起シテ居ルト云フコトハ、諸君モ御承知ニアラウ、ソレハ何ガ

機會デアル、何ガ利器デアル、此事ニ附イテハ、縱令本問ニ關シテ贊成ナフル所ノ人ニ於テモ、一考ヲ煩ハサナケレバナラナイ、昨年以來著明ナル刑事ノ事件ガ、此黨争ノ關係ヲ以テ現レタト云フコトハ、即チ鳩山和夫君ニ對スル告發、星亨君ニ對スル告發、其他著明ナル事件ガアッタ、是ハ諸君モ御承知ニアラウ、而モ其起リ方カラシテ見マスルト——吾々ノ目カラ見マスルト、ドウシテモ是ハ黨争上カラ起キタ所ノ告發事件デアル、又之ニ關聯シタル所ノ事柄ニ附イテモ、既ニ本員ガ先達質問マデモ致シタ、ソレ等ノ事件ニ附キマシテハ、明ニ此司法ノ權力ト云フセノガ、黨争ノ上ニ大ナル影響ヲ持ツテ居シタト云フコトハ、諸君モ御承知ニアラウ、今申シマスル通ニ、吾々ガ先日質問致シタ所ノ、政府ノ答辯ナドヲ見マスルト云フト、内規ヲ以テ法律ヲ變更シテモ、差支ナイト言ハヌバカリノ答辯ヲシテアル、諸君モ世人モ悉ク重大ナル事件ト感シ、又國家ガ被害者デアル、其問題ニ附イテ政府ハ誠ニ輕微ナルコトデアル、是ハ便宜主義ニ依ツテ便宜上、斯ノ如キ告發ハ受理セヌト云フ意思カラシテ、答辯ヲ致サレテアル、サウシテ見ルト云フト、如何ニ重大ト世間ガ感シ、社會ガ感シテモ、當局者ノ意見ニ依ツテハ、隨分輕微ニモナリ詰ラコトニモナクテシマフ、又或ル場合ニハ之ガ反對デ、司法官ノ手ニ依ジテ如何ナル罪人ヲ惹起スコトモ出來ル、又如何ナル事實ヲモ指ヘルコトガ出來ルト云フコトヲ、豫想シナケレバナラヌコトデアル、誠ニ危険千萬ナコトデアルト思フ、斯様ニシテ若シ司法權ガ立法ノコトニマデモ、申入ルヤウニナリマスト云フト、我立法ノ獨立ト云フセノハ、遂ニ完ウスルノ牽制ヲ受ケズ、十分ニ權能ヲ行使スルコトノ出來ルヤウニシタイ、一念カラ、諸君ノ反対アルニモ拘ラズ、茲ニ辯論ヲスル次第デアル、昨年ハ今申ス如キ精神ヲ以テ、此案ハ否決サレタガ、今年此案ハ著物ノ色ガ變ツテモ、矢張同一ノ精神ヲ以テ吾々ハ之ニ反対セント欲スル者デアル、昨年ト今日ハ理由ハ變ツテ居ナイ、昨年反対セラレタ多數ノ諸君ハ、矢張同一ノ理由ヲ以テ、或ル人ガドウ云フ惡ルイコトヲシタト云フ、單純ニ一二ノ事實ヲ捉ヘテ、サウシテ唯目前ノ防禦ニナレバ宜イト云フノデ、法律ヲ制定スルノハ甚ダ危險ナ事柄デアル、私ハ諸君ニ希ハクハ斯ノ如キ法案ニ附イテハ、決シテ輕々シナイト云フコトハ言ハレナイ、既ニ其事ヲ記憶セラル、ナラバ、其記憶ノ消滅セザル今日ニ於テ、而モ昨年ハ黨派上ノ争ノ利器ト爲シテ、甚ダ議場ヲ騒ガシタル所ノ其法案ガ、ソレト同一ナル所ノ法案デアル、即チ此瀆職法案ガ一種奇體ナル正札附デアル、各派交渉トカ云フ、奇體ナル正札附ヲ以テ議場ニ現ル、ニ至シテ却シテ立法部ヲ輕蔑シテ、立法部ハ司法ノ下ニ届辱スルモ、尙ホ顧ミスト云フコトヲ主張スル者ガアリマセウカ、予ハ本案ヲ以テ實ニ他ト私ハ信ズル、現ニ昨年以來御承知ノ通、進歩黨或ハ政友會ト云フヤウナ、黨派ノ間ノ争カラシテ、遂ニ種々形ハ違フケレドモ、刑事上ノ問題ガ——著名ナル問題ガ起シテ居ルト云フコトハ、諸君モ御承知ニアラウ、ソレハ何ガ



(西原清東君演壇ニ登ル)  
○西原清東君(三十九番) 諸君、本案提出ノ理由ハ關君ヨリシテ、過日明瞭ナル御演説ガアッタノデアリマス、私ハ簡短ニ贊成ノ理由ヲ述ベヤウト思フノデゴザイマス、本案ニ附キマシテハ、私共ノ黨派ニ於キマシテハ、自由問題ニナツテ居リマシテ、唯今平素最モ敬愛シテ居リマスル、丸山君ノ御演説ヲ承リマシダガ、不幸ニシテ同君ノ御意見ト、私共ノ意見ト、反対ノコトニ相成ツテ居リマスルノハ、至極遺憾ノコトデゴザイマス、サリナガラ、其反対ノ御趣意ガ、甚ダ本案ノ趣意ニ副ハナイヤウニ、思フノデゴザイマス、本案ハ決シテ貴衆兩院ノ議員ヲ、特ニ取締ラナケレバナラヌト云フヤウナ、僻ンダ趣意デ提出ニナツタノデハアリマセヌ、明文ニ在リマスル通、法令ニ據リ選舉又ハ任用シタル議員又ハ委員又ハ總代ガ、其職務ニ關シテ明記シテアリマシテ、貴衆兩院ノ議員ハ勿論ノコトデゴザイマスガ、府縣會議員凡ソ二千人、郡會議員凡ソ一人、町村會議員凡ソ十三万餘人、其外委員總代等ヲ合計致シマスルト、十五万人程ノモノデアリマセウ、此人ハ我國法ニ據リマシテ、公權ノ一部ヲ分擔セラレテ居ル所ノ者デ、而モ行政府等ヲ監督スベキ重要ナル職務ヲ持ツテ居ル者デアル、其公權ヲ分擔シテ居リナガラ、職務上ニ關シテ、此法案ニ書イテアルガ如キ不行ガアルニ、法律ノ前ニ無責任デアルト云フ事柄ハ、極テ缺點ナコトデハアルト考ヘル、追々人情浮薄ニ致シマシテ、社會ニ種々ノ弊害ガ濫出致シマシテ、此信用ヲ大切ニスル所ノ代議機關ノ根本タル所ノ、德義ガ極テ微弱ニ相成リマシテ、殆ド選舉人被選舉人ノ間、互ニ信用ヲ保ツト云フ事柄ガ、出來ナイヤウニナリマシタキハ、當ニ公安ヲ害シマスルノミナラズ、恐ラクハ代議政體ノ基礎ヲ危クスルコトニ、相成ルコトデアラウト考ヘマシタニ因シテ、官吏タル者ニモ既ニ公權ニ關シテ、不正ナルコトガアレバ刑法ニ據ツテ之ヲ處分シ、人民タル者ニ於テモ、公權ヲ使用スルニ當ツテ、不正ナルコトガアレバ、即チ諸法律ニ通、悉ク所罰シテ以テ之ヲ取締ルト云フコトニナラテ居ル、其中間ニアル所ノ議員委員ナル者ガ、獨リ職務ニ關シテ不正ナルコトガアリタレバトテ、法律ノ前ニ無責任デアルトハ、決シテ情理ノ許サム所デゴザイマス、斯様ナル次第デ、若シ今日ニ於テハ刑法ヲ改正スルト云フナラバ、恐ラクハ此刑法ノ不備ハ改正案ニ於テ、補修セラレルコトデアルト信ズルノデアリマスガレドモ、ドウモ刑法改正ト云フ事實ハ大法典ノコトデアリ、或ハ今年ハ不成立ニナリサウナ模様、又來年ダヤトテ、果シテ成效スルヤ否ヤ、覧束ナイト云フ譯デアリマシテ、刑法改正案ノ貴族院ニ於カレマシテ、審査セラレマスル所ノ狀況ニ鑑ミマシテ、即チ我邦ノ今日ノ事情、本案ヲ提出致シマシテ、免モ角モ現在ノ法律不備ヲ、補正シナケレバナラヌト云フノ目的デゴザイマス、丸山君ノ御演説中ニハ、行政官ヤ司法官ガ立法部ニ立入シテ、立法部ノ獨立ヲ危クスルノ虞ハナイカト云フノ御論デゴザイマシタガ、成ル程英國環ニ於キマシテ、二三世紀昔ノ歴史ノコトヲ承シテ見マスルト、御心配ノヤウナコトガアッタヤウニ承リ及シテ居リマスガ、恐ラクハ今日ニ左様ナ事柄ハナイヤウニ聞イテ居リマスル、殊ニ國情ノ異ナリマスル日本ニ於テ、即チ二十三年以來種々ノ選舉干渉ト云フヤウナコトモアリマシタカナレドモ、未ダ政府ガ政策ヲ強ヒテ行ハシガタメニ、立法部ノ者ヲ逮捕シ、其他此口實ヲ以テ軌道ニ外レテ拘束ヲシ

タト云フヤウナ事柄ハ、未ダアリマセヌノデゴザイマス(「アル」ト呼フ者アリ)即チ我敬愛スル所ノ同僚ノ一人、若タバ二人ガ先達モ告發ト云フヤウナ事柄ガ、起リマシタケレドモ、諸君ノ御承知ノ如ク、不起訴——行政部若クバ司法官聽ハ、己ノ信ズル所ニ於テ其法律ヲ執行シテ居ツテ、毫モ其政策ノタメニ刑事問題ヲ利用スルト云フコトハ、ナイノデゴザイマス、此ノ如キ信認ハ我國ノ政府ニ於テ、司法部ニ對シテモ、行政部ニ對シテモ、未ダ維持セラレテ居ルノデ、將來此法律ヲ施行シタ以後ニ於キマシテ、惡政府ガ出來テ或ハ議院ノ獨立ヲ危クスルヤウナ事跡アリタレバ、憲法上ニ於テ與ヘラレタル所ノ上奏其他ノ手段ニ依ツテ、其政府ハ顛覆シタラ宜シイ、決シテ其指ヘルベキ法律ヲ、ソシナコトハアルカナイカモ知レナインコトヲ恐レテ以テ、遠慮スルト云フノ理由ハナイノデアリマス、故ニ丸山君ノ御心配ナサル點ハ、唯豫想ニ止マルコトデ、現在ノ事實デナインデ、ゴザイマス、斯様ナル譯デ若シ案ニ於テ不完全ナル點ガアリマスレバ、二次會ニ於カレマシテ、諸君ヨリ修正ノ御動議ヲ提出サレマシテ、本案ノ成立ニ相成ルヤウニ希望スル次第デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) モウ採決ヲシヤウト思ヒマス

○神藤才一君(四十四番) チヨツト簡短デゴザイマス、一言質問ガゴザイマス、西原君ニチヨツト御質問致シマス、是ハ私ハ極ク贊成デゴザイマスガ、併ナガラ今日司法官ノ行動ハ如何デゴザイマセウ、ソレヲ精シク言ウテ見マスレバ、既ニ司法官其者ガ「ストライキ」即チ同盟退職ヲ謀ル位ノモノデゴザイマス、其者ヲ今日ノ此有様ニ與ヘタナラバ、若シヤ濫用シハシナイカト、私ハ懸念致スノデゴザイマス

○西原清東君(三十九番) 折角ノ御尋デゴザイマスルケレドモ、問題外ト思ヒマスカラ、遺憾ナガラ御答辯ヲ申シマセヌ

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス(「記名投票」ト呼フ者アリ)記名投票ニハ及ヒスママイ、本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニナリマシタ  
 ○多田作兵衛君(百七番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ――  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ  
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニナリマシタ  
 ○多田作兵衛君(百七番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ――  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ  
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、全部ヲ議題ニ供シマス

○多田作兵衛君(百七番) 私ハ委員長ノ報告ノ第二項ヲ削ルト云フ――第一條第二項ヲ削ルト云フコトニ反対ヲ致シマシテ、此原案ヲ贊成致シマス、此世紀昔ノ歴史ノコトヲ承シテ見マスルト、御心配ノヤウナコトガアッタヤウニル方ヨリ罪ノ起ルモノデアルカト云ヘバ、十中ノ八九ハ最初取ル心持デナインモノヲ無理ニヤリ、後ニ惡事ニ引入レルコトガ、今日ノ例ニナツテ居ル、ソレ故ニ私ハ原案通ニ爲シマセネバ折角拵ヘマシタ此法案ガ、目的ヲ達セヌト云フコトハ遺憾ニ思ヒマス、故ニ原案ヲ贊成致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是ハ全部議題ニ致シテアリマシタカラ、委員會ノ報告ニ附イテ採決ヲ致シマス、委員會ノ報告通ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

ニ同意ノ諸君ノ起立少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、原案ニ附イテ採決ヲ致シマスル原案起立者多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案通決シマシタ  
〔拍手起ル〕

○恵松隆慶君(百三十六番) 直チニ三讀會ヲ開イテ確定ニナランコトヲ

○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ヲ決シタル通、御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○尾崎行雄君(百三十一番) 議長

○議長(片岡健吉君) 尾崎行雄君

○尾崎行雄君(百三十一番) 兩院協議會ノ結果ヲ報告スルガタメニ、議事日程ノ變更ヲ求メマス

○議長(片岡健吉君) 今尾崎行雄君カラ、協議會ノ結果ヲ報告スルタメニ、議事日程變更ノ緊急動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通リ致シマス

○尾崎行雄君(百三十一番) 兩院協議會ノ結果ヲ報告スルガタメニ、議事日程ノ變更ヲ求メマス

明治二十四年度各特別會議會成案

兩院協議會成案

明治二十四年度歲入歲出總豫算案

兩院協議會成案

明治二十四年度歲入歲出總豫算

兩院協議會成案

右ハ貴族院議決案ノ通其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

但シ本案ノ結果ニ依リ計數上ニ差異ヲ生スルモノハ其ノ數ニ依ル  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○河野廣中君(二百四十六番) 私ハ兩院協議會ノ成案ヲ賛成致シマスルノデアリマス、又其委員諸君ノ勞力ヲ併テ謝スルノデアリマス、私共ハ院議ヲ重視者デアリマシテ、素志ニ戻リマシテモ大小ノ比較ヲ立テ、輕重ヲ量ツテ賛成ヲ致サネバナラスト考ヘテ居リマスノデアリマス、而シテ私共ノ黨派ノ點カラ言シテ見マスレバ、實ハ私共ノ初心ヲ貫徹シマスル次第アリマス、喜

承知ノ如ク殆ド數百條ニ跨ガテ多キニ及ンデ居リマシテ、之ヲ衆議院トノ間ニ、協議ノ結果ヲ全ウスルト云フコトハ、餘程ノ困難ノ事柄ト考ヘテ居リマシタ所、兩院各々虛心平氣ニ本案ノ成立ヲ希望スルト云フ衷情ノ切ナルガタミニ、意外ニ容易ク纏リマシテゴザイマス、其大要ハ追テ成案ヲ書記官が朗讀致スコトアリマセウガ、大體ノ要點ヲノミ報告致シテ置キマスレバ、衆議院ニ於テ通過ヲ致シテ貴族院が削除致シマシタ、海軍省所管ノ吳製鋼所ト云フ一つノ問題ハ、是ハ段々協議ノ上終ニ貴族院ニ譲シテ削除致スコトニ定メマシタ(拍手起ル)其代り俸給其他ノ點ニ涉リ、數百條ノ多キニ涉ッテ、衆議院ガ修正ヲ加ヘタモノヲ、貴族院ガ多クハ原案ニ復活致シマシタガ、是ハ全部衆議院ノ修正通ニ、又立戻ルコトニ貴族院諸君が同意ヲ致シマシタ(拍手起ル)其

結果トンテ歲出總額ニモ變更ヲ及シ、又歲入臨時部ノ償金繰入等ニモ丁度鋼所ノ否決ノ金額ニ當ルダケノ變更ヲ生ジ、從ツテ各條全體ニ及シテ計算上ニハ、數字ハ段々異動ガ生ジマシタケレドモ、是ハ諸君ノ御同意ヲ得テ議長ニ一任シテ、其式ニ適ヒ其數ヲ誤ラザルヤウニ、立派ニ訂正ヨシテ貴フコトニ致シタインデアリマス、大體ハソレダケデアリマス  
〔拍手起ル〕

○議長(片岡健吉君) 書記官ヲシテ、兩院協議會デ成立タ所ノ成案ヲ朗讀致サセマス  
〔書記朗讀〕

明治二十四年度歲入歲出總豫算案外一件兩院協議會成案

明治二十四年度歲入歲出總豫算

甲號

歲入臨時部	第五款 償金繰入金
歲出臨時部	第一項 償金繰入金
海軍省所管	第十二款 吳造兵廠擴張費
乙號	第一項 吳造兵廠擴張費

○議長(片岡健吉君) 協議會ノ成案ニハ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○議長(片岡健吉君) 重野謙次郎君カラ、鐵道敷設法中改正法律案ヲ、此際日程ヲ變更シテ議題セラレンコトヲ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス——重野謙次郎君

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

○鈴木重遠君(二百三十三番) 元寇殉難者ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリ

同退席ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 鈴木重遠君カラ、委員會ヲ開キタイト云フコトデアリ

マスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

○議長(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

(重野謙次郎君演壇ニ登ル)

○重野謙次郎君(九十三番) 極ク簡単ナ案デアリマスカラ、極メテ簡単ニ御

報告ヲ致シマスガ、併シ其事柄ノ關係ハ非常ニ是ハ重大ナコトデアリマス

カラ、ソレデ速ニ可決サレテ、明日貴族院ノ議事日程ニ上スコトヲ希望ス

ルノデアリマス、鐵道敷設法中ノ此金高ノ全六千万圓ト云フモノヲ、金九千五

百万圓ト云フモノニ改メテ、而シテ此十二年ト云フコトヲ削除スルト云フ法

案デアルノデアリマス、ソレハ諸君ノ御承知ノ通第十議會第十三議會第十四

議會ニ於テ、二千四百九十三万一千七百九十六圓ト云フモノヲ、此年度割ノ

コトデ協賛ヲシタノデアリマス、ソレヲ其儘昨年ノ、即チ此豫算ニ極シテ居リ

マスルモノヲ、茲ニ之ヲ書イタマテノコトデアルノデス、ソコニ附加ヘテ申シ

タイノハ、此一期線ニ於キマシテ、中央線九州線山陰山陽ノ聯絡線ノ此一期線

ニ屬シタモノヲ悉ク完成ヲ致シマスルニハ、一億四千万圓ノ金ヲ要シマスル、

ケレドモ是ハ來年度ニ於キマシテモ、政府が尙未能ク調査ヲシテ出スト云フ

コトデアリマスカラ、此案が通過致シマセヌト、是マデ行掛リノ此鐵道線路

ト云フモノヲ止メナケレバナラヌト云フ結果ニナッテ居リマスカラ、速ニ御

賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(片岡健吉君) チヨウト此際議場ニ御詰リ致シマスガ、委員長ノ石黒

君カラ刑法改正案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御

異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○恒松隆慶君(百三十六番) 今重野君カラ述べラシマシタノハ、讀會省略デ

可決セラレントコトヲ希望致シマス

○議長(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

○恒松隆慶君(百三十六番) 今重野君カラ述べラシマシタノハ、讀會省略デ

可決セラレントコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ノ通ニ決シマス本

鐵道敷設法中改正法律案

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

確定議

スカラ、ドウカ日程ノ變更ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ日程ヲ變更致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ日程變更ノ動議ヲ以テ確定セラレントコトヲ望ミ

上ゲマス、生絲検査所法中改正法律案、是ハ屢々寄リマシタガ、遂ニ定數ニ満

チマセヌデ、會が開ケナイデアリマシタガ、今日委員會ヲ開キマシテ、サウ

シテ政府委員ノ意見ヲ聽キマシタガ、政府案通別ニ異論ハナイノデ、斯ウ云

フコトデ滿場、即チ委員會ハ一致デ、可決スルコトニ決シマシタ、此段御報

告ニ及ビマス

○恒松隆慶君(百三十六番) ドウカ讀會省略ヲ以テ確定セラレントコトヲ望ミ

マス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

生絲検査所法中改正法律案

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 然ラバ讀會ヲ省略シテ本案ハ委員長報告通御異議ハア

リマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 戸狩權之助君演壇ニ登ル

四 次郎君外三名提出

山形縣下郡界變更法律案(重野謙)

第一讀會ノ續(委員長)

確定議

○戸狩權之助君(九十六番) 山形縣下郡界變更法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、此郡界ノ變更ノコトハ、年々此地方人民カラ請願ヲシテ居リマシテ、既ニ昨年ノ議會ニハ、貴族院ノ請願モ通ツテ居リマシテ、此請願ハ相當ノ請

願デアルカラシテ、採決スルコトニ貴族院モ決セラレマシタ、ソレカラ今ノ田

麥野村及山口村ノ二箇村ハ、全ク東村上郡ノ天童町ト云フ所ニ接近シテ居リ

マシテ、需要供給ハ總テ此天童町ニ求メテ居リマスルカラシテ、郡ノ區畫ト

云ヒ又此郡ノ境界ト云ヒ、相當ノ變更デゴザイマスカラシテ、委員會デハ全

會一致ヲ以テ可決シタノデアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定セラレ

ンコトヲ望ミマス

○恒松隆慶君(百三十六番) 直チニ讀會ヲ省略シテ確定アランコトヲ望ミ

マス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ノ動議ガ出マシタガ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ 読會省略スルコトニ致シマス——委員長報告通原案ニ御異議ハアリマセヌカ

山形縣下郡界變更法律案

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通原案ニ決シマス、次ニ議事日程ノ第五不動産登記法中改正法律案第一讀會ノ續キ 委員長ノ報告——大村和吉郎君

五 不動産登記法中改正法律案(松島廉)

第一讀會ノ續(委員長)  
(報告)

(大村和吉郎君演壇ニ登ル)

○大村和吉郎君(五十七番) 極簡短ニ御報告ヲ致シマス、不動産登記法中改正法律案ノ委員會ニ對シマスル結果ヲ報告致シマスル、是ハ全會一致ヲ以テ速ニ通過致シマシテゴザイマスル、此案ノ(ヨセ)「贊成々々」ト呼フ者アリ) ソレデハモウ外ハ述ベマセヌガ、讀會ヲ省略致シマシテ直チニ通過ヲ望ミマス

○恵松隆慶君(百三十六番) 是モ委員長報告ノ通異議アリマセヌカラ讀會ヲ省略シテ確定セラレントヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

(政府委員倉富男三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員倉富男三郎君(簡短ニチヨット)一言申シマス、本案ハ戸籍番號ノ變更ノアツタ場合ニ、當然變更スルト云フ案ニアリマスケレドモ、此戸籍番號ノヤウナ小サナコトハ、誠ニ帳簿上ノ整理ニ因リマスルカラシテ、遺憾ナガラ之ニ贊成ヲ表スルコトハ出來マセヌ

○議長(片岡健吉君) 本案ハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ採決ヲ致シマス(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○恵松隆慶君(百三十六番) 読會ヲ省略シテ確定セラレントヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 定數ヲ缺イテ居リマスカラ議事ハ是デ止メマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

委員ヲ指名スル左ノ如シ

畜牛結核病豫防法案

富田仙助君

内田雄藏君

石谷董九郎君

司法官試補實地修習期間

富永隼太君

片岡久一郎君

高津雅雄君

大隈英麿君  
奈須川光寶君  
和泉邦彦君  
戸狩權之助君

並河理一郎君

西谷淳藏君

土居平左衛門君

山田武君

木村格之輔君

高梨哲四郎君

勅語普及ニ關スル質問書  
右成規ニ據り提出候也

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

早川龍介君

門脇重雄君

中辰之助君

大矢四郎兵衛君

吉田源八君

雨森菊太郎君

赤土亮君

今村千代太君

佐藤通代君

白井哲夫君

高川定次郎君

大村和吉郎君

海藻磯燒ケノ原因調査ニ關スル建議案

吉田源八君

中辰之助君

渡邊猶人君

佐藤通代君

野間豊五郎君

永井嘉六郎君

加藤六藏君

家祿賞典祿處分法施行ニ關スル建議案

岡本松太郎君

公債抽籤償還ノ實施ニ關スル建議案外一件

三山村甚三郎君

委員長飯島正治君

野尻岩次郎君

宗教制度調査會設立ニ關スル建議案

岡本松太郎君

宗敎制度調査會設立ニ關スル建議案外一件

三山村甚三郎君

委員長佐々木正藏君

野尻岩次郎君

生絲檢查所法中改正法律案

岡本松太郎君

委員長下飯坂權三郎君

林喬君

貴族院ハ北海道鐵道部支部局及派出工場現金前度官吏設置ニ關スル法律案

岡本松太郎君

巡査看守退隱料及遺族扶助料法律案ヲ可決シ明治三十三年勅令第二百七十七

輪長兵衛君栗原亮一君ヨリ全國經濟ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

岡本松太郎君

東京灣築港ニ關スル建議案

岡本松太郎君

提出者松田秀雄君

山田喜之助君

内藤正義君

山田喜之助君

鷲山和夫君

山田喜之助君

多田作兵衛君

山田喜之助君

提出者降旗元太郎

山田喜之助君

贊成者神鞭知常

山田喜之助君

外交ニ關スル質問主意書

山田喜之助君

一獨國宰相ビユロー伯ハ英獨協商ノ清國ナル語ニ清國滿州ヲ含蓄セサル

山田喜之助君

旨ヲ演説セリトノ說アリ帝國政府ハ定テ已ニ此事ニ關シ聞ク所アルヘ

山田喜之助君

シ其實否果シテ如何

山田喜之助君

ントスル乎

山田喜之助君

明治三十四年三月二十二日

外二十九名

外二十九名

明治三十四年三月二十三日 提出者 鈴木重遠

賛成者 山田順一 外三十名

勅語普及ニ關スル質問主意書

一 本院ハ明治三十三年二月十五日世ニ所謂教育ニ關スル勅語ヲ一般國民ニ服膺セシムル爲メ之ヲ訓示セラレントヲ建議シタル爾來政府ハ右建議ヲ採納シ之ヲ國民一般ニ普及セシムルノ方法ヲ實行シタルコトアリヤ

二 頃ニ其實行ニ關スル方法ノ規定アリトセバ須ラク其順序ヲ明示セラレタシ  
三 未ダ建議ノ趣旨ヲ採納スルニ至ラズトセバ其理由ヲ辯明セラレタシ  
右及質問候也

全國經濟ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月二十二日

提出者 藤井金作 大三輪長兵衛 栗原亮一

賛成者 橋山通英

外三十八名

全國經濟ニ關スル質問主意書

第十五議會ハ歲入歲出各々金壹億五千萬圓ヲ議決シ増稅諸案ヲ協賛シ將ニ會期ヲ終ラントス茲ニ本員等民間經濟界ノ實況ヲ視察スルニ甚ダ寒心ニ堪

ヘサルナリ  
今ヤ全國到ル處商況ハ渾テ盡ク衰退シ金融ハ壅塞シ工業ハ中止シ經濟界ヲ舉テ全ク生存ノ呼吸ヲ爲スコト能ハザルノ狀況タリ個人ノ續々破產スルハ言フニ及ハス諸銀行諸會社ノ解散倒産スル踵ヲ接シテ至リ、窮迫ノ報道ハ

全國ニ遍シ是實ニ維新以降未曾有ノ恐慌ナリトス此恐慌ヲ招致セル原因タル(第一)戰勝後政府事業ノ膨脹(第二)兩度ノ增稅(第三)軍事公債及事業公債ノ募集竝ニ臨時借入金等ニ在リ斯ノ如クニシテ通貨ヲ政府ニ吸いスルヲ以テ今日ノ經濟界ニ於テ民間ノ流通ニ供シ運轉ノ用ニ充ルモノ無キニ到ルハ寔ニ明白ノ事實ナリ

本年度歲入總額豫算金二億五千萬圓其内譯ヲ大別スレバ

金五千六百〇四萬〇六百三十七圓 公債償金其他諸繕入

金五千二百十七萬九千三百三十七圓 地租及直接稅

金六千七百八十四萬四千〇八十一圓 商工業諸稅及間接稅

金千五百六十二萬八千七百六十三圓 海關稅

金四千九百十二萬七千六百二十八圓 官業及雜收入

是ヲ百分比例スレバ地租直接稅ハ百分ノ二十、商工業間接稅ハ百分ノ三十

二海關稅ハ百分ノ六、一官業雜收入ハ百分ノ十九ニ當ル而シテ商工業稅及

間接稅ハ歲入ノ最大要部ヲ占メ實ニ政府財政ノ命脈タリ然ルニ今日ノ如キ經濟界ヲシテ窮迫ニ沈倫セシメ之ヲ救濟スルコト無クハ此豫算ノ如ク永久ニ負擔シ得ヘキヤ否ハ本員等カ頗ル憂苦スル所ナリ政府ハ此窮迫ヲ救濟ス

第一 明治三十三年度ハ事業公債ヲ募集スルコト能ハズシテ了ル之ヲ本年度ニ加フルトスレハ本年度即チ明治三十四年度ニ募集スヘキ事業公債額ハ幾ト五千万圓タリ之ヲ募集シ能ハザル時ハ政府ハ官業ヲ中止スルノ覺悟ナル乎若夫民業中止商業衰退ノ結果トシテ或ハ民間資金ノ用途ヲ絶チ即チ却テ募集ニ應シ得ヘキノ變態ヲ生スル事モアラン乎此變態ハ即チ經濟界窮迫ノ極度ニシテ稅源ヲ枯渴スルノ惡兆タリ斯ノ如キモ政府ハ之ヲ顧ミスシテ募集ヲ敢テスル乎

第二 經濟界ノ窮迫日ヲ逐テ倍々增加スルニ隨ヒ民間相互ノ信用ハ渾テ地ニ墜チ人々惶懼ノ餘勢ヒ各々其預金ヲ引出シ正貨ニ換テ之ヲ埋藏スルノ舉動ニ到ランモ知リ難シ我國ノ歴史ニ徵スレハ此恐レ無シトセサルナリ抑政府ハ如何ナル應急救濟ノ手段ヲ施シテ以テ民心ノ惶懼ヲ安ンゼントスル乎

第三 經濟界今日ノ窮迫ハ施政ノ結果コレヲ招致シタルモノ多キニ居ルト知ラス政府ハ又之ヲ回復セシムルノ方策ヲ施スコト當然ノ責任ナリ如何ナル方策ヲ施シテ之ヲ回復セシメントスル乎

第四 國家ノ事業ハ官業ト民業ト併行シテ互ニ扶持セサル可カラス然ルニ今ヤ官業ハ國費ヲ以テ荐リニ進メトモ民業ハ資金缺乏シテ頻リニ萎微斯此狀勢ヲ持続セバ經濟界ノ回復期シ難シトス而シテ政府ハ如何ナル方法手段ヲ以テ之カ併行扶持ヲ得セシメントスル乎

第五 源年增稅シテ工商皆資金ヲ得ルニ若シムニ際スルモ全國猶靜穩ノ堵ニ安スルハ豐穏打續クガ故ナリ若シ一旦農作ニ歉凶ヲ告クルノ日ニ及ヒ商工業ノ衰退金融ノ切迫スル今日ノ如クナラハ不測ノ禍亂ハ直ニ脚下ニ起ルヘシ決シテ躊躇スヘキノ秋ニ非サルナリ而シテ政府ハ何等ノ方法ヲ以テ豫メ之ヲ救濟セントスル乎

右各項ノ答辯ヲ得テ本員等ハ國家ニ對スルノ責任ヲ竭サン事ヲ冀望シ此質問ヲ爲ス

○議長(丘岡健吉君)

明日ノ議事日程ハ、公報ヲ以テ御通知致シマス、是ニ

テ散會致シマス

午後五時十一分散會